

**令和2年度
北広島町総合計画策定のための
アンケート調査報告書**

【集計結果】

令和3年2月

北広島町

《目次》

第1章 調査方法	1
第2章 調査結果	2
1 回答者自身について	2
2 北広島町の住み良さや居住意向について	10
3 町の主な施策の「満足度」「重要度」について	25
4 まちづくりについて	54
5 めざしたいまちの姿について	66

第1章 調査方法

1. 実施概要

- 調査対象者 : 令和2年11月1日現在、北広島町に住んでいる16歳以上の方
- 対象数 : 1,000人
- 調査期間 : 令和2年11月24日～令和2年12月6日まで
- 調査方法 : 郵送による配布回収、インターネットによる電子回答フォーム

2. 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
1,000件	474件（うち、ネット回答14件）	47.4%

3. 調査集計にあたっての留意事項

- 回答結果は小数点第2桁目を四捨五入しています。この関係で、単回答（複数の選択肢から一つだけを選ぶ形式）の合計値がちょうど「100.0」にならない場合があります。
- 複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）における割合についての単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計しても「100.0」とはなりません。
- 本報告書における「N」「SA」「MA」「FA」「数量」は、それぞれ
 - 「N」 = サンプル数のこと
 - 「SA」 = 単回答のこと（Single Answer の略）
 - 「MA」 = 複数回答のこと（Multiple Answer の略）
 - 「FA」 = 自由回答のこと（Free Answer の略）
 - 「数量」 = 数量回答のことを示します。
- 図表中において「無回答」とある項目については、「回答のなかったもの」、もしくは「判別ができなかったもの」を表しています。
- 本文中の設問の選択肢が長い場合は、簡略化している場合があります。
- 本報告書においてクロス集計は、無回答がある為、合計人数は全体の人数と合致しません。
- 本報告書においてクロス集計は、グラフ表示が煩雑になるため、比率の極めて低いもの（4.0%未満）は数値の表示を省略しております。
- クロス集計で、母数が少ない項目に関しては、分析文を省略しています。
- 本報告書においてクロス集計は、グラフ表示が煩雑になるため、比率の極めて低いもの（4.0%未満）は数値の表示を省略しております。
- 本報告書において横棒グラフでの表示計は、グラフ表示が煩雑になるため、比率の極めて低いもの（4.0%未満）は数値の表示を省略しております。

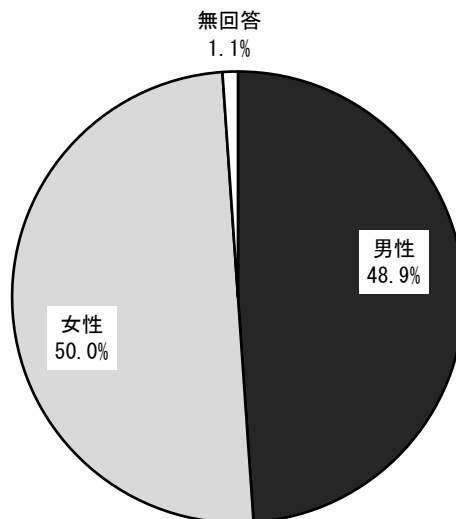
第2章 調査結果

1 回答者自身について

問1 あなたの性別はどちらですか。(SA)

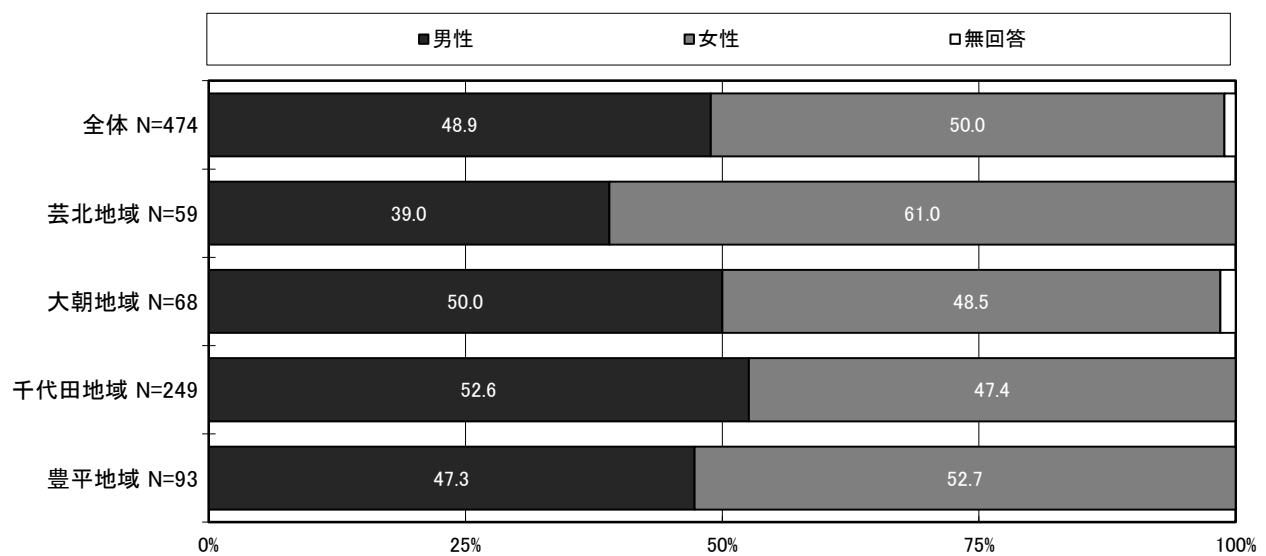
「女性」が50.0%、「男性」が48.9%となっています。

(SA) N=474



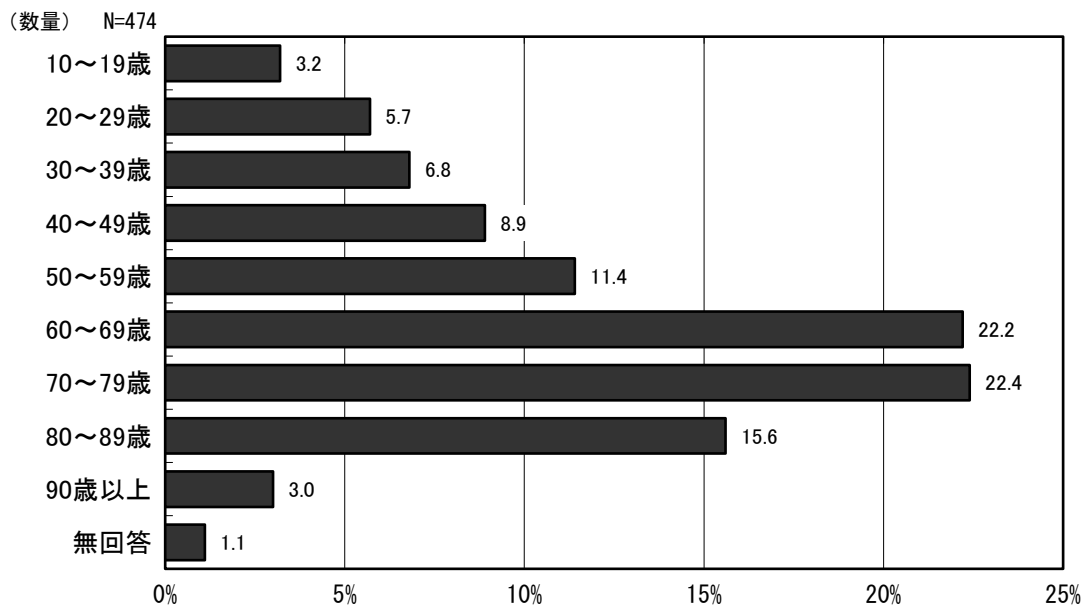
【地域別×問1】

芸北地域は他の地域と比べて女性の割合が高くなっています。



問2 あなたの年齢は何歳ですか。(数量)

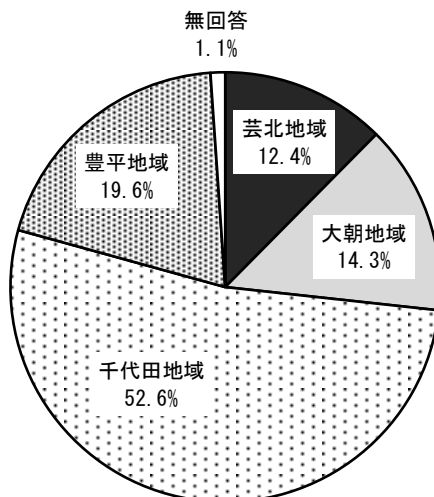
「70～79歳」が22.4%で最も高くなっています。次いで「60～69歳」が22.2%、「80～89歳」が15.6%で続いています。



問3 あなたが住んでいる地域は次のどれですか。(SA)

「千代田地域」が52.6%を占めています。

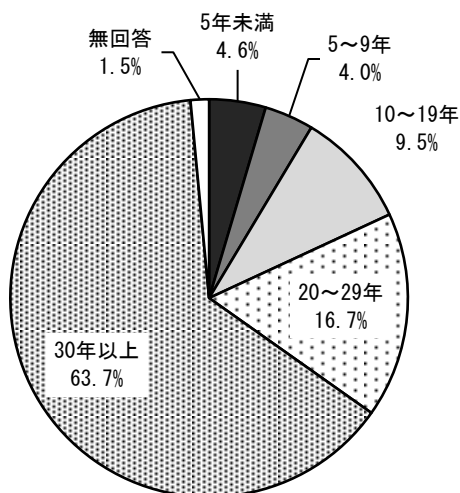
(SA) N=474



問4 あなたは北広島町に住んで通算何年になりますか。(SA)

「30年以上」が63.7%で突出しています。「20～29年」が16.7%、「10～19年」が9.5%が続いています。

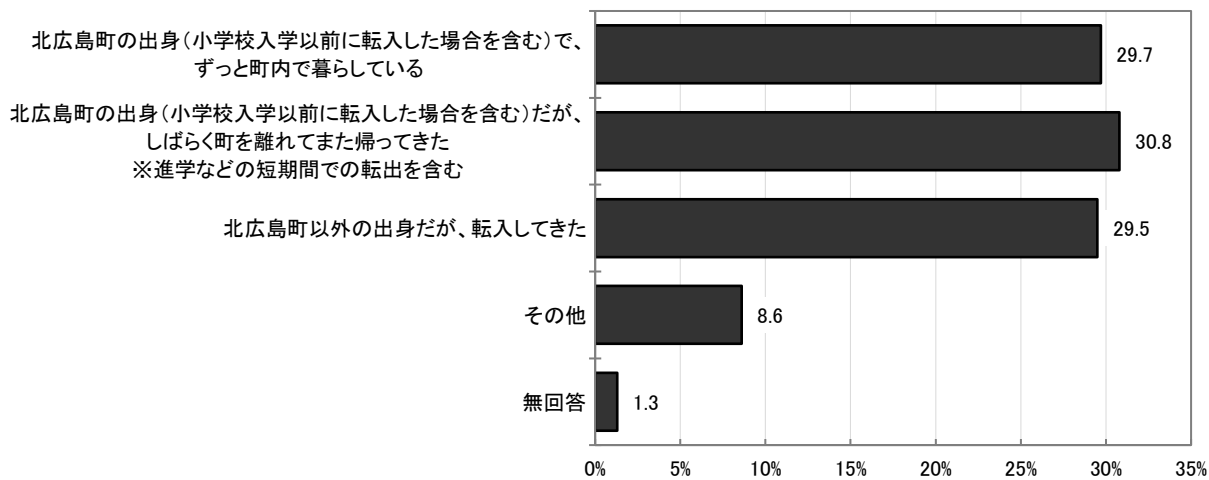
(SA) N=474



問5 あなたはいつごろから北広島町で暮らしていますか。(SA)

ずっと町内に暮らしている方、しばらく町を離れて帰ってきた方、町外からの転入者がおよそ3割ずつでバランスよく拮抗しています。

(SA) N=474

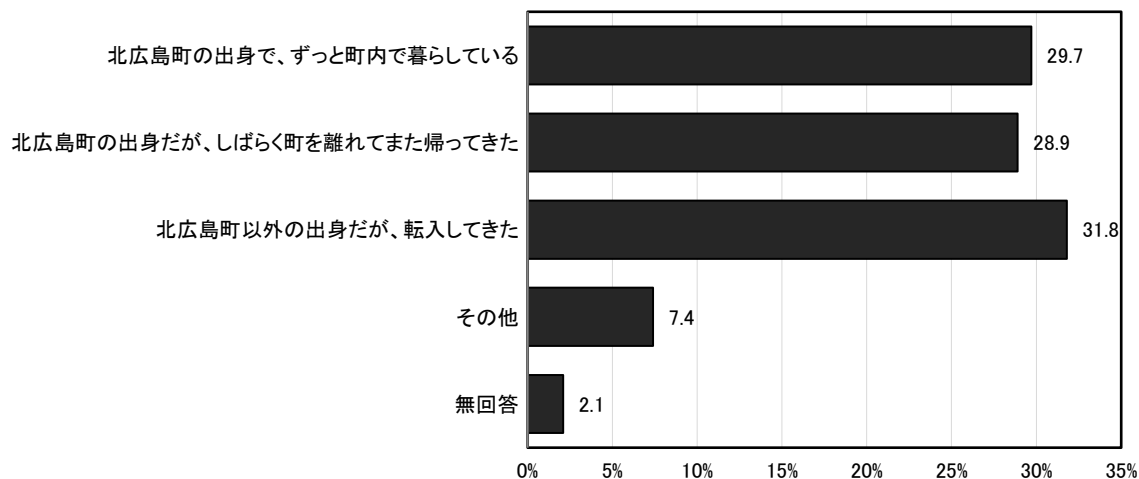


その他回答	類似回答数
障がい者施設に入所の為	1
セカンドハウスとして週2で来ている	1
2020年4月	1

【参考】 前回結果比較（平成 28 年 3 月実施分）

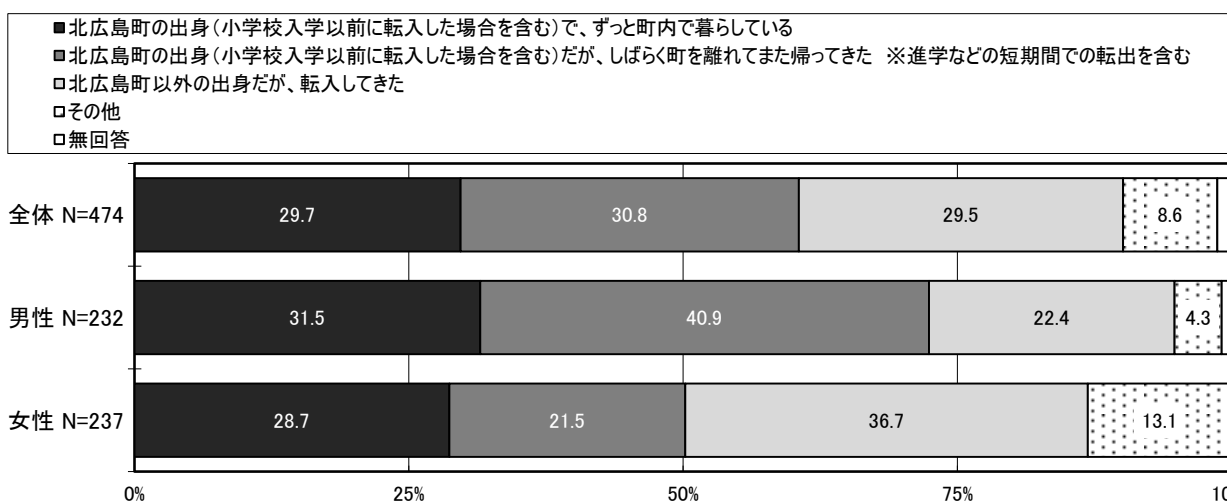
前回もおおよそ今回と同様の傾向がありました。

(SA) N=940



【男女別 × 問 5】

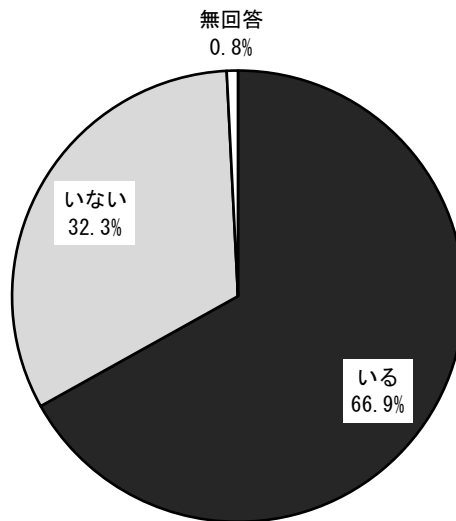
男性はしばらく町を離れて帰ってきた方の割合が高く、女性は転入してきた方の割合が高くなっています。



問6 あなたの家族に高齢者（65歳以上）はいますか。（SA）

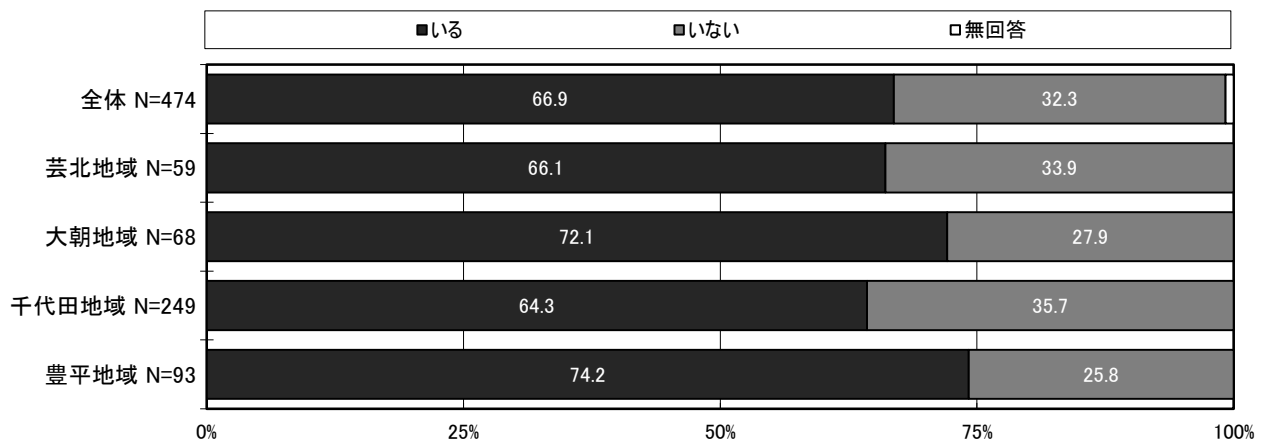
「いる」が66.9%を占めています。

(SA) N=474



【地域別×問6】

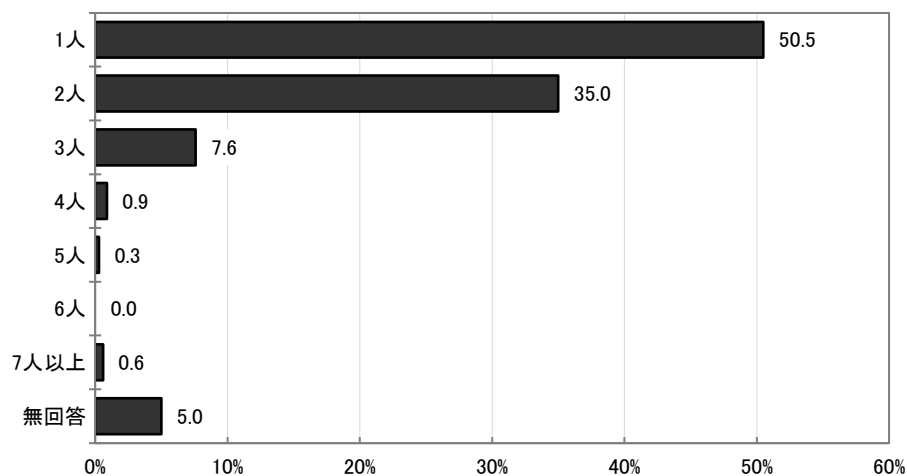
大朝地域と豊平地域では、7割以上が高齢者のいる世帯となっています。



問6-1 いる場合何人ですか。(数量)

「1人」が50.5%で最も高くなっています。次いで「2人」が35.0%、「3人」が7.6%が続いています。

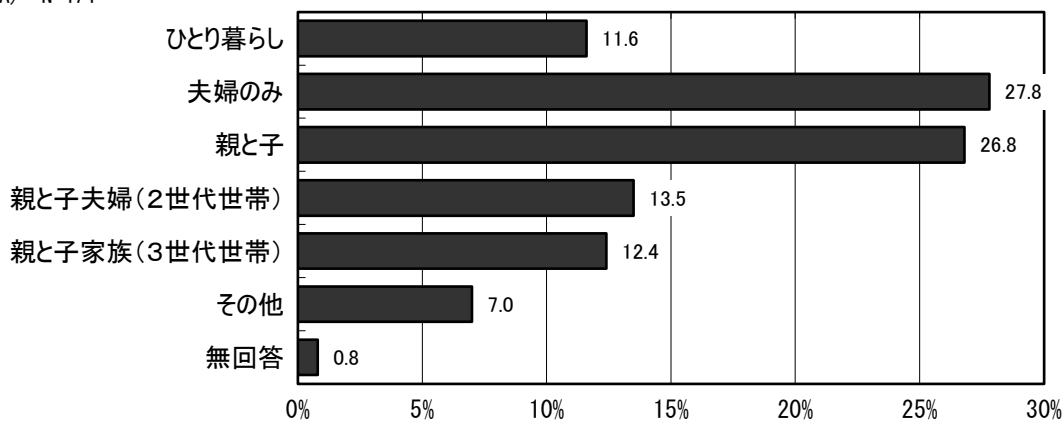
(数量) N=317



問7 あなたの家族構成はどれにあたりますか。(SA)

「夫婦のみ」が27.8%で最も高く、次いで「親と子」が26.8%が続いています。

(SA) N=474

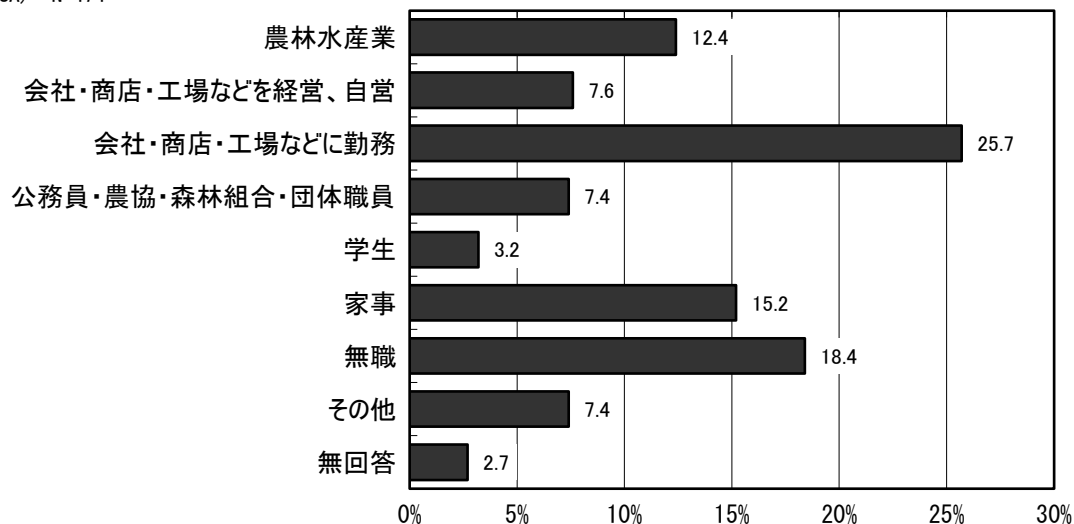


その他回答	類似回答数	その他回答	類似回答数
夫婦、子	6	叔母、いとこ	1
夫婦、兄弟姉妹	3	親、子、孫	1
親、夫婦、子	2	親、子、孫、ひ孫	1
配偶者、子	2	4世代	1
兄弟姉妹	2	夫婦、子、兄弟姉妹	1
親、兄弟姉妹	1	婚約者	1
親、叔母	1	夫婦	1
親、夫婦	1	親	1
親、夫婦、子、兄弟姉妹	1	施設	3
子家族	1		

問8 あなたの主なお仕事は次のどれにあたりますか。(SA)

「会社・商店・工場などに勤務」が 25.7%で最も高くなっています。次いで「無職」が 18.4%、「家事」が 15.2%で続いています。

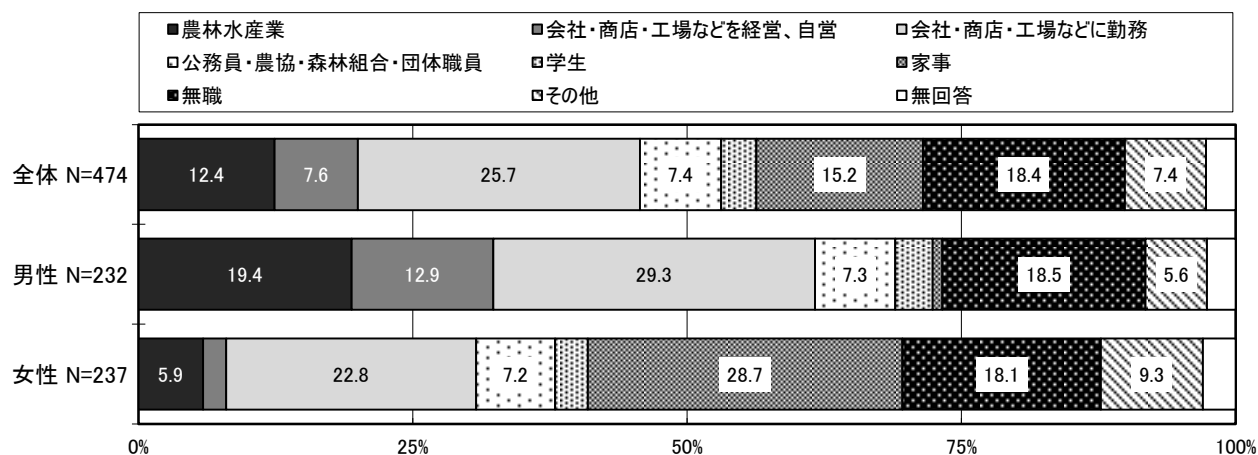
(SA) N=474



その他回答	類似回答数
パート	5
福祉関係	4
シルバー人材センター	4
建設業	2
農業	2
自営	1
サービス業	1
保育士	1
医療関係	1
運送業	1
委託の仕事	1
学校	1
通所	1
就労 B	1

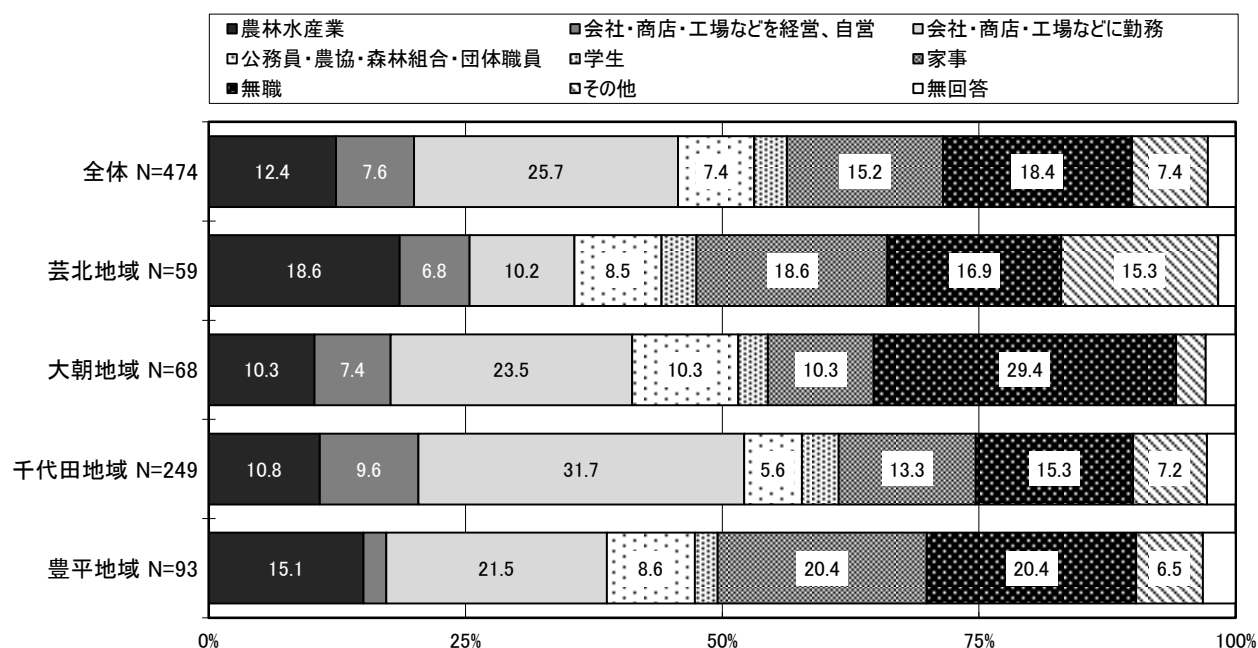
【男女別×問8】

男性は女性に比べて「農林水産業」「会社・商店・工場などを経営、自営」の割合が高く、女性は男性に比べて「家事」の割合が高くなっています。



【地域別×問8】

千代田地域では他の地域と比べて「会社・工場・商店などに勤務」の割合が高く、大朝地域では他の地域と比べて「無職」の割合が高くなっています。

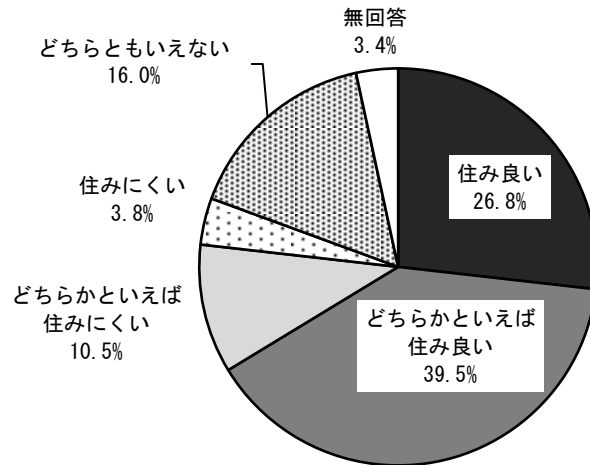


2 北広島町の住み良さや居留意向について

問9 あなたは北広島町が住み良いまちだと感じますか。(SA)

「どちらかといえば住み良い」が 39.5%で最も高くなっています。次いで「住み良い」が 26.8%、「どちらともいえない」が 16.0%で続いています。

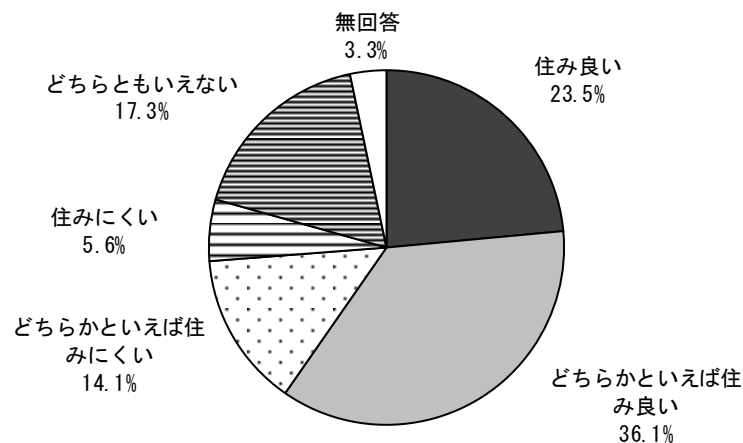
(SA) N=474



【参考】前回結果比較（平成 28 年 3 月実施分）

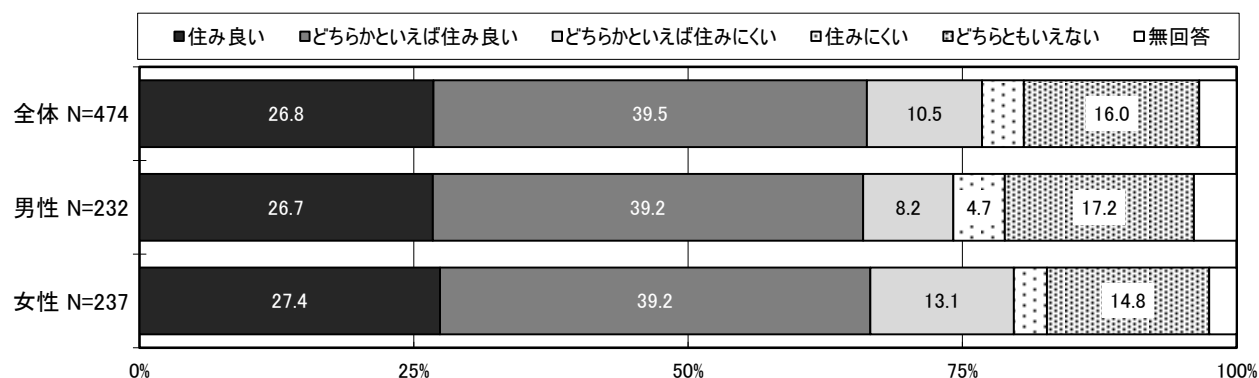
今回は前回に比べて「住み良い」「どちらかといえば住み良い」の割合が増加し、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の割合が減少しています。

(SA) N=940



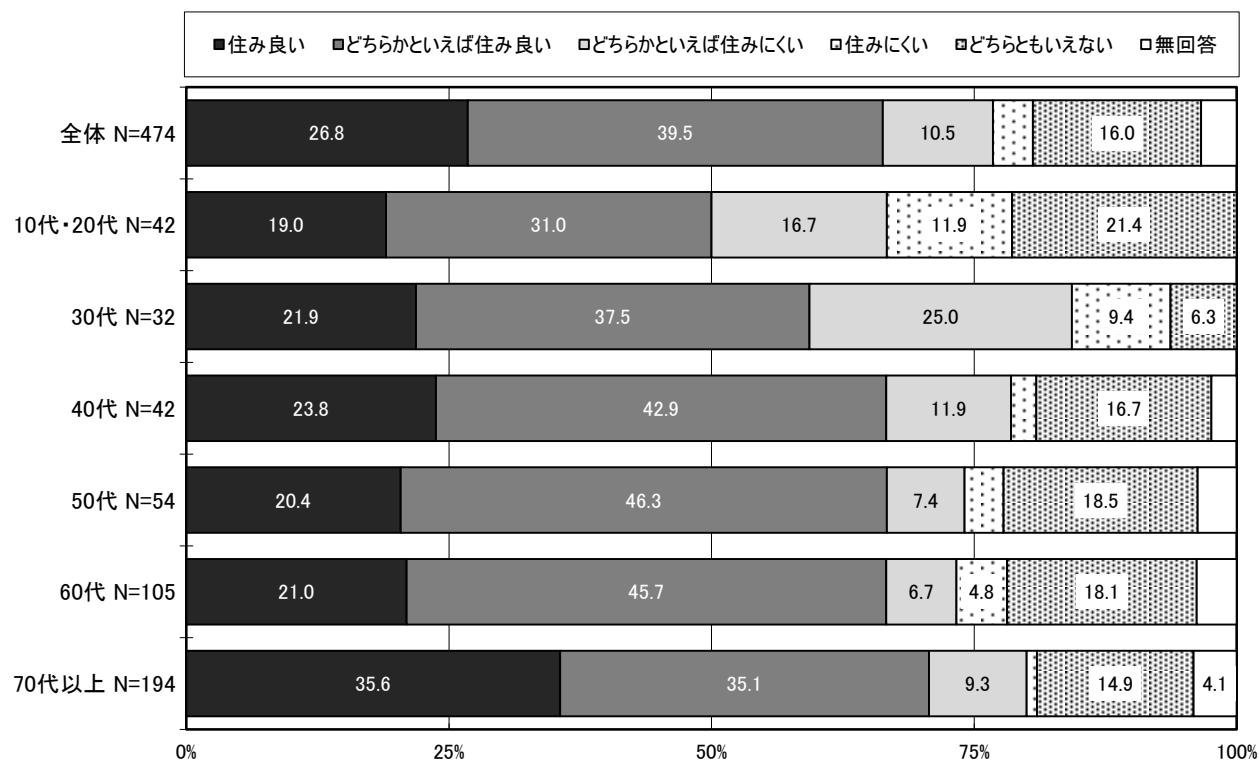
【男女別×問9】

女性は男性に比べて「どちらかといえば住みにくい」の割合が高くなっています。



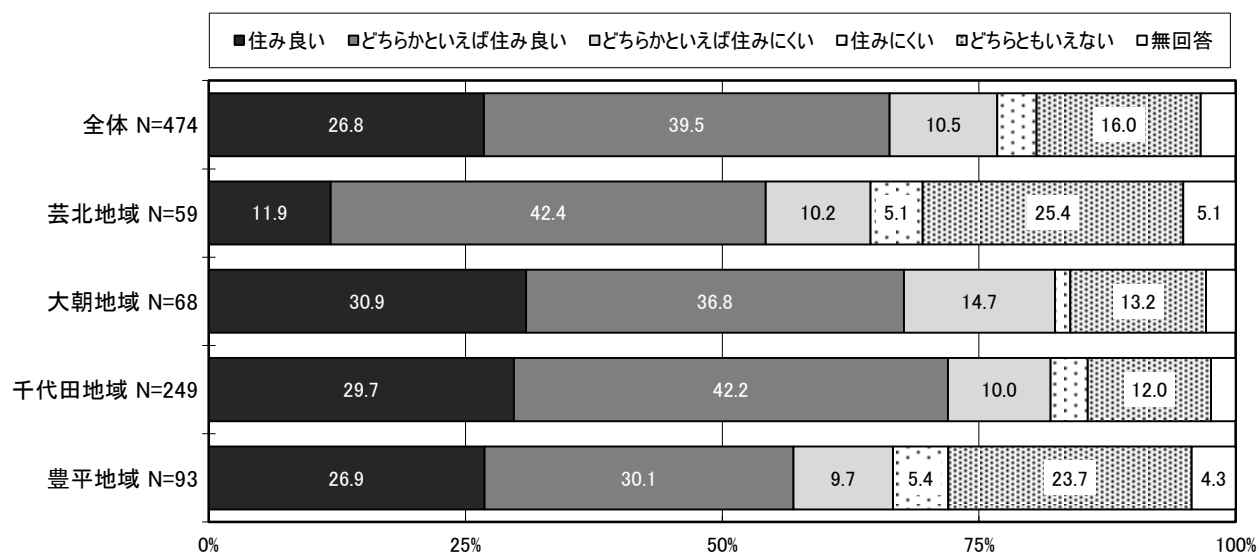
【年代別×問9】

10代・20代と30代では「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合計した割合が他の年代と比べて高くなっています。



【地域別×問9】

芸北地域では他の地域と比べて「住み良い」の割合が低くなっています。



問 10 北広島町の住み良いところ、住みにくいところはそれぞれ何ですか。(MA)

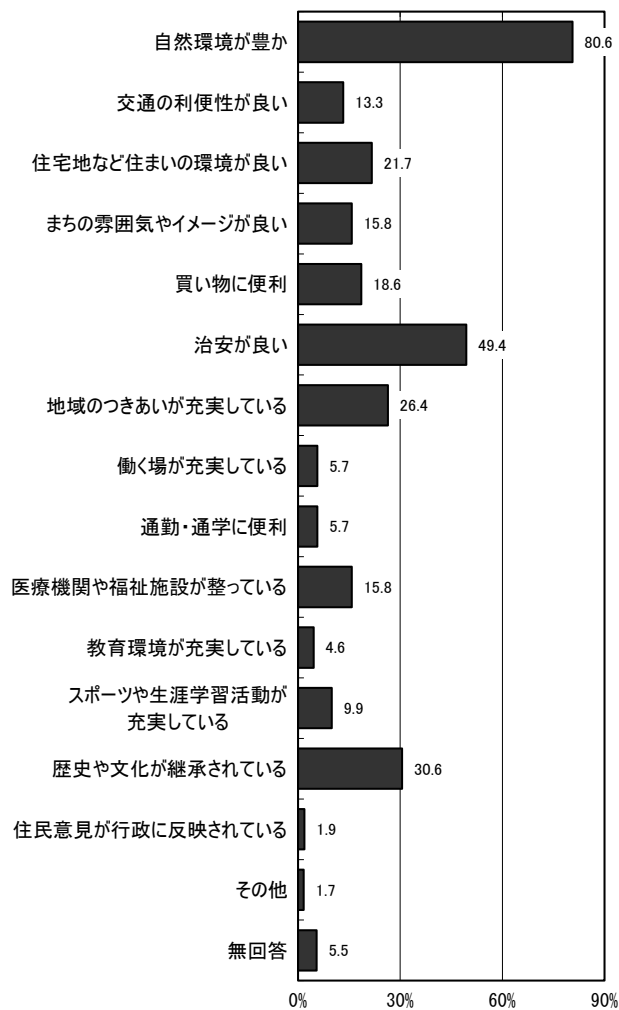
住み良いところについて、「自然環境が豊か」が 80.6%で最も高くなっています。次いで「治安が良い」が 49.4%、「歴史や文化が継承されている」が 30.6%で続いています。

住みにくいところについて、「交通の利便性が悪い」が 57.8%で最も高くなっています。次いで「買い物が不便」が 48.5%、「働く場が不足している」「医療機関や福祉施設が不足している」が 35.0%で続いています。

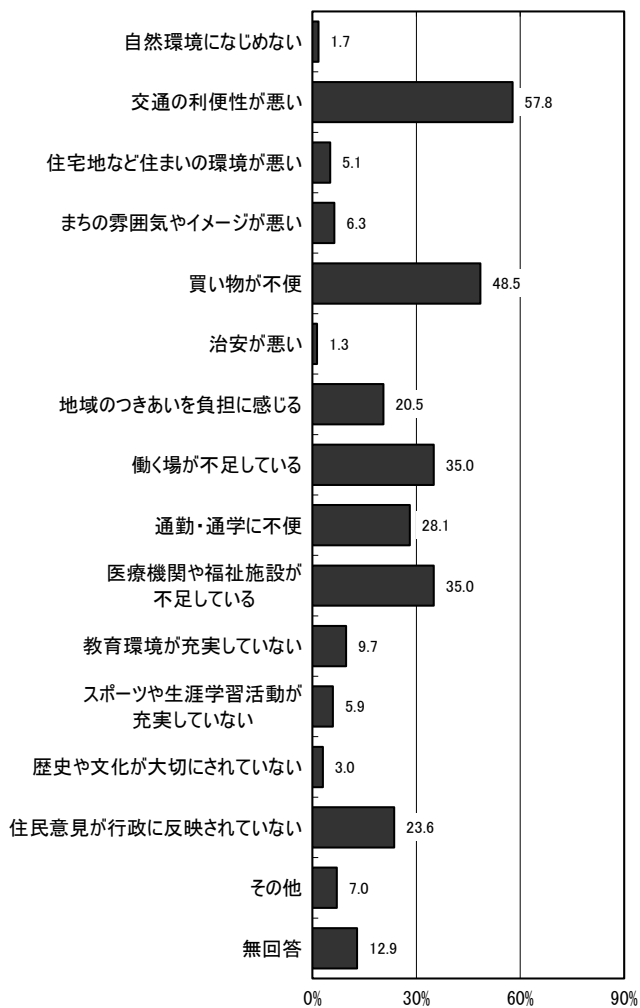
【住み良いところ】

【住みにくいところ】

(MA) N=474



(MA) N=474



【住み良いところ】

その他回答	類似回答数
町長が良い	1
バイパスなど	1
高速バスを利用しやすい	1
車での移動が便利	1
わからない	1
ない	3

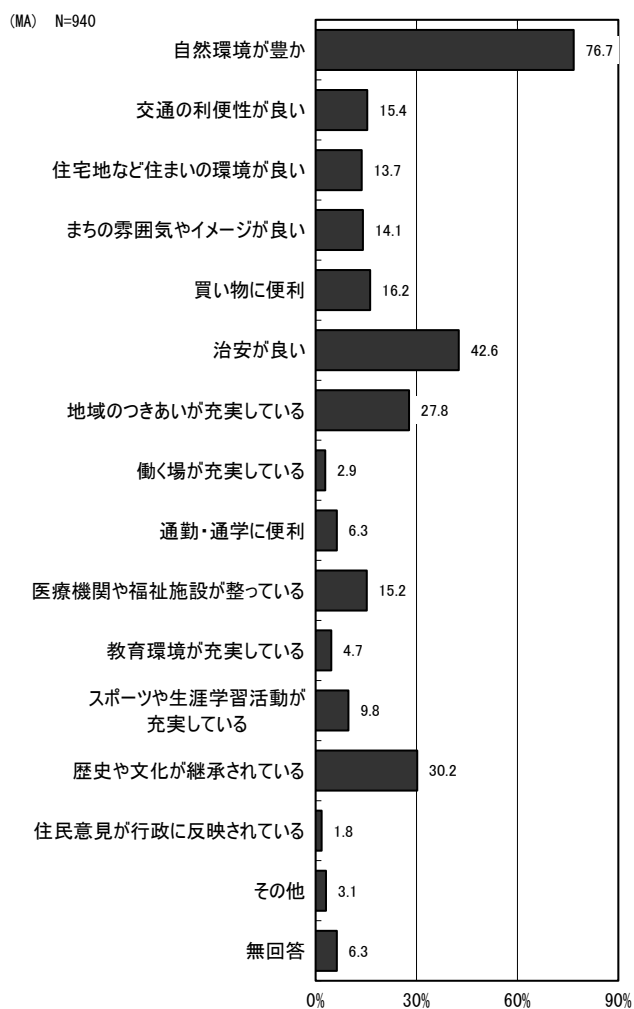
【住みにくいところ】

その他回答	類似回答数
鳥獣被害	4
ネット環境が悪い	3
遊ぶ場所が少ない	3
車がないと生活できない、免許返納後は大変	3
周辺部が取り残される、千代田だけ感	2
山林・農地の荒廃	1
積雪時の生活が大変	1
災害対策が不十分	1
発展性がない	1
過疎化が進む	1
空き家が多い	1
地域に無関心な人が増えた	1
地域がひとつにならない	1
行事の参加が多い	1
エンターテインメントが少ない	1
小学校の遊具が少ない	1
税金が高い	1
仕事がシルバーにはあって U ターン者にはない	1
電車がない	1
外国人が多くて怖い	1
町の大きさ相応では	1
わからない	1
ない	1

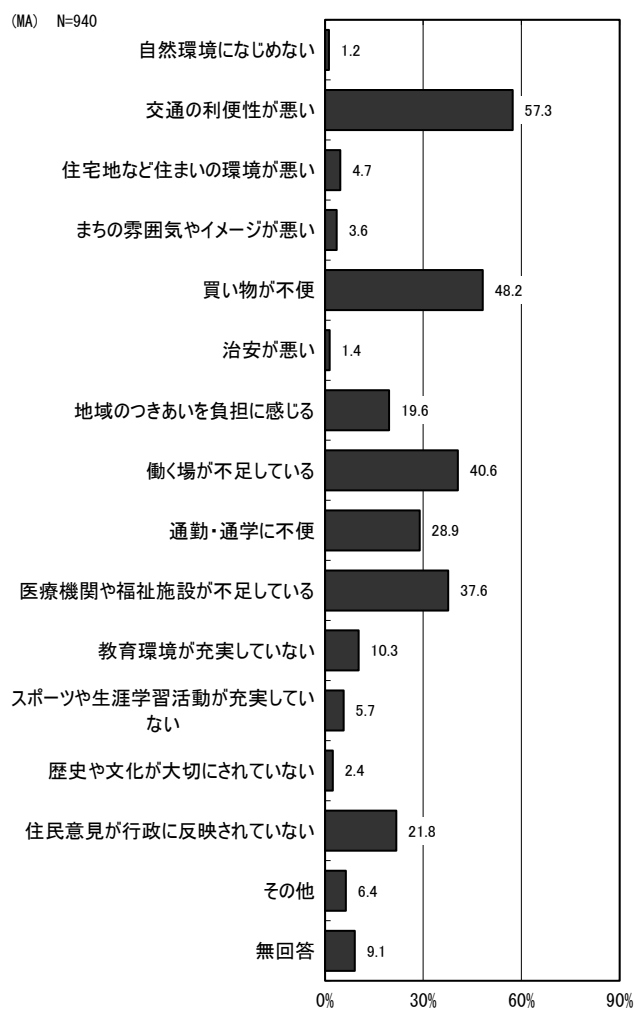
【参考】 前回結果比較（平成 28 年 3 月実施分）

今回は前回に比べて【住み良いところ】では「住宅地など住まいの環境が良い」「治安が良い」が増加しており、【住みにくいところ】では「働く場が不足している」が減少しています。

【住み良いところ】



【住みにくいところ】



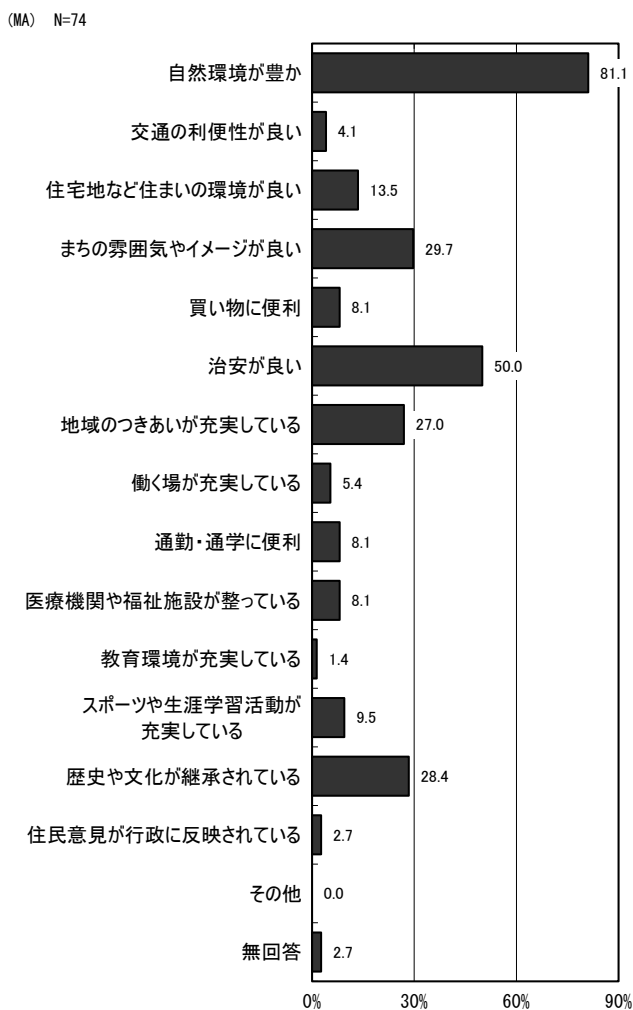
【年代別×問10】

住み良いところについて、40歳未満では「まちの雰囲気やイメージが良い」、65歳以上では「住宅地など住まいの環境が良い」「医療機関や福祉施設が整っている」と回答した割合が、それぞれ他の年代と比べて高くなっています。

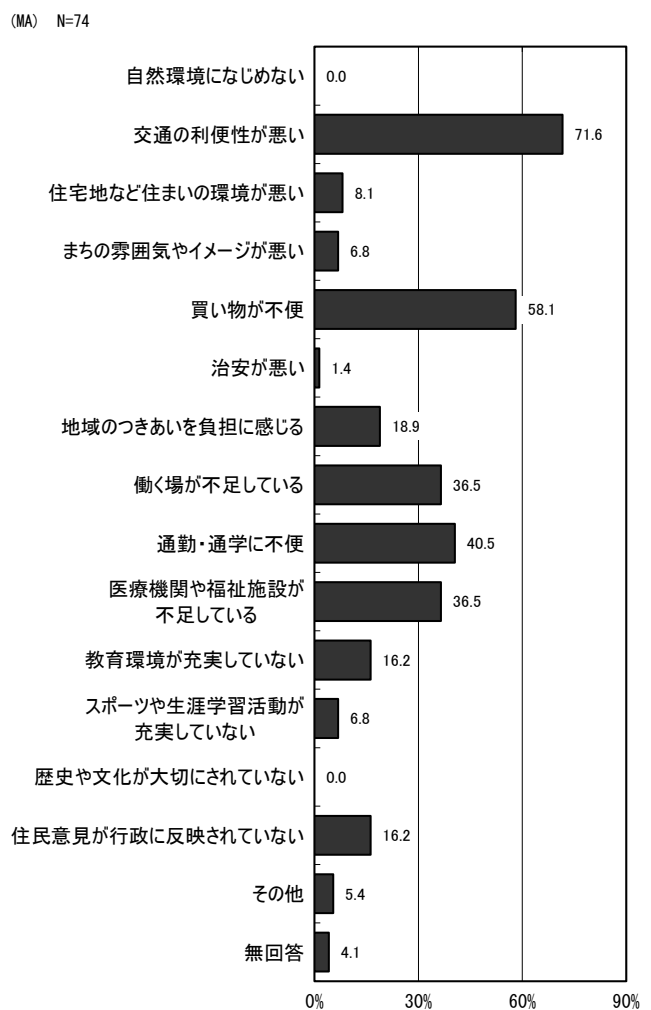
住みにくいところについて、40歳未満では「交通の利便性が悪い」「買い物が不便」、40～64歳では「地域の付き合いを負担に感じる」、65歳以上では「住民意見が行政に反映されていない」と回答した割合が、それぞれ他の年代と比べて高くなっています。

■40歳未満

【住み良いところ】



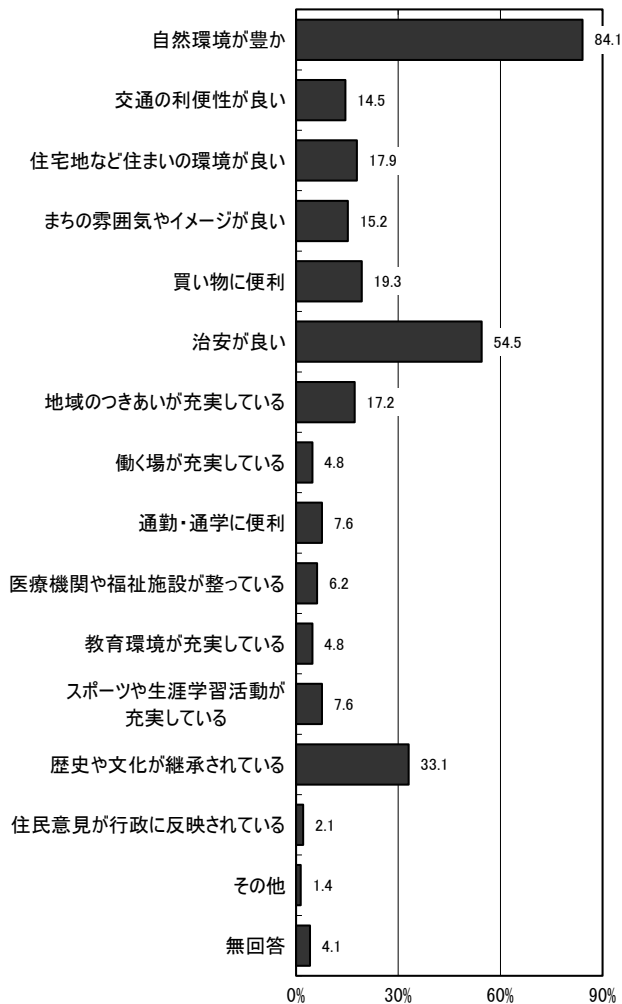
【住みにくいところ】



■ 40 歳～64 歳

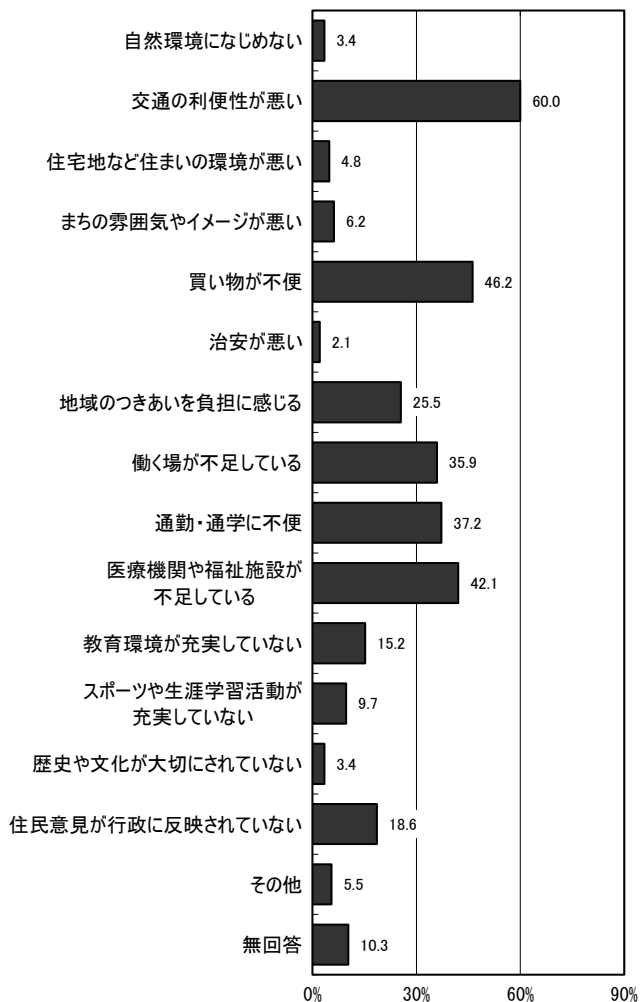
【住み良いところ】

(MA) N=145



【住みにくいところ】

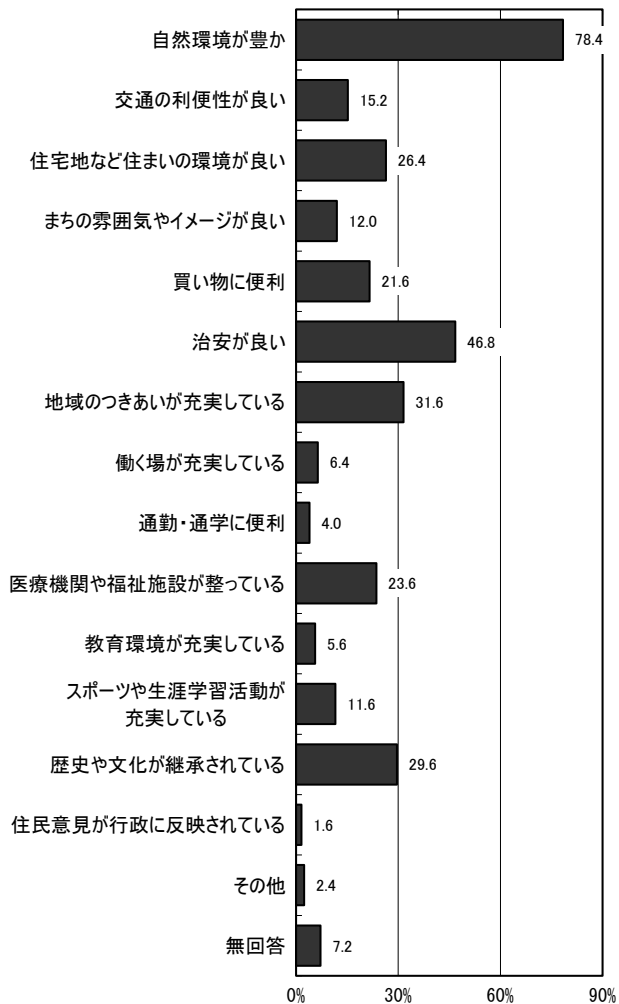
(MA) N=145



■ 65 歳以上

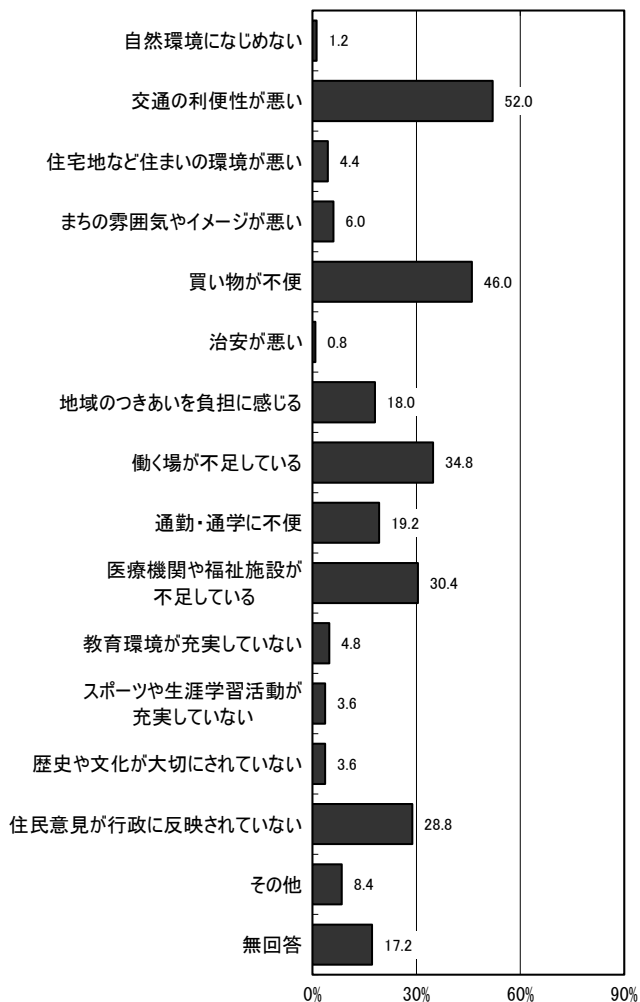
【住み良いところ】

(MA) N=250



【住みにくいところ】

(MA) N=250



【地域別×問10】

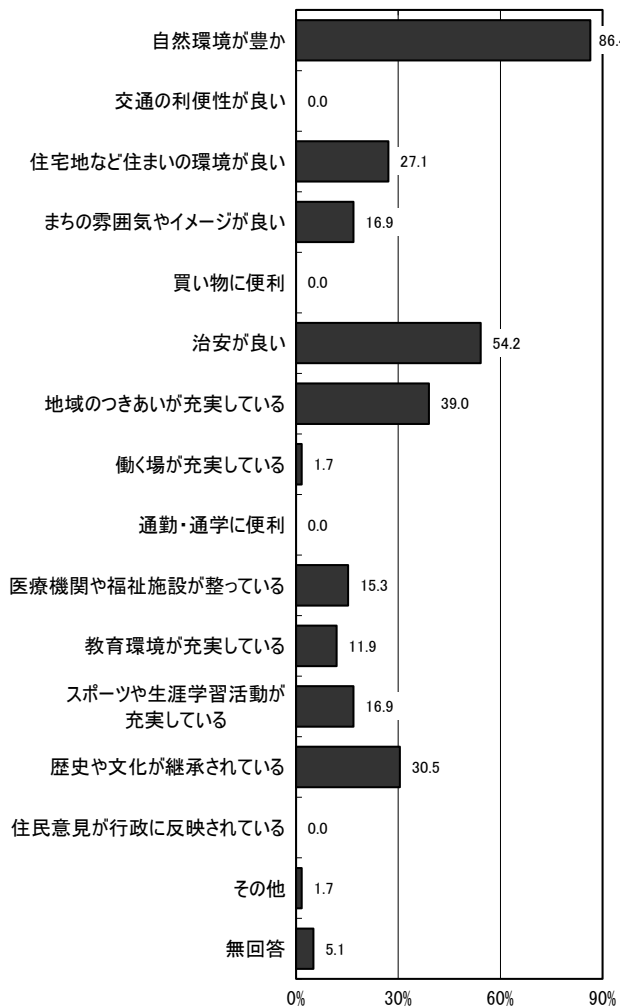
住み良いところについて、千代田地域は他の地域と比べて「交通の利便性がいい」「買い物に便利」「働く場が充実している」の割合が高く、大朝地域は他の地域と比べて「医療機関や福祉施設が整っている」の割合が高くなっています。

住みにくいところについて、芸北地域では他の地域と比べて「住民意見が行政に反映されていない」「働く場が不足している」、豊平地域では他の地域と比べて「医療機関や福祉施設が不足している」と回答した割合が、他の地域と比べて高くなっています。また、芸北地域と豊平地域では「交通の利便性が悪い」「通勤・通学に不便」の割合が、大朝地域・千代田地域と比べて高くなっています。

■ 芸北地域

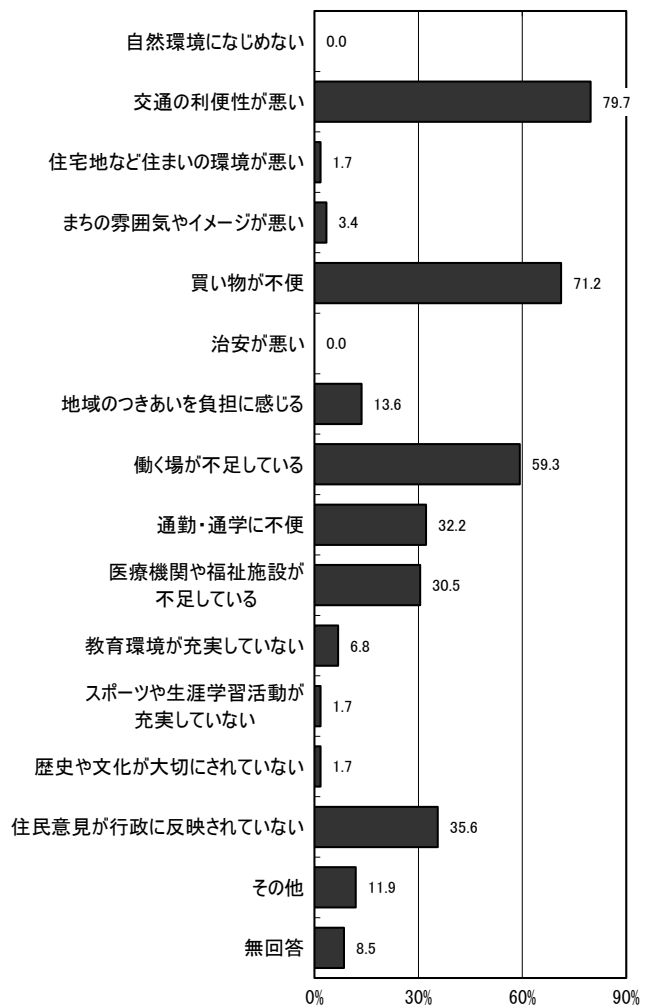
【住み良いところ】

(MA) N=59



【住みにくいところ】

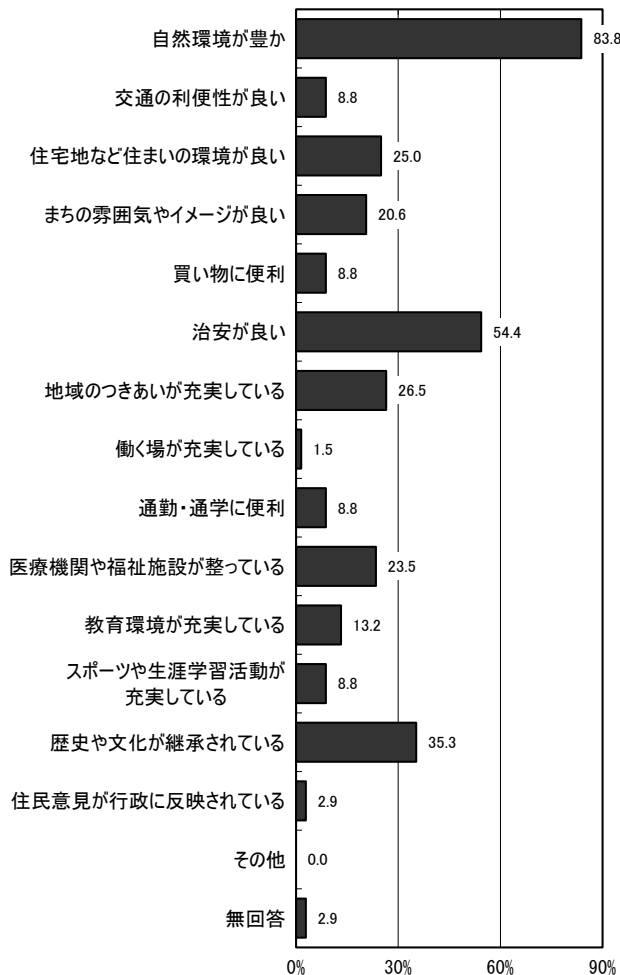
(MA) N=59



■大朝地域

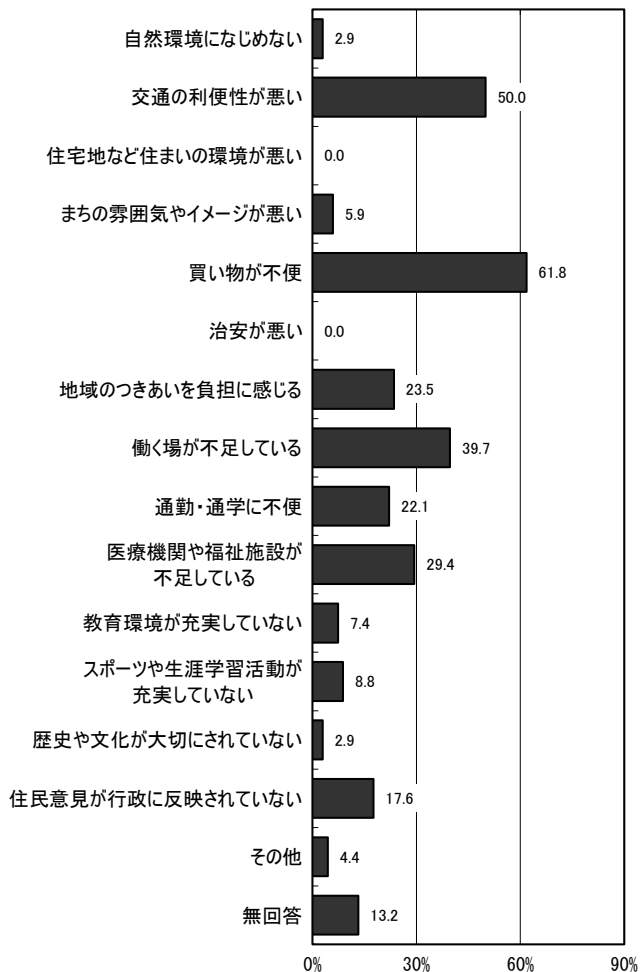
【住み良いところ】

(MA) N=68



【住みにくいところ】

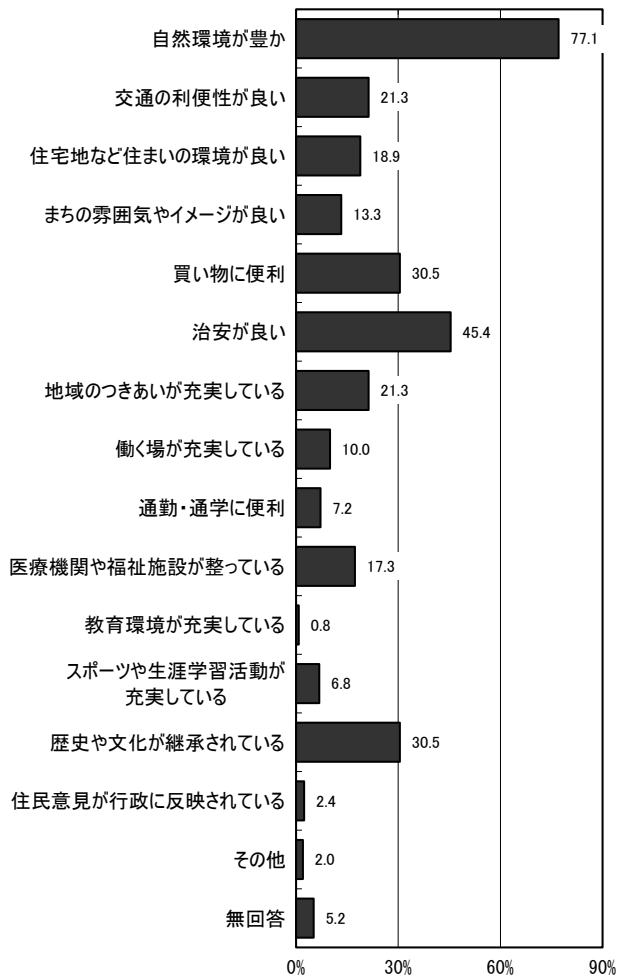
(MA) N=68



■ 千代田地域

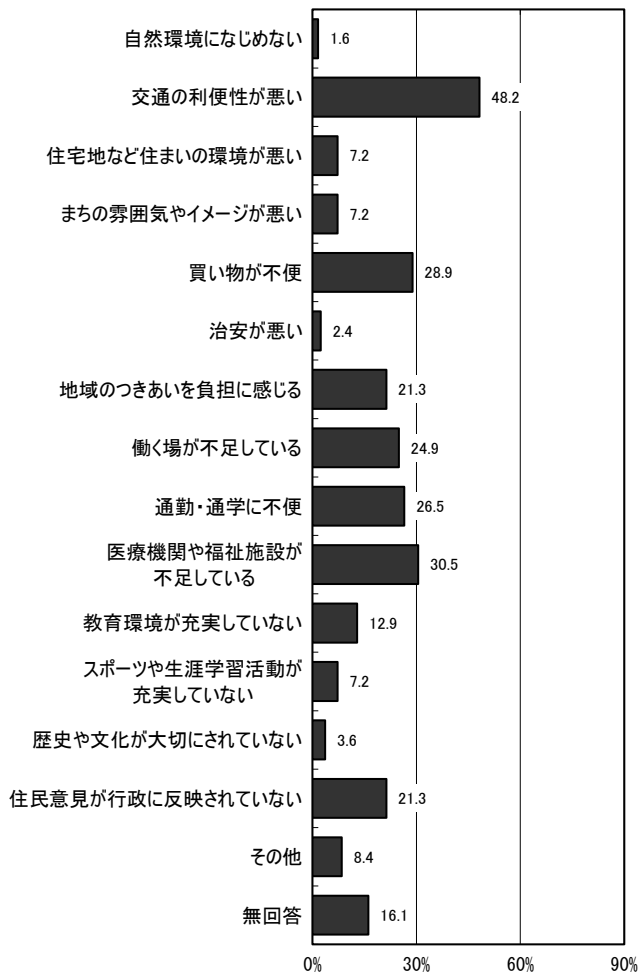
【住み良いところ】

(MA) N=249



【住みにくいところ】

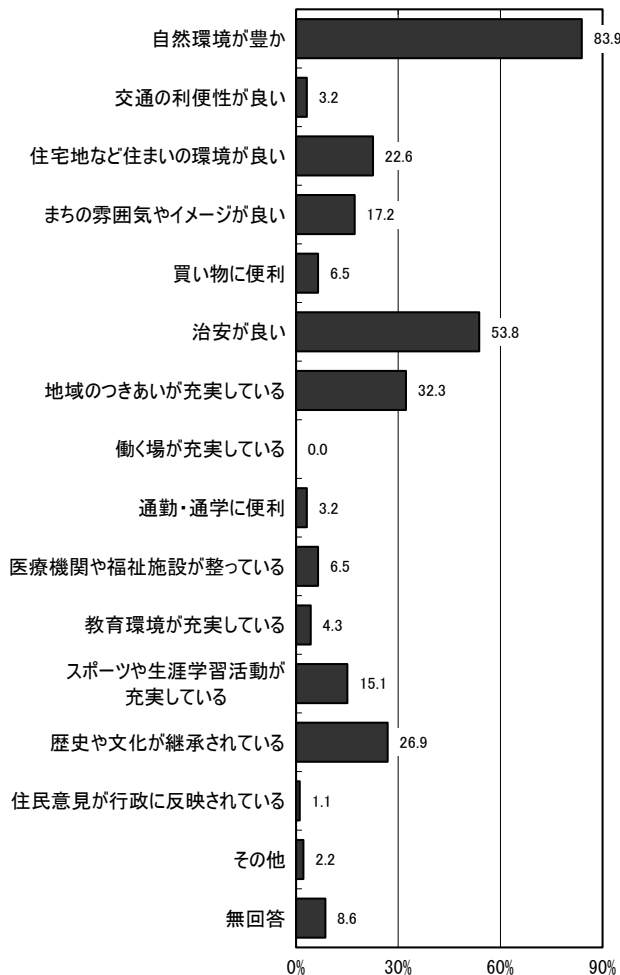
(MA) N=249



■ 豊平地域

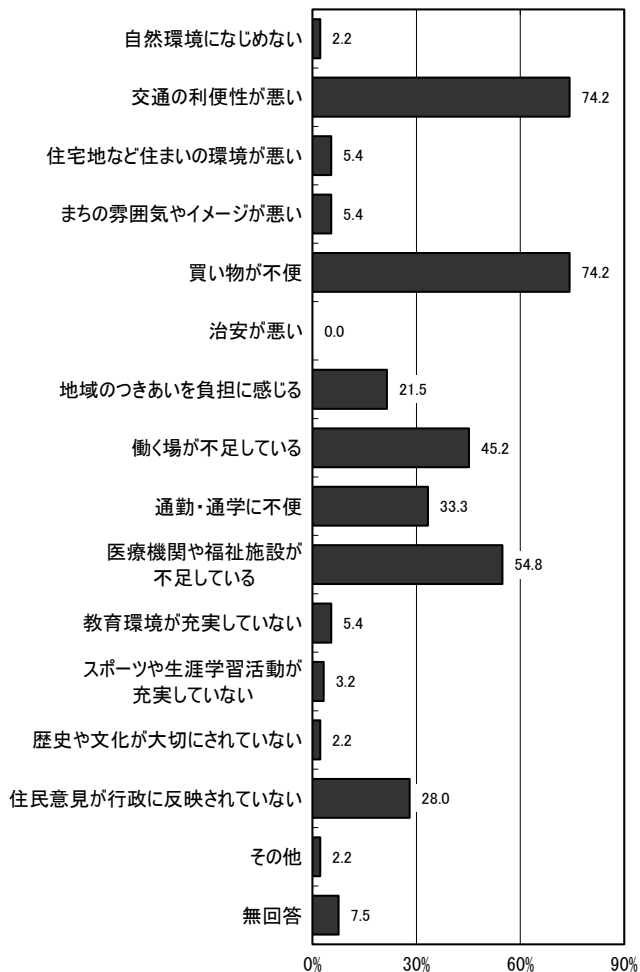
【住み良いところ】

(MA) N=93



【住みにくいところ】

(MA) N=93



【問9 × 問10】

住み良いところについて、北広島町について「住み良い」と感じている人は「買い物に便利」「歴史や文化が継承されている」の割合が、「住みにくい」と感じている人と比べて高くなっています。

住みにくいところについて、北広島町について「住みにくい」と感じている人は「地域の付き合いを負担に感じる」の割合が、「住み良い」と感じている人と比べて高くなっています。

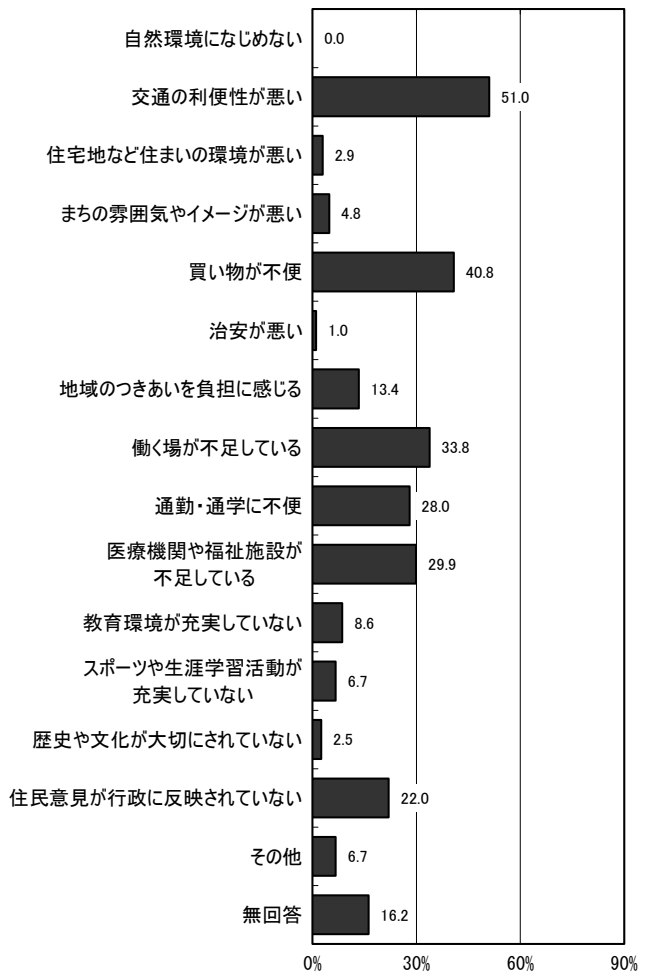
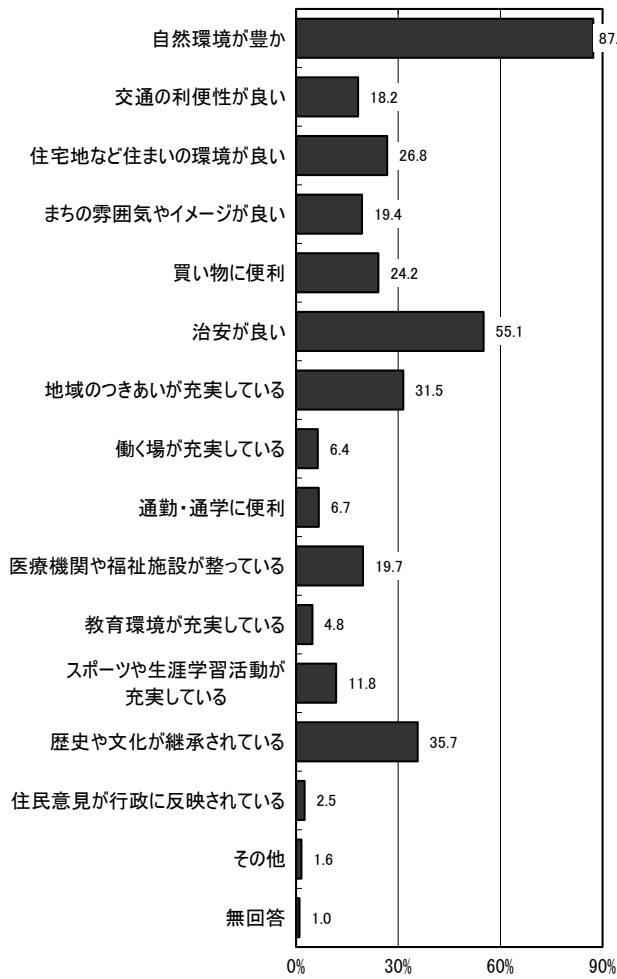
■問9で「住み良い」「どちらかというに住み良い」と回答した人

【住み良いところ】

【住みにくいところ】

(MA) N=314

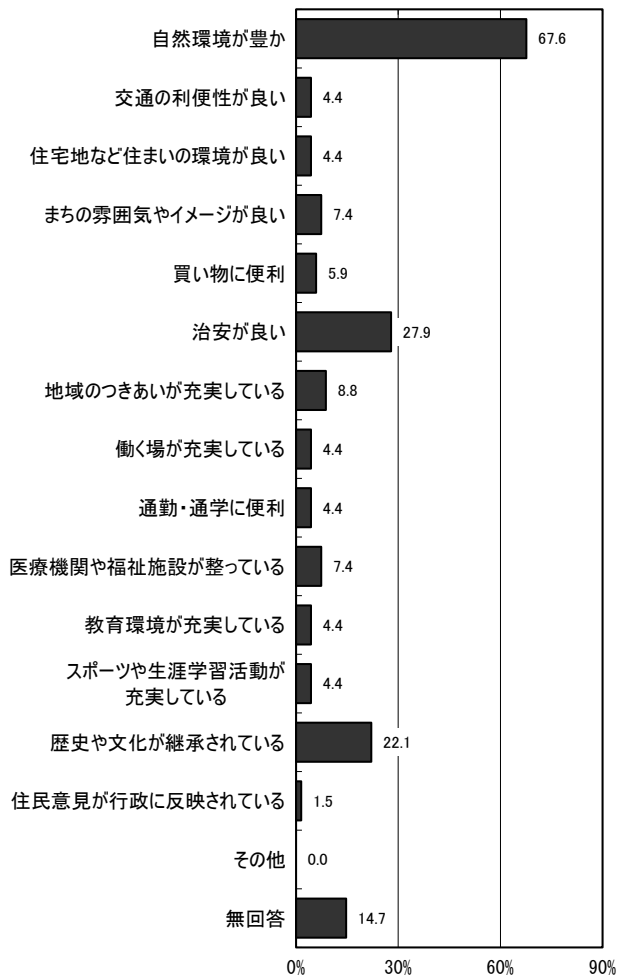
(MA) N=314



■問9で「住みにくい」「どちらかというに住みにくい」と回答した人

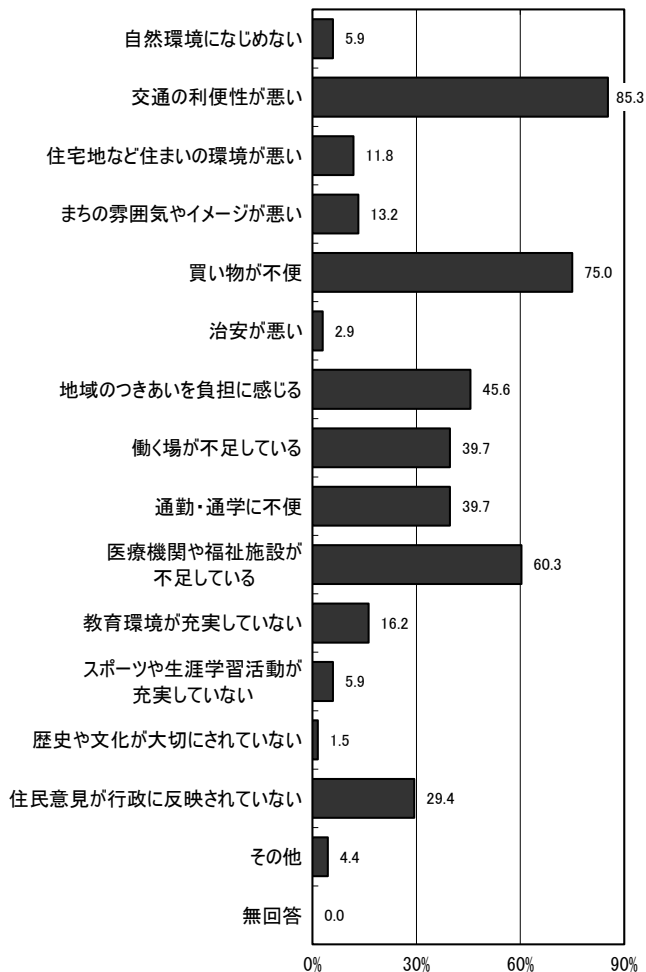
【住み良いところ】

(MA) N=68



【住みにくいところ】

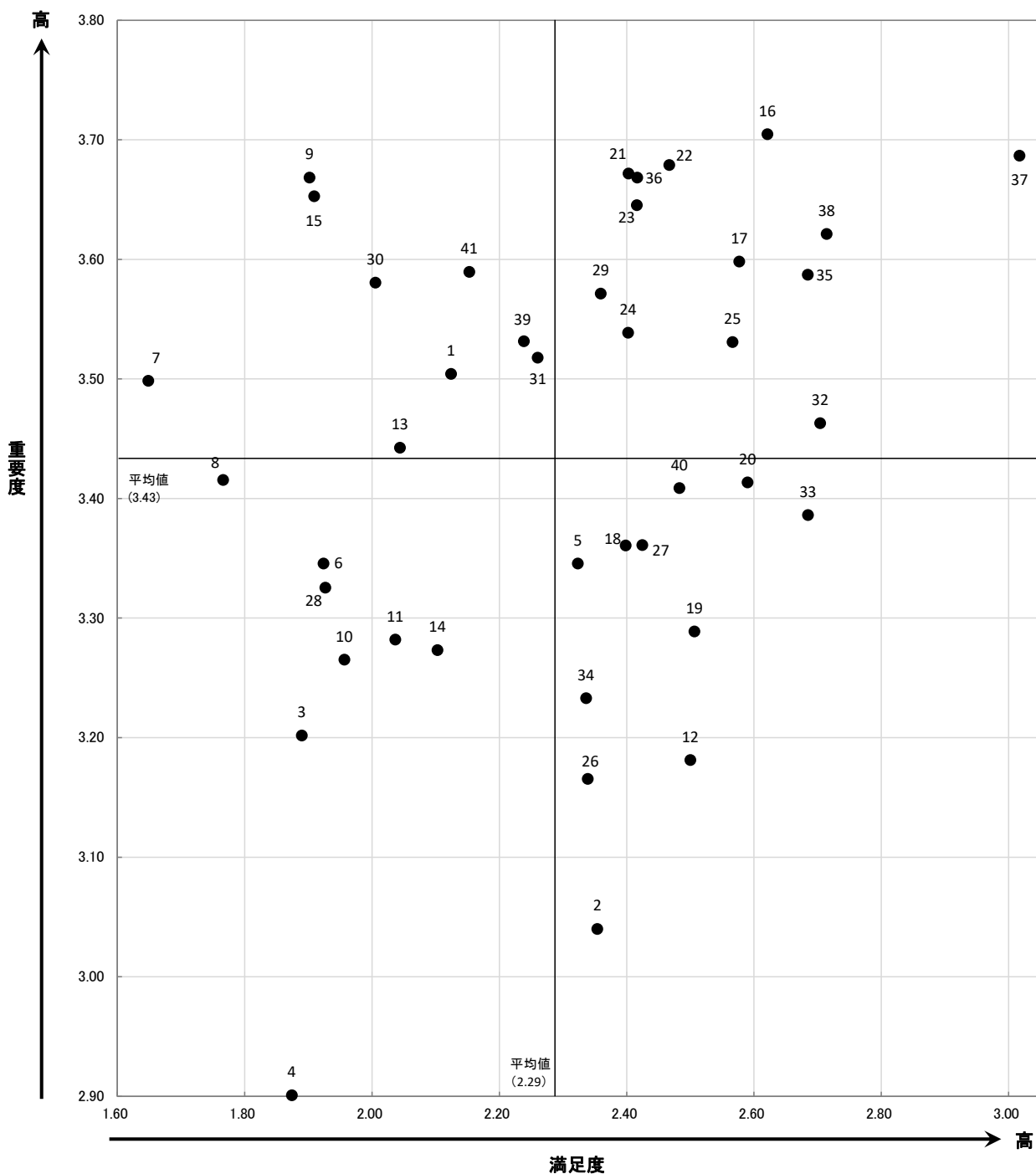
(MA) N=68



問 11 町の主な施策について、現在の生活実感からみた北広島町の「満足度」と、今後の取り組みとしての「重要度」をどうお考えですか。

『重要度』『満足度』ともに高いものは「16. 学校教育」「17. 青少年」「21. 保健・医療・福祉」「22. 高齢者福祉」「23. 障害者福祉」「24. 地域福祉」「25. 人権・差別解消」「29. 道路」「32. 循環型社会」「35. 上下水道」「36. 災害対策」「37. 消防・救急」「38. 防犯・交通安全」となっています。

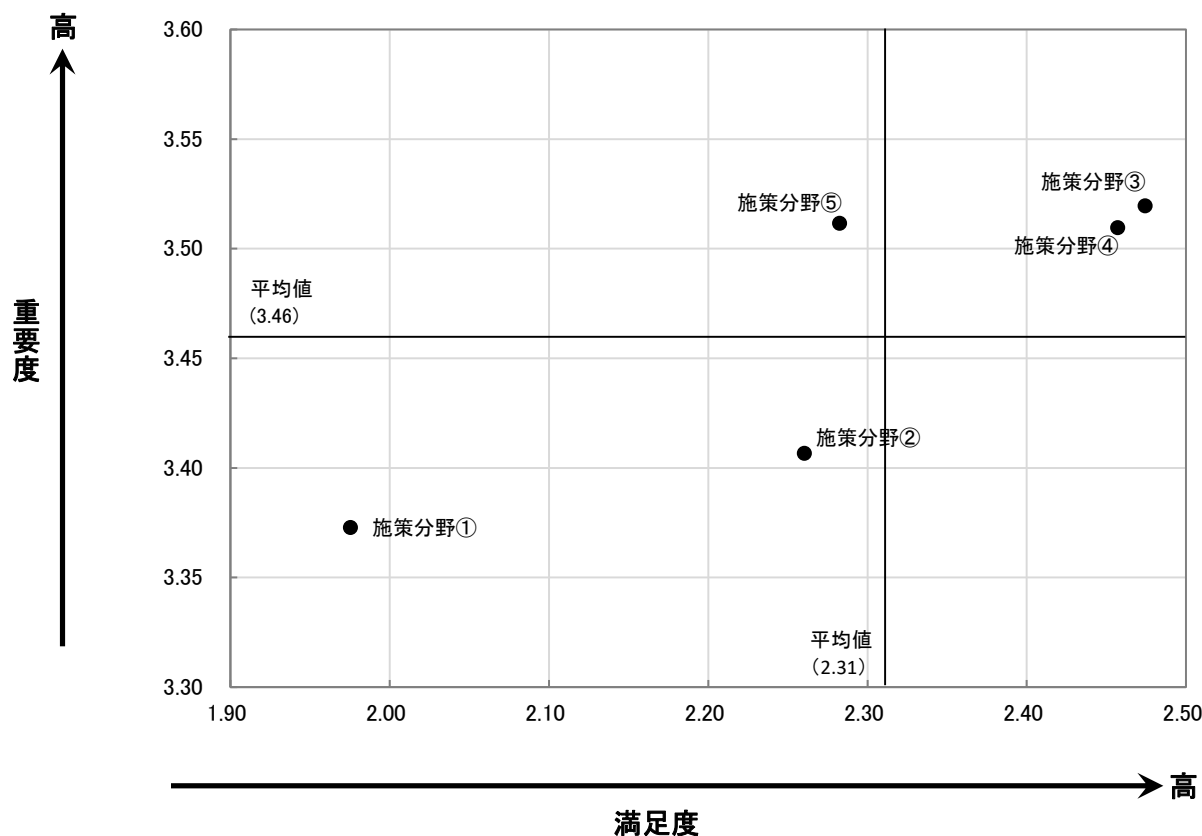
『重要度』が高く『満足度』が低いものは「1. 農業」「7. 産業の担い手」「9. 雇用」「13. 移住・定住」「15. 子育て」「30. 生活交通」「31. 情報通信」「39. 協働によるまちづくり」「41. 効率的な行政運営」となっています。



分類の平均

『重要度』『満足度』ともに高いものは、施策分野③、施策分野④となっています。

『重要度』が高く『満足度』が低いものは、施策分野⑤となっています。



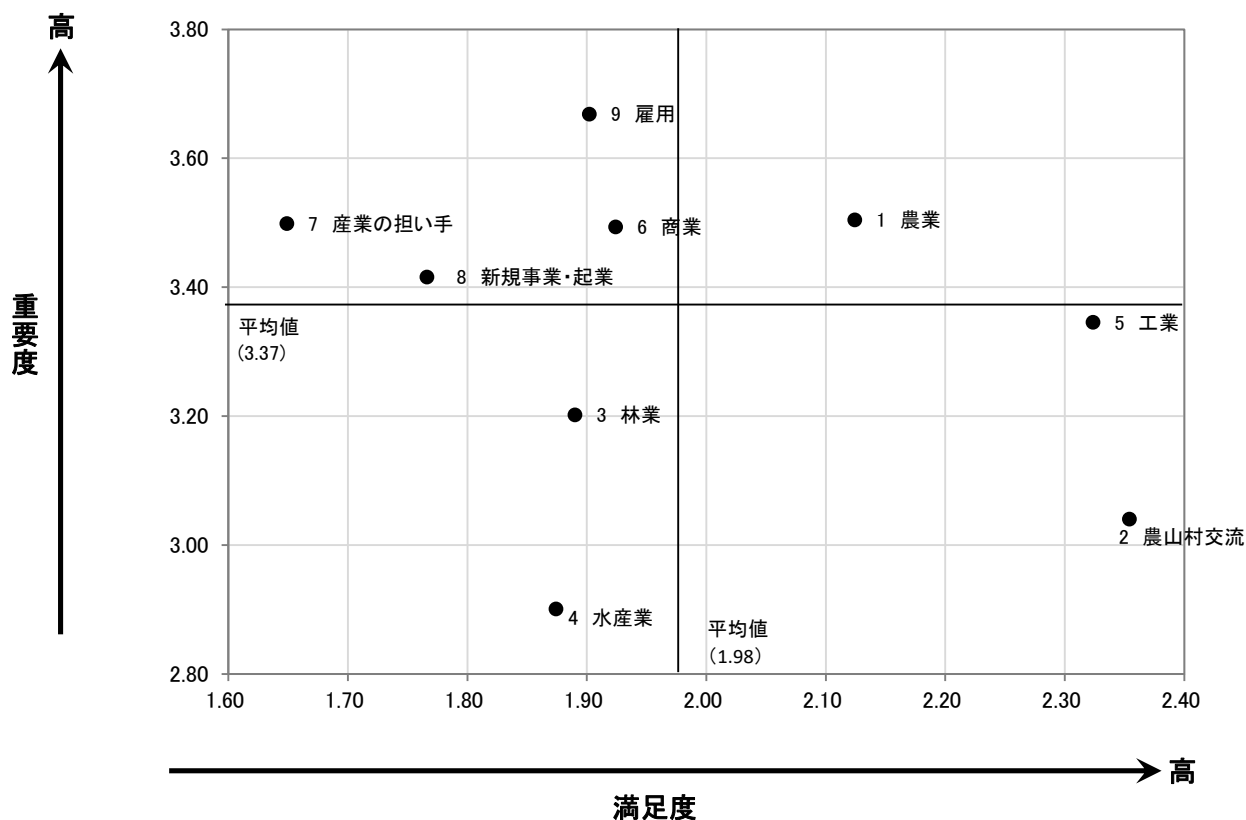
施策分野①				
1. 農業	2. 農山村交流	3. 林業	4. 水産業	5. 工業
6. 商業	7. 産業の担い手	8. 新規事業・起業	9. 雇用	
施策分野②				
10. 観光	11. 交流	12. 歴史文化	13. 移住・定住	14. 住まい
15. 子育て	16. 学校教育	17. 青少年	18. 生涯学習	19. スポーツ
施策分野③				
20. 健康づくり	21. 保健・医療・福祉	22. 高齢者福祉	23. 障害者福祉	
24. 地域福祉	25. 人権・差別解消	26. 国際理解	27. 男女共同参画	
施策分野④				
28. 土地の利用	29. 道路	30. 生活交通	31. 情報通信	
32. 循環型社会	33. 美しい環境と景観	34. 新エネルギー	35. 上下水道	
36. 災害対策	37. 消防・救急	38. 防犯・交通安全		
施策分野⑤				
39. 協働によるまちづくり	40. 広域連携	41. 効率的な行政運営		

※『重要度』『満足度』ともに高いものは薄い色、『重要度』が高く『満足度』が低いものは濃い色で網掛けがしてあります。

施策分野①

『重要度』『満足度』ともに高いものは、「1. 農業」となっています。

『重要度』が高く『満足度』が低いものは、「6. 商業」「7. 産業の担い手」「8. 新規事業・起業」「9. 雇用」となっています。

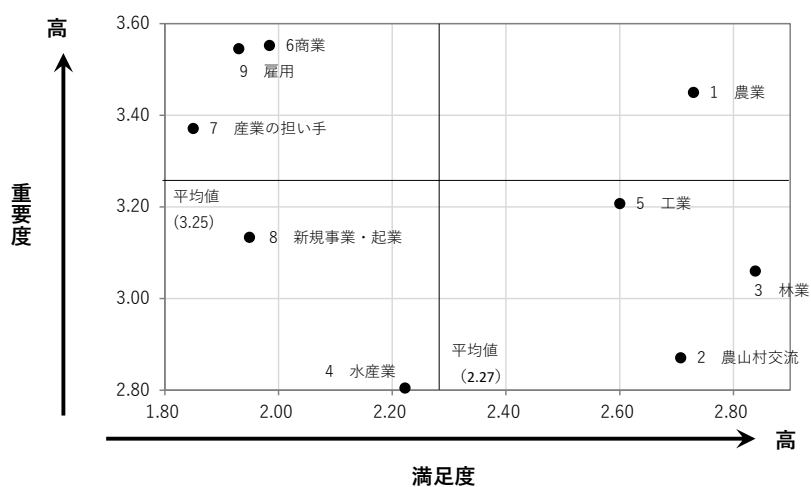


施策分野①	
1. 農業	農地が効果的に活用され、付加価値の高い農畜産物の生産や就農者の育成が進んでいること
2. 農山村交流	農業体験や民泊体験などを通じた交流やふれあいができる環境が整っていること
3. 林業	町内の森林資源の活用が行われていること
4. 水産業	豊かな水産資源が得られていること
5. 工業	町内の工業に関する振興策が充実していること
6. 商業	商店街が活性化し、買い物のできる場所が確保されていること
7. 産業の担い手	地域の産業を担う人材や後継者が確保されていること
8. 新規事業・起業	新たな事業の開始や起業を支援する環境が整っていること
9. 雇用	働くことのできる場が充分にあること

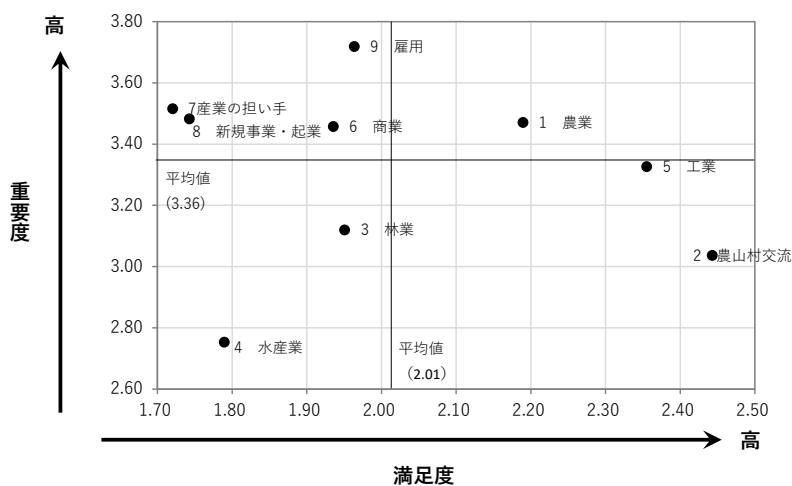
※『重要度』『満足度』ともに高いものは薄い色、『重要度』が高く『満足度』が低いものは濃い色で網掛けがしてあります。

【年代別×施策分野①】

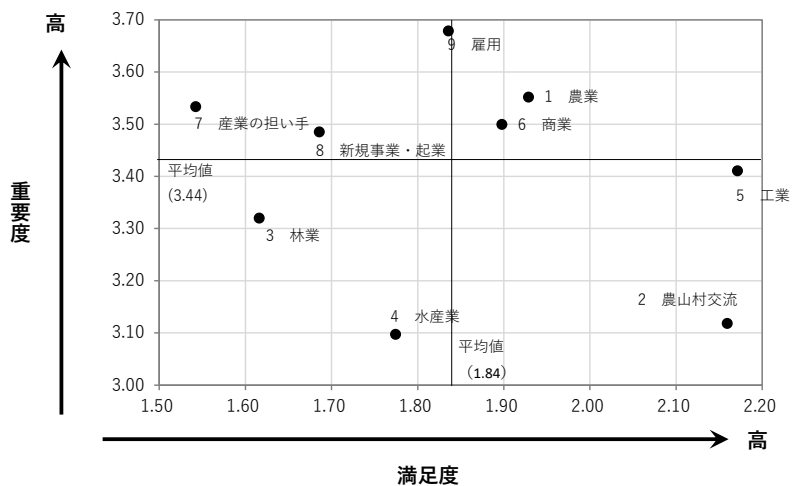
■40歳未満



■40～64歳



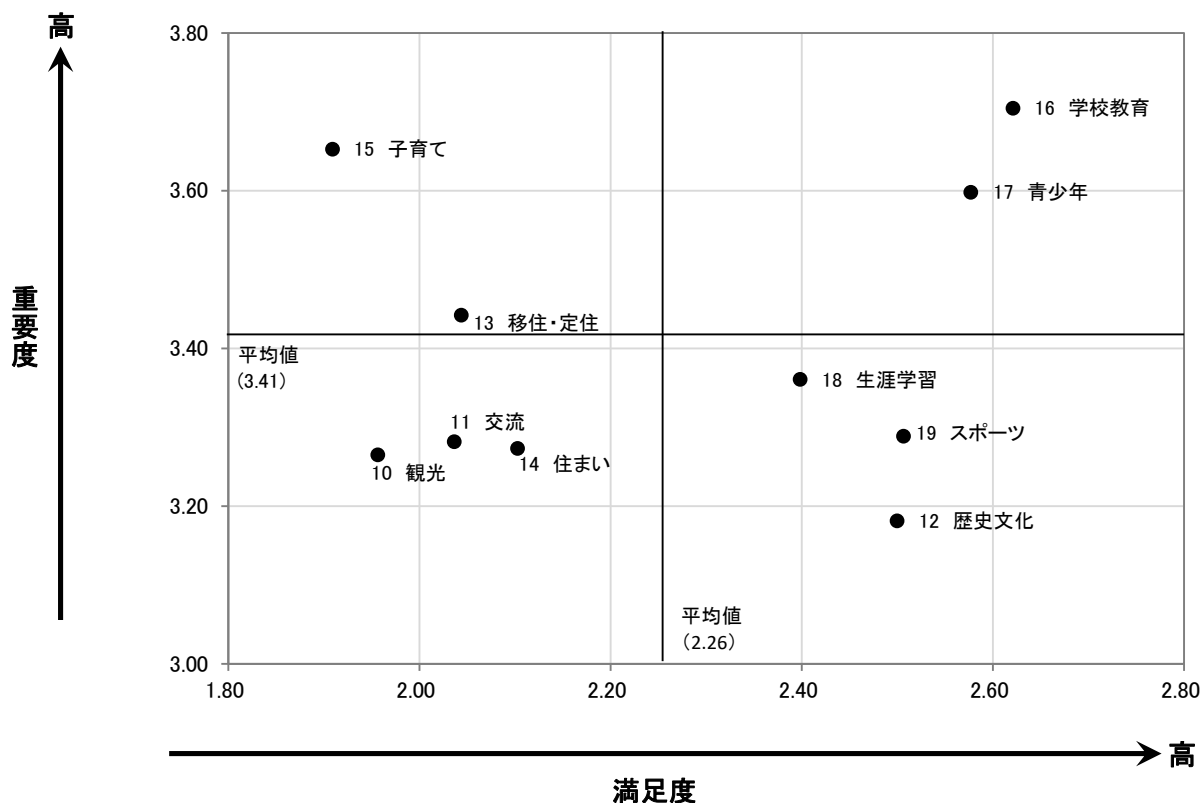
■65歳以上



施策分野②

『重要度』『満足度』ともに高いものは、「16. 学校教育」「17. 青少年」となっています。

『重要度』が高く『満足度』が低いものは、「13. 移住・定住」「15. 子育て」となっています。

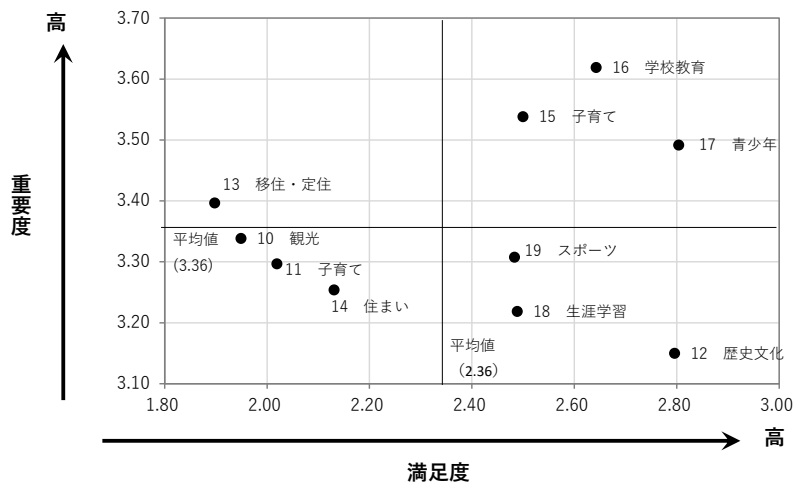


施策分野②	
10. 観光	観光地としての魅力があり、観光客を受け入れる体制が整っていること
11. 交流	町外から北広島町を訪れる人（交流人口）を増やすための取り組みが充実していること
12. 歴史文化	歴史・文化遺産にふれたり、芸術活動に取り組める環境が整っていること
13. 移住・定住	交流人口を定住につなげる取り組み、北広島町への移住を促す取り組みが充実していること
14. 住まい	町営住宅や公園が充実していること
15. 子育て	安心して妊娠・出産・子育てのできる環境が整っていること
16. 学校教育	基本的な学力と、豊かな心、健やかな体を育み、たくましく生きるための学校教育が行われていること
17. 青少年	家庭、地域、学校が連携して子どもを育む環境が整っていること
18. 生涯学習	生涯にわたって主体的に学習したり、交流したりできる場が充実していること
19. スポーツ	さまざまなスポーツ活動に気軽に取り組むことができる環境が充実していること

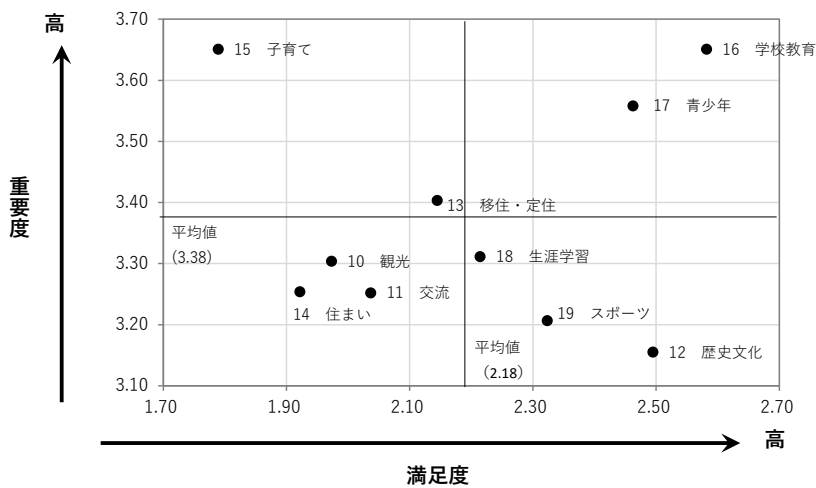
※『重要度』『満足度』ともに高いものは薄い色、『重要度』が高く『満足度』が低いものは濃い色で網掛けがしてあります。

【年代別×施策分野②】

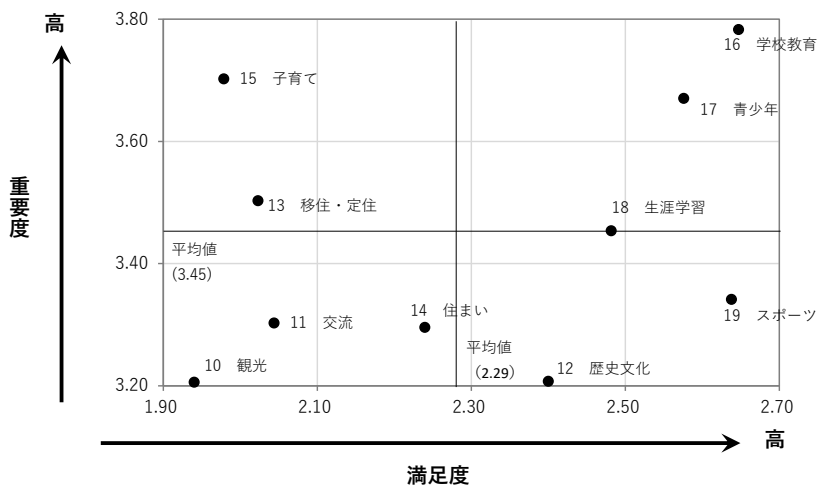
■40歳未満



■40～64歳



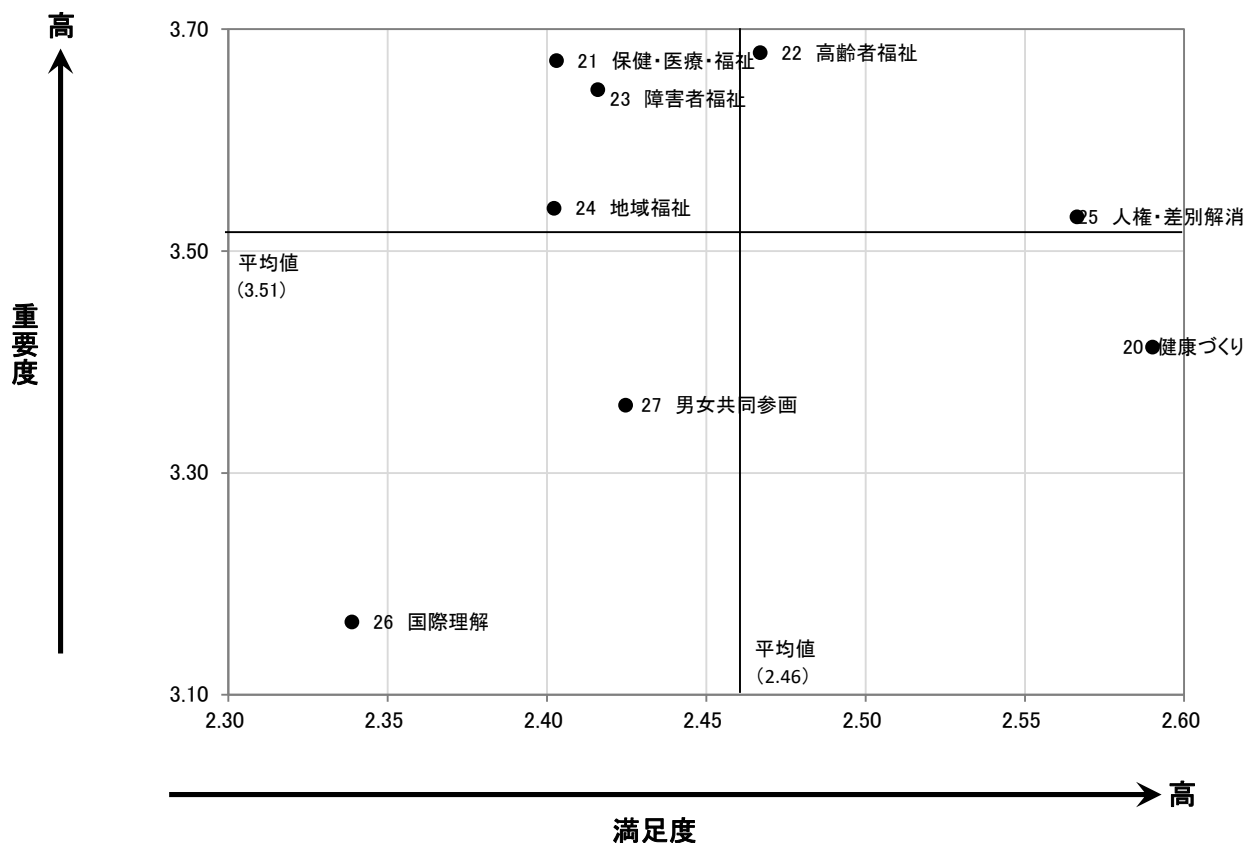
■65歳以上



施策分野③

『重要度』『満足度』ともに高いものは、「22. 高齢者福祉」となっています。

『重要度』が高く『満足度』が低いものは、「21. 保健・医療・福祉」「23. 障がい者福祉」「24. 地域福祉」となっています。

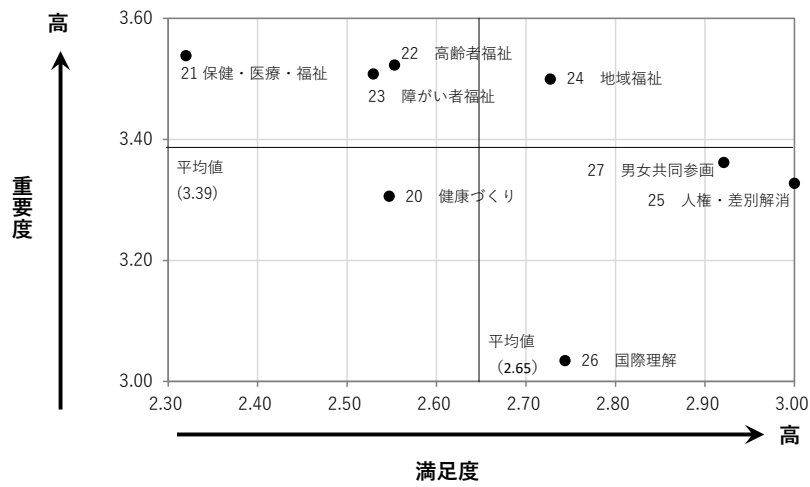


施策分野③	
20. 健康づくり	自分の健康に関心をもち、健康づくりに取り組みやすい環境が整っていること
21. 保健・医療・福祉	各分野が連携し、保健・医療・福祉の切れ目のないサービスが受けられること
22. 高齢者福祉	いくつになっても生きがいをもって暮らすことができ、安心して介護が受けられること
23. 障がい者福祉	障がいの有無に関わらず、だれもが安心して暮らせること
24. 地域福祉	暮らしの困りごとを地域で解決したり、支え合ったりできること
25. 人権・差別解消	高齢者・子ども・障がい者・女性・同和問題など一人ひとりの人権を尊重する意識が浸透していること
26. 国際理解	さまざまな文化や人種、民族を理解するための場や国際交流の機会が充実していること
27. 男女共同参画	男性女性にとらわれず、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる環境が整っていること

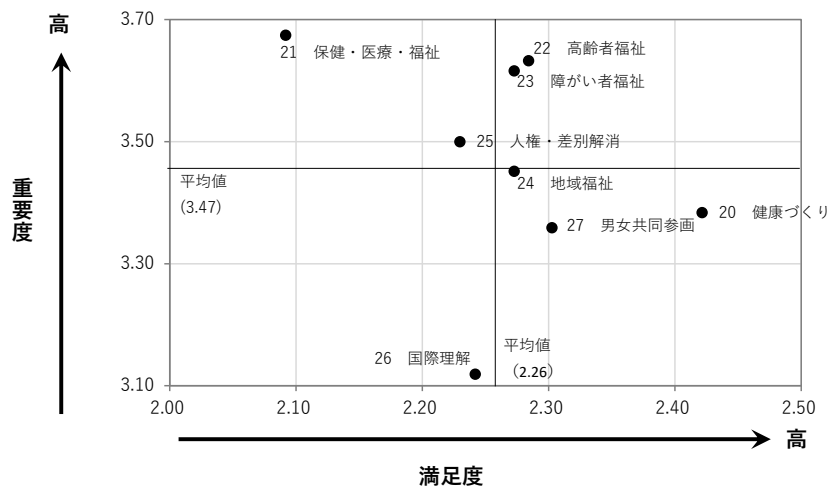
※『重要度』『満足度』ともに高いものは薄い色、『重要度』が高く『満足度』が低いものは濃い色で網掛けがしてあります。

【年代別×施策分野③】

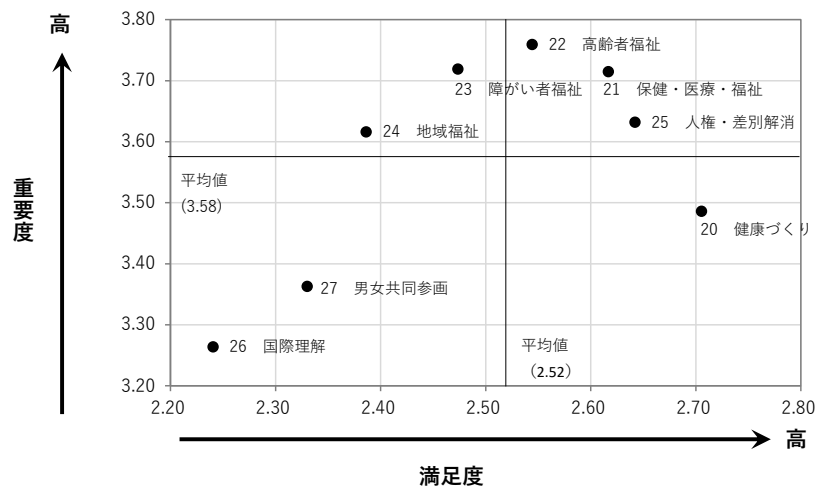
■40歳未満



■40～64歳



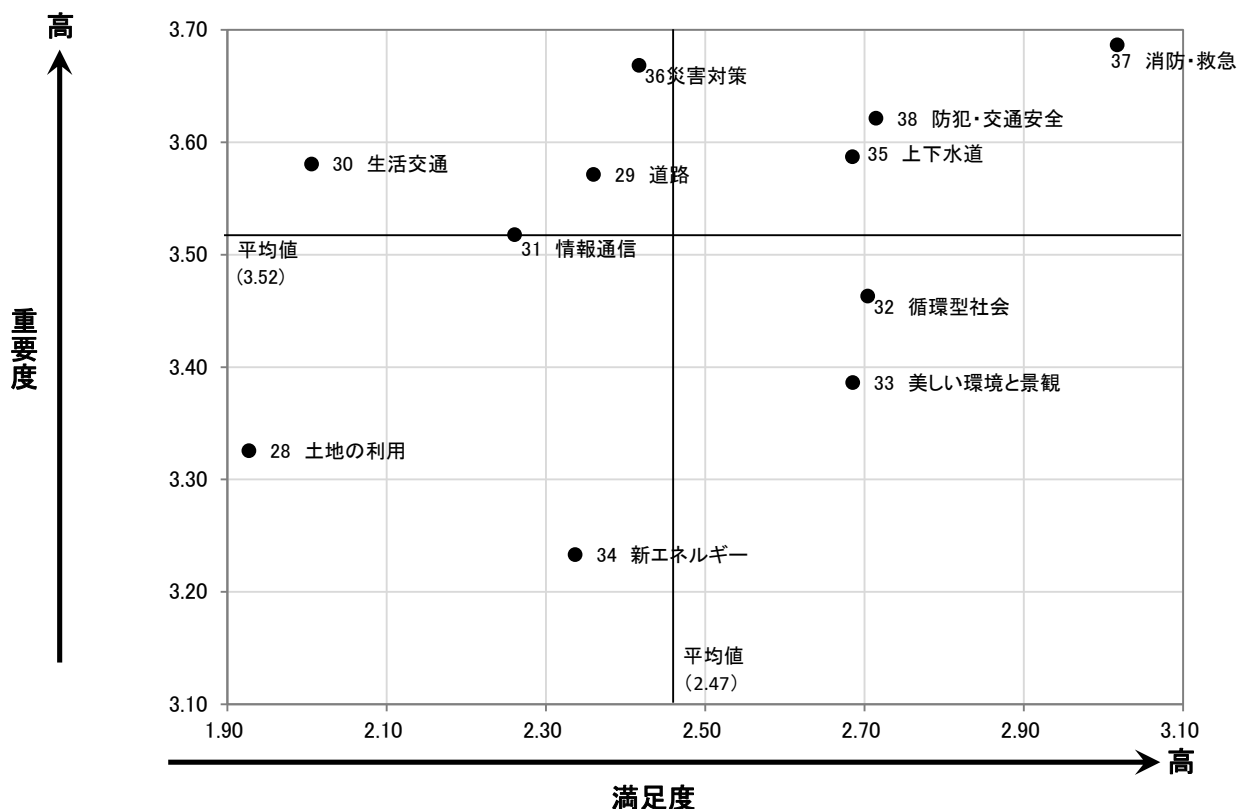
■65歳以上



施策分野④

『重要度』『満足度』ともに高いものは、「35. 上下水道」「37. 消防・救急」「38. 防犯・交通安全」となっています。

『重要度』が高く『満足度』が低いものは、「29. 道路」「30. 生活交通」「31. 情報通信」「36. 災害対策」となっています。

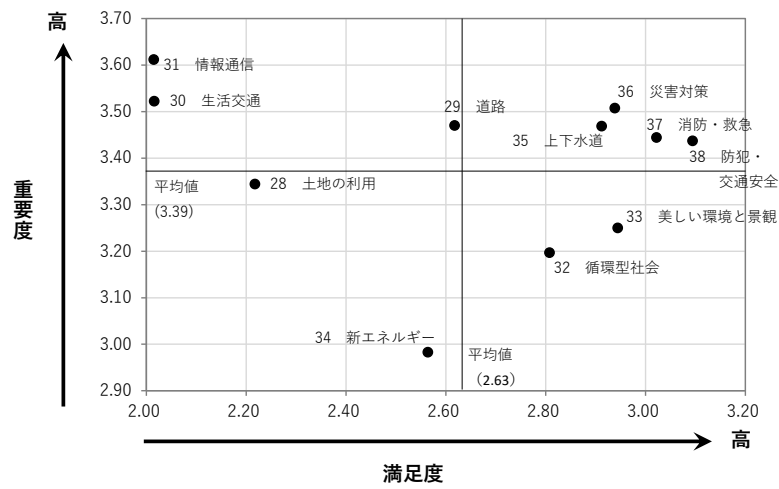


施策分野④	
28. 土地の利用	地域の特性や役割を踏まえた土地利用が行われていること
29. 道路	安全な道路が維持され、移動するのに十分な道路網が整備されていること
30. 生活交通	バスやタクシーなど、移動するための手段が確保されていること
31. 情報通信	情報を入手しやすい環境、インターネット環境が整っていること
32. 循環型社会	ごみの削減や環境保全に対する意識や活動が普及していること
33. 美しい環境と景観	美しい環境と景観をまもるために、まちぐるみで活動が行われていること
34. 新エネルギー	太陽光やバイオマスなどの再生可能エネルギーが普及していること
35. 上下水道	安全で良質な水道水及び下水道が提供されていること
36. 災害対策	災害に対する体制や、災害時に助け合える地域づくりができていること
37. 消防・救急	火災や救急救命に備える体制が整っていること
38. 防犯・交通安全	消費者被害や犯罪防止、交通安全に向けた対策がとれていること

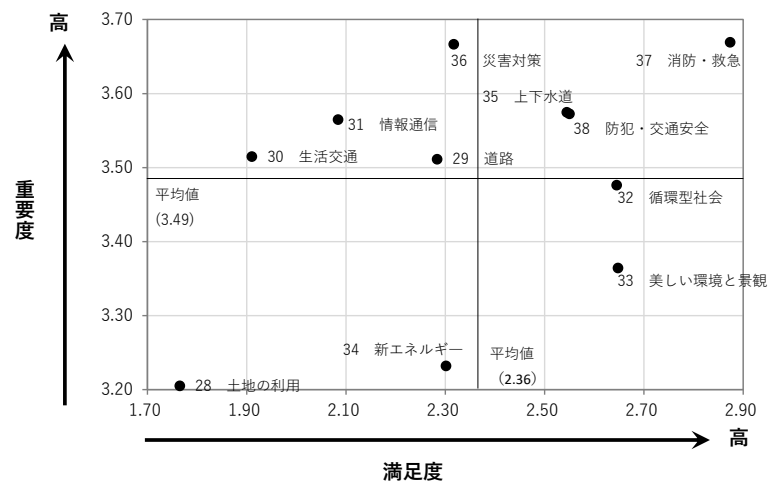
※『重要度』『満足度』ともに高いものは薄い色、『重要度』が高く『満足度』が低いものは濃い色で網掛けがしてあります。

【年代別×施策分野④】

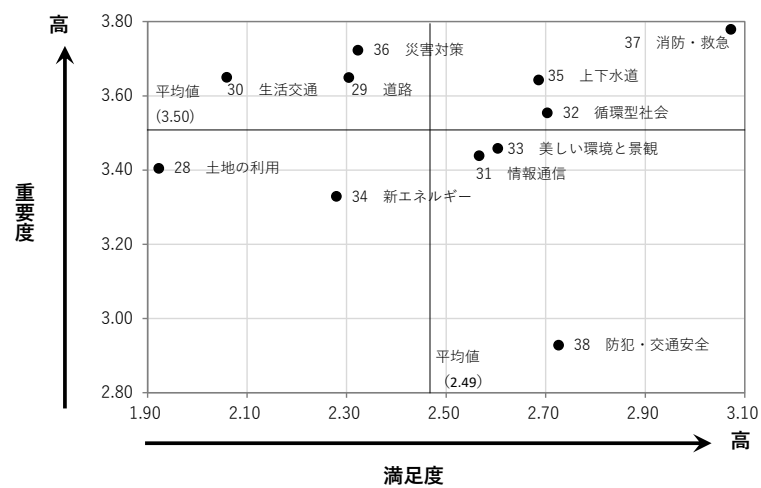
■40歳未満



■40~64歳

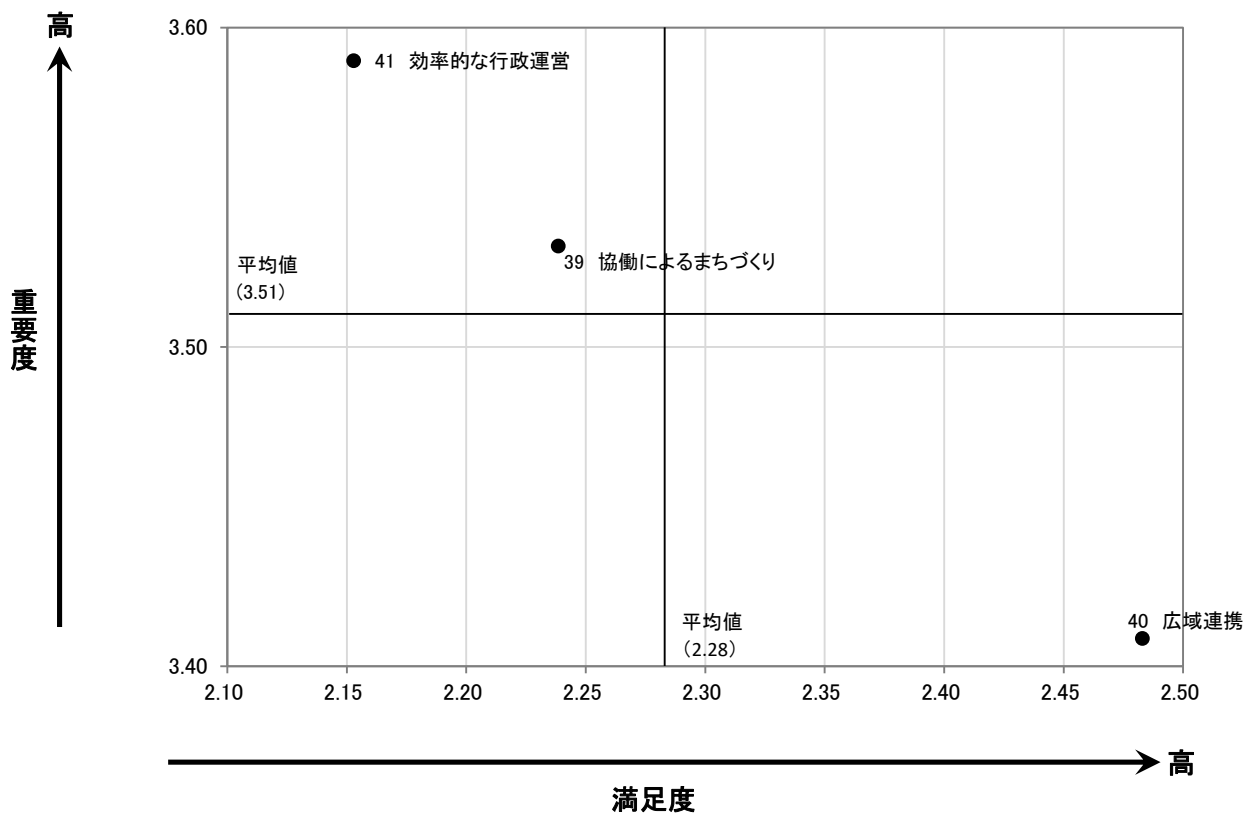


■65歳以上



施策分野⑤

『重要度』が高く『満足度』が低いものは、「39. 協働によるまちづくり」「41. 効率的な行政運営」となっています。

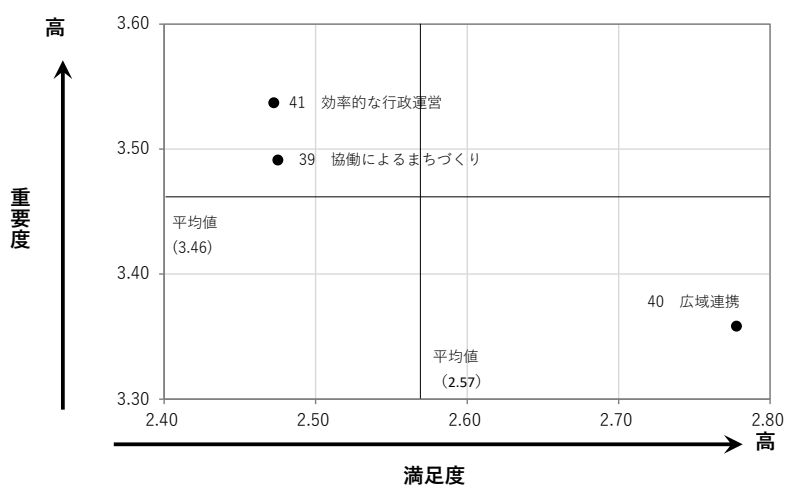


施策分野⑤	
39 協働によるまちづくり	積極的な情報公開と、住民の声を反映した町政が行われていること
40 広域連携	近隣の自治体との連携や広域での連携が行われていること
41 効率的な行政運営	組織・機構の見直しや職員の適正な配置等により、効率的な行政運営が行われていること

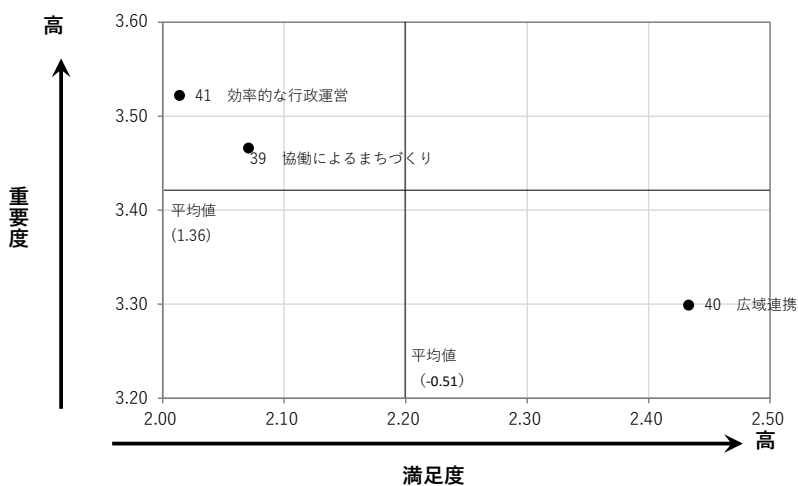
※『重要度』『満足度』ともに高いものは薄い色、『重要度』が高く『満足度』が低いものは濃い色で網掛けがしてあります。

【年代別×施策分野⑤】

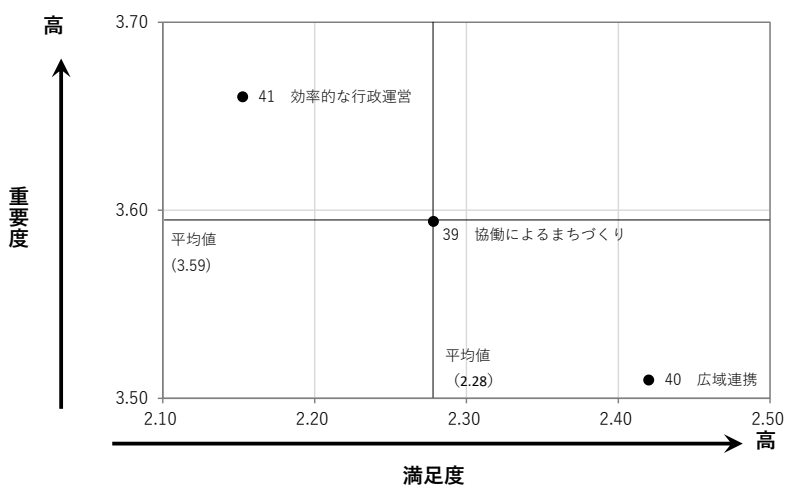
■40歳未満



■40～64歳



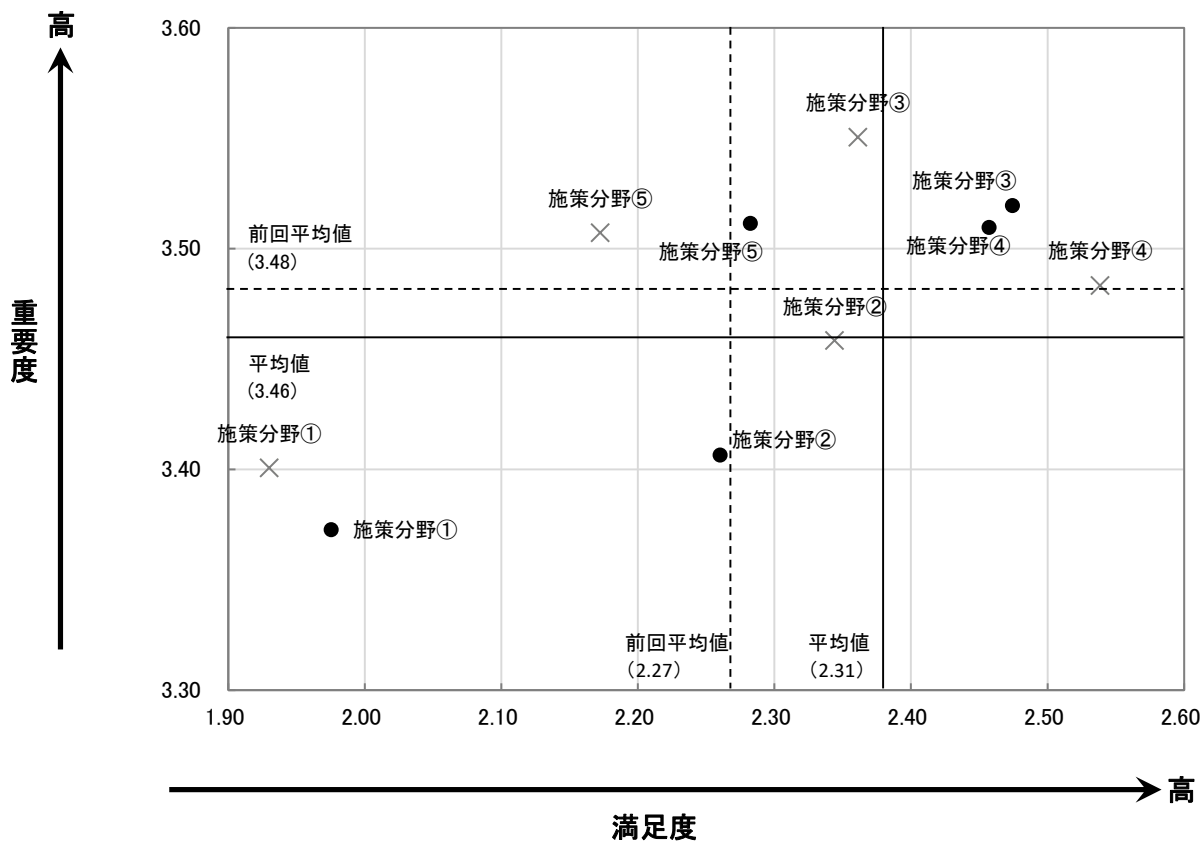
■65歳以上



【参考】 前回結果比較（平成 28 年 3 月実施分）

前回の結果と比較すると、満足度の平均は高くなっています。

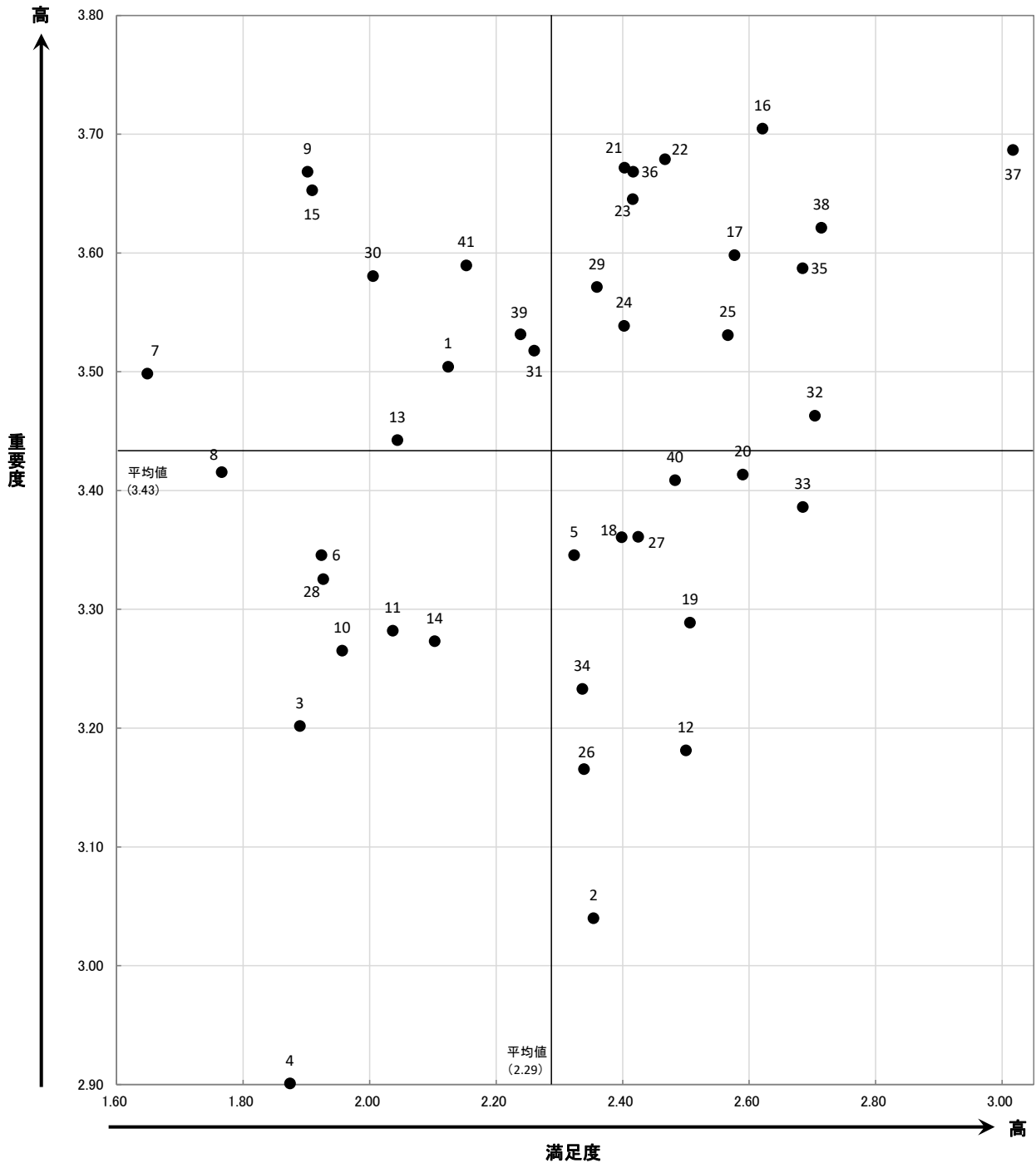
施策分野ごとにみると、重要度の平均が下がっている一方で、施策分野④の重要度は高くなっています。



※●が今年度、×が前回のデータとなっています。

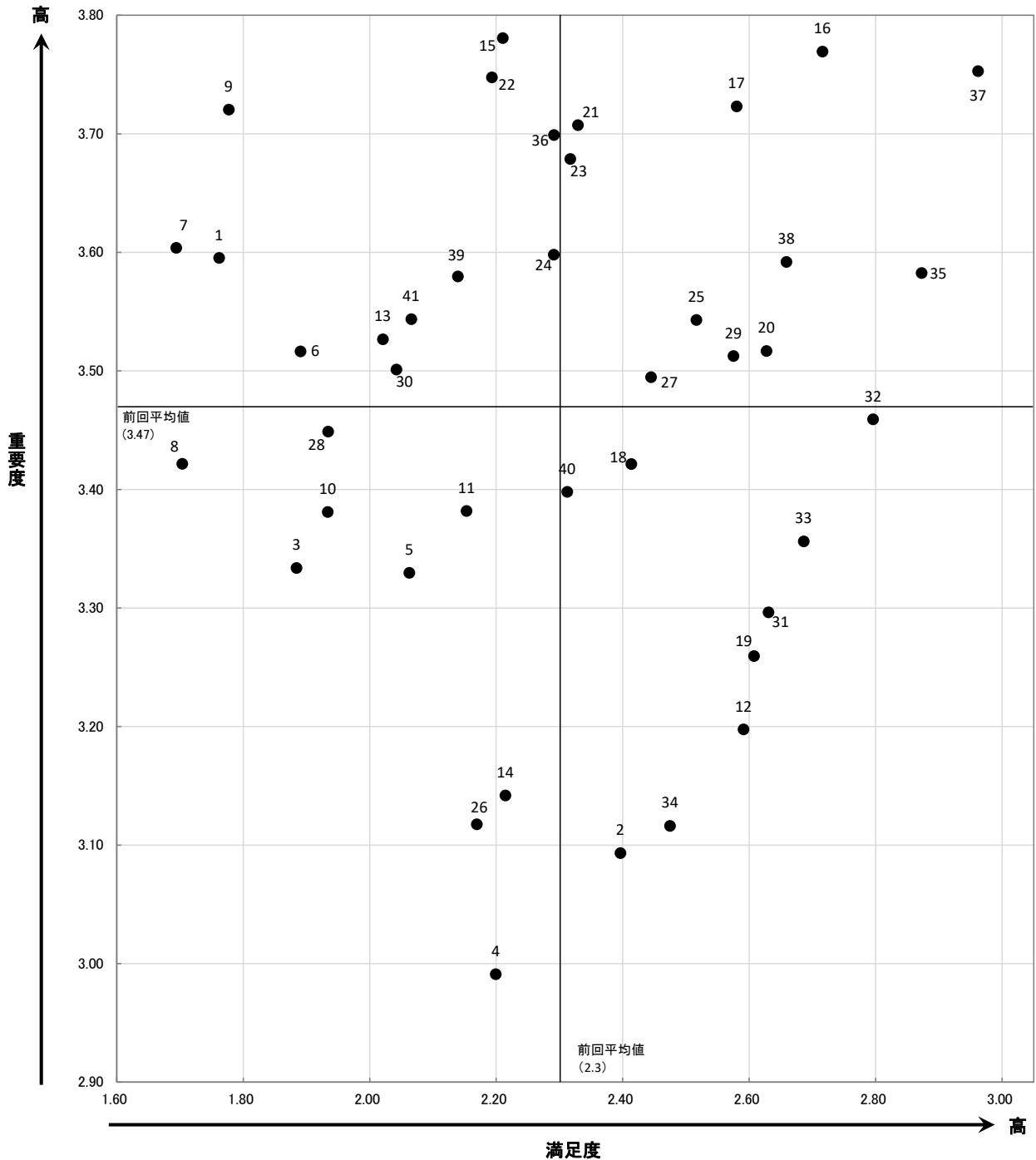
【今回のアンケートからみた重点的に取り組むべき施策】

- | | | | |
|--------------|-----------|----------|----------------|
| 1. 農業 | 7. 産業の担い手 | 9. 雇用 | 13. 移住・定住 |
| 15. 子育て | 30. 生活交通 | 31. 情報通信 | 39. 協働によるまちづくり |
| 41. 効率的な行政運営 | | | |



【前回のアンケートからみた重点的に取り組むべき施策】

- | | | | | |
|----------------|--------------|-----------|----------|-----------|
| 1. 農業 | 6. 商業 | 7. 産業の担い手 | 9. 雇用 | 13. 移住・定住 |
| 15. 子育て | 22. 高齢者福祉 | 24. 地域福祉 | 30. 生活交通 | 36. 災害対策 |
| 39. 協働によるまちづくり | 41. 効率的な行政運営 | | | |

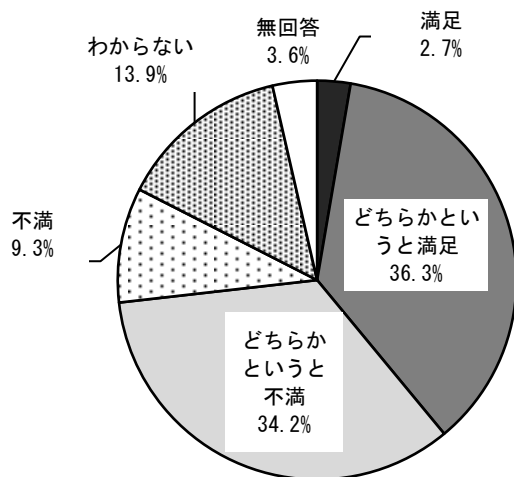


問 12 北広島町の「まちづくり」全体をみた場合の総合評価をどう感じですか。(SA)

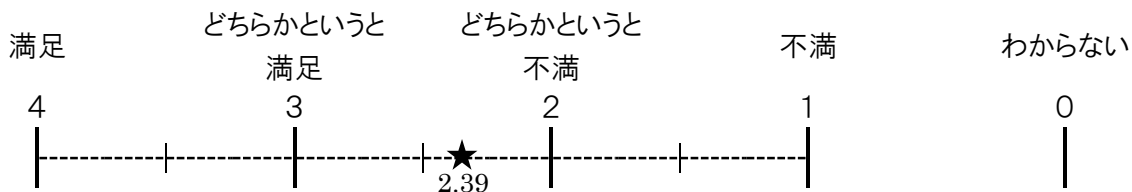
「どちらかという満足」が 36.3%で最も高く、「どちらかという不満」が 34.2%で続いています。

また、満足度の平均は全体で 2.39 となっています。男女別で見ると、男性の平均が 2.37、女性の平均が 2.42 となっています。年代別にみると、40 歳未満の平均が 2.11、40～64 歳の平均が 2.01、65 歳以上の平均が 2.05 となっています。

(数量) N=474



■満足度の平均 (全体)



■満足度の平均 (男女別・年代別)

性別	年代	平均
男性	40 歳未満	2.37
女性	40～64 歳	2.42
	65 歳以上	2.33
	全体	2.39
		2.41

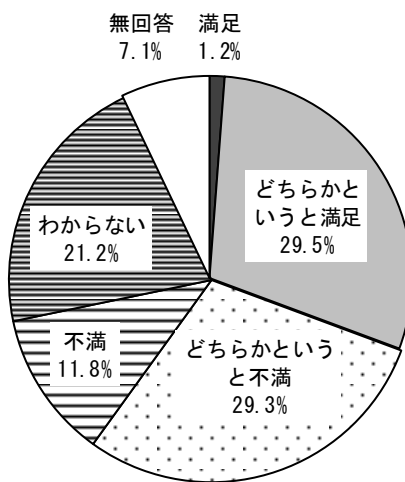
■満足度の平均の算出法

$$\text{満足度} = \frac{(\text{満足}) \times 4 + (\text{どちらかという満足}) \times 3 + (\text{どちらかという不満}) \times 2 + (\text{不満}) \times 1}{(\text{有効回収数}) - (\text{無回答}) - (\text{わからない})}$$

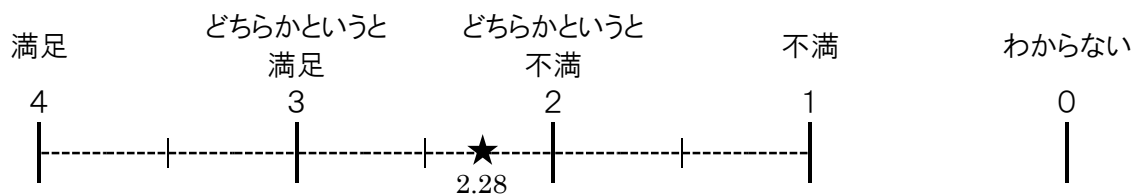
【参考】 前回結果比較（平成 28 年 3 月実施分）

今回は前回に比べて「どちらかという満足」「どちらかという不満」がそれぞれ増加し、「わからない」が減少しています。平均満足度は微増しています。

(SA) N=940



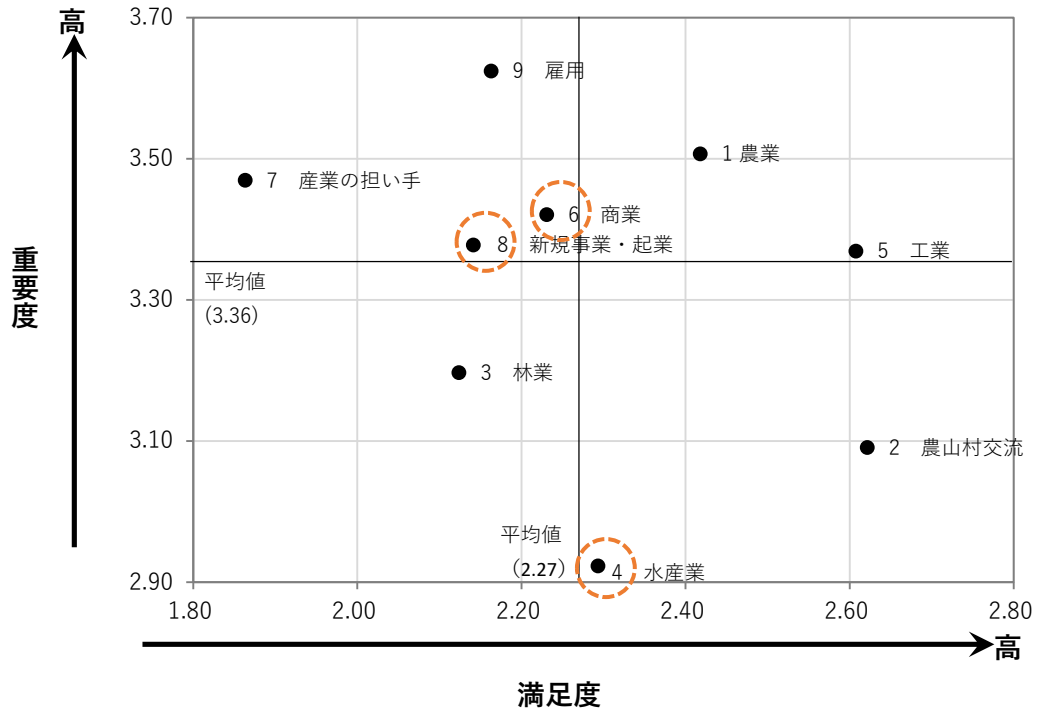
■ 満足度の平均（全体）



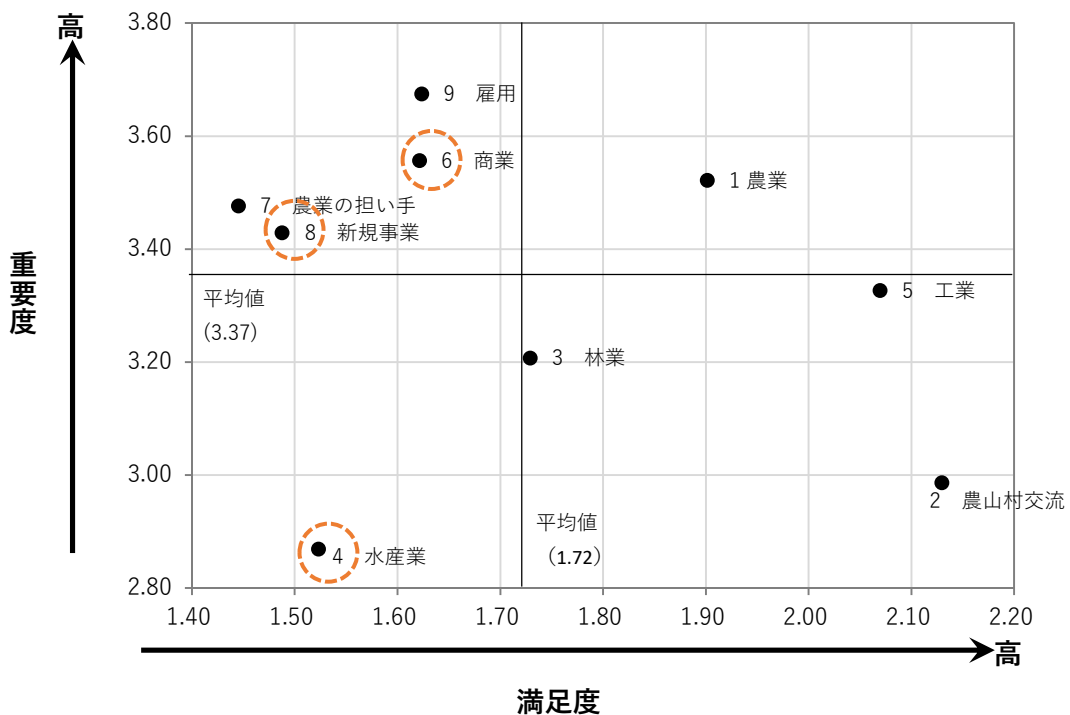
【満足度×施策分野①】

まちづくりについて満足度の高い人と満足度の低い人を比較すると「4. 水産業」「6. 商業」「8. 新規事業・起業」の満足度に差がみられます。

■問 12 で「満足」「どちらかという満足」と回答した人



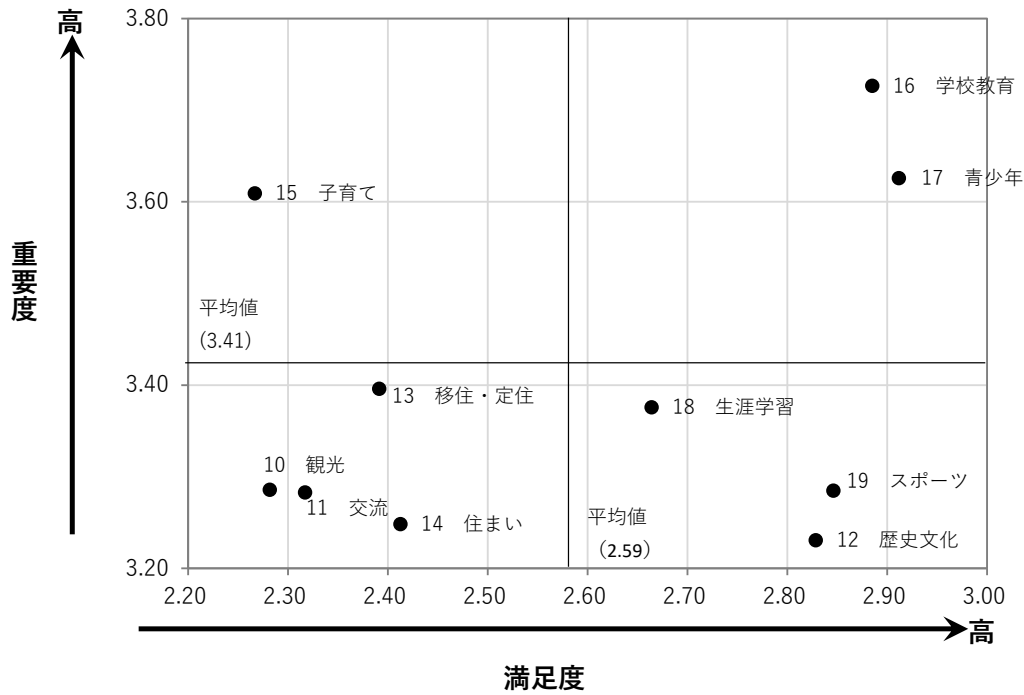
■問 12 で「不満」「どちらかという不満」と回答した人



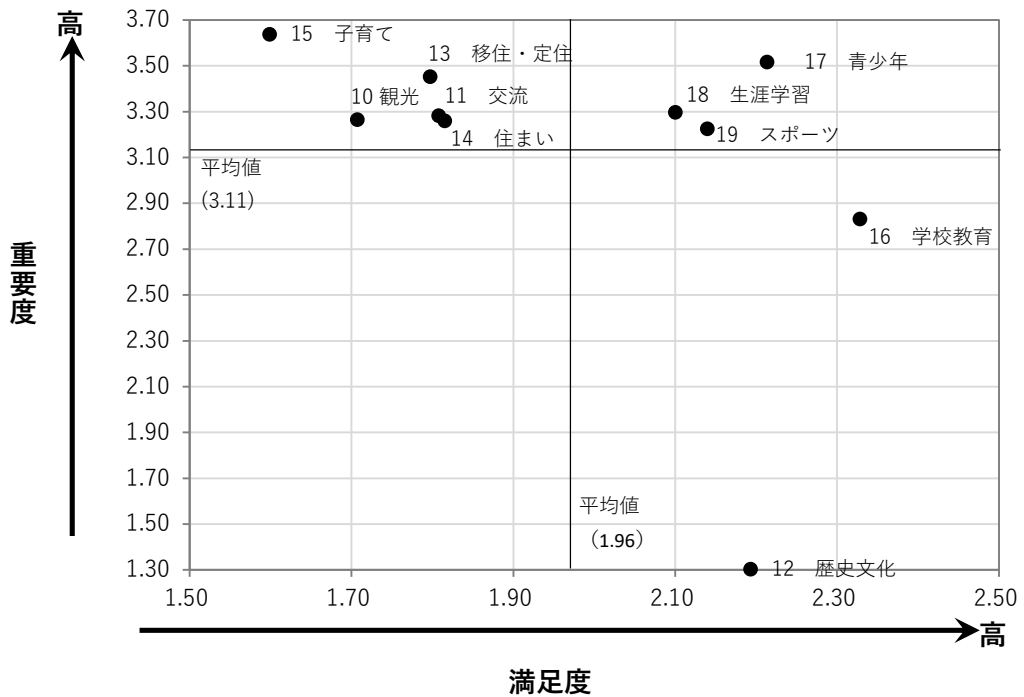
【満足度×施策分野②】

施策分野②では、まちづくり全体の総合評価による満足度の差について、特に目立つものはありません。

■問 12 で「満足」「どちらかという満足」と回答した人



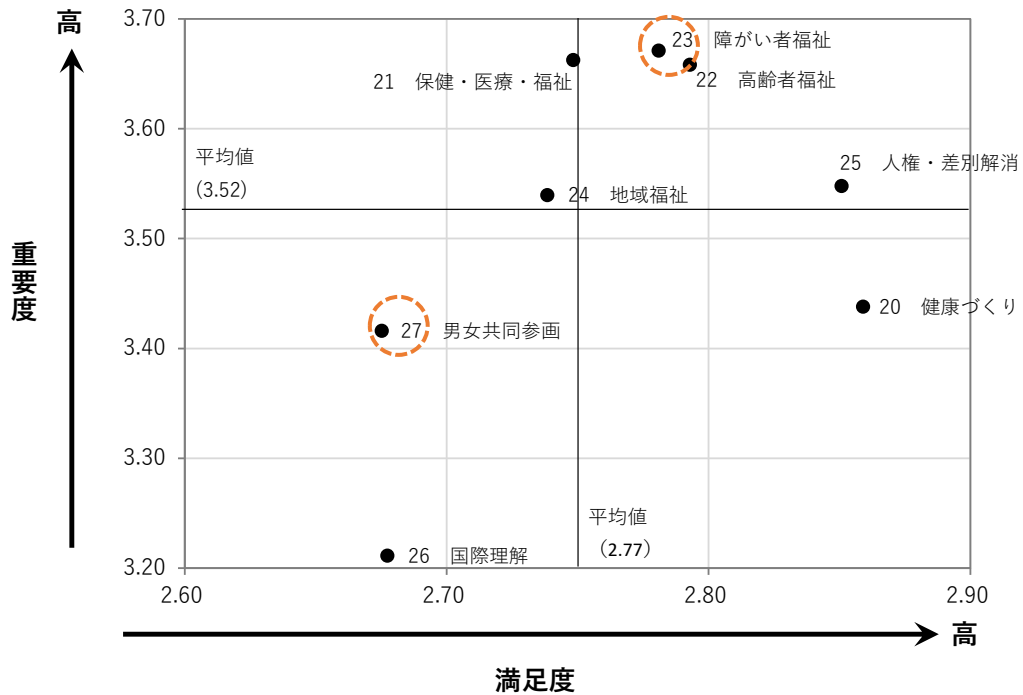
■問 12 で「不満」「どちらかという不満」と回答した人



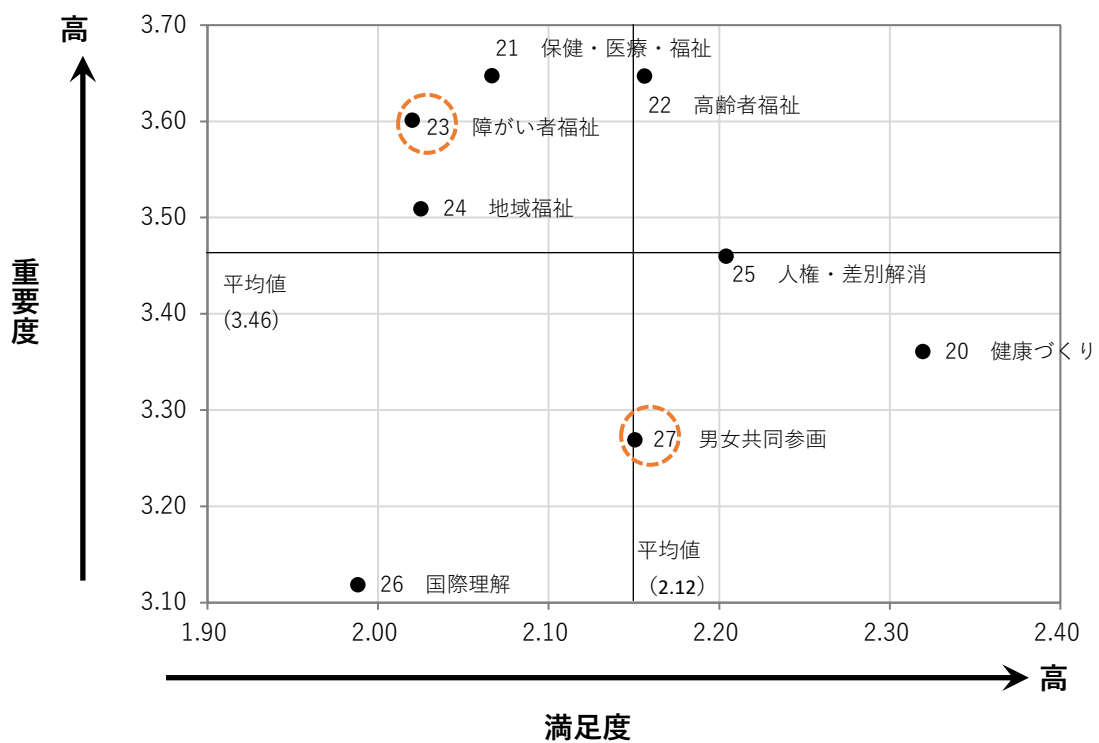
【満足度×施策分野③】

まちづくりについて満足度の高い人と満足度の低い人を比較すると「23. 障がい者福祉」「27. 男女共同参画」の満足度に差がみられます。

■問 12 で「満足」「どちらかという満足」と回答した人



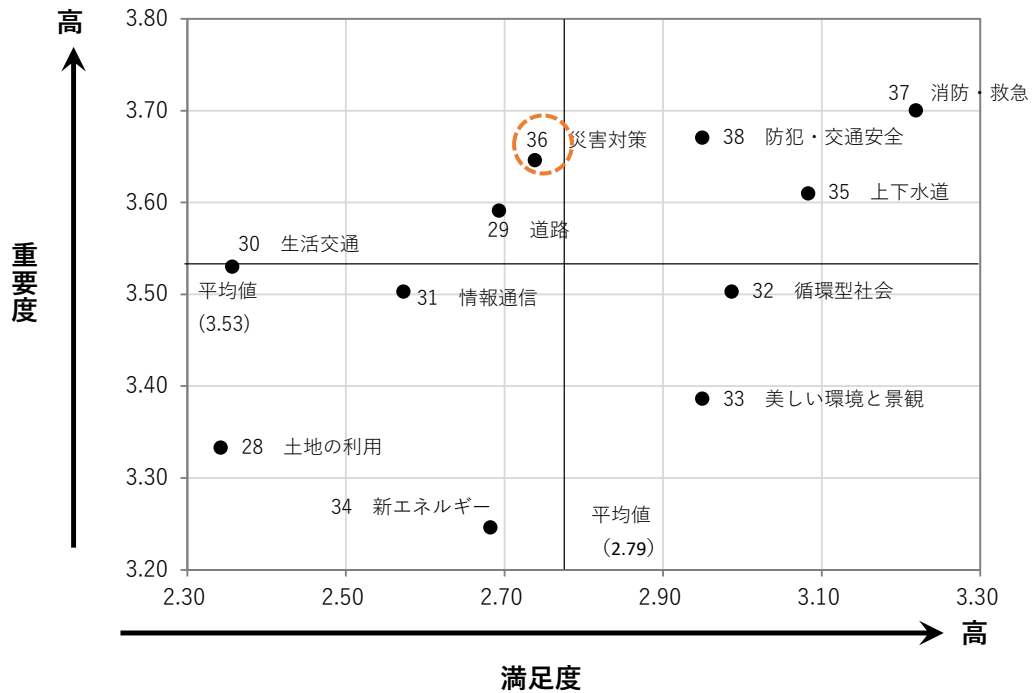
■問 12 で「不満」「どちらかという不満」と回答した人



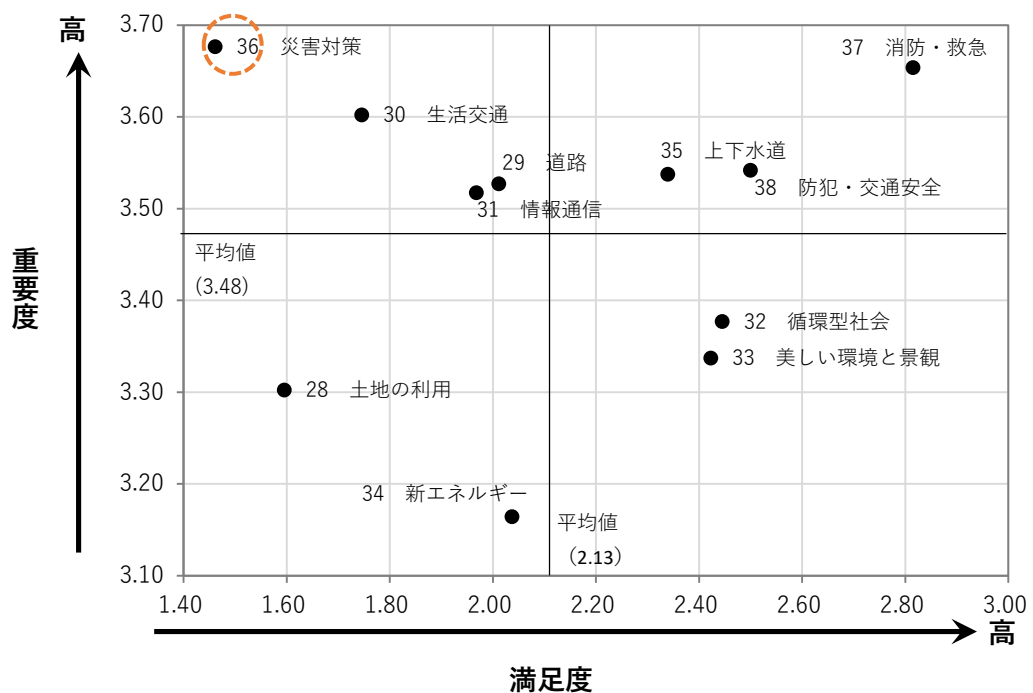
【満足度×施策分野④】

まちづくりについて満足度の高い人と満足度の低い人を比較すると「36. 災害対策」の満足度に差がみられます。

■問 12 で「満足」「どちらかという満足」と回答した人



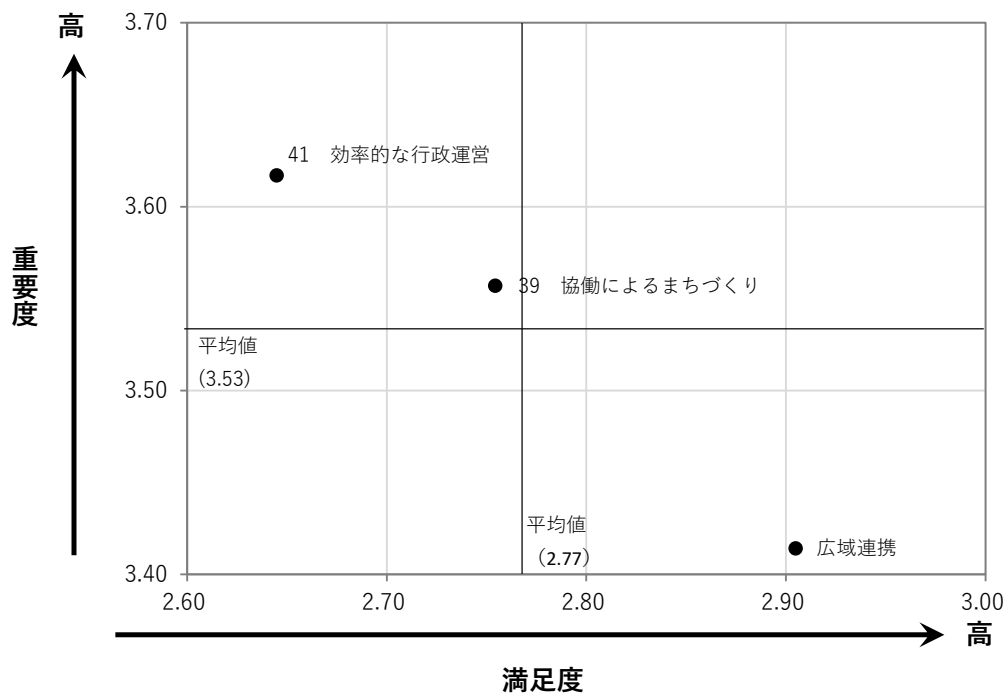
■問 12 で「不満」「どちらかという不満」と回答した人



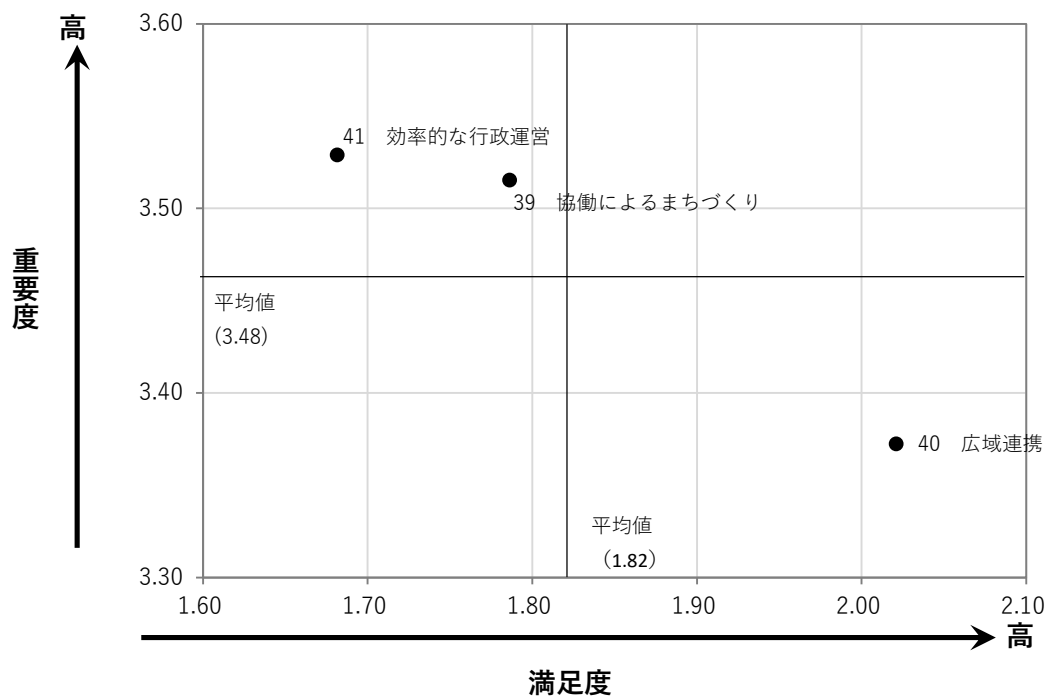
【満足度×施策分野⑤】

施策分野⑤では、まちづくり全体の総合評価による満足度の差について、特に目立つものではありません。

■問 12 で「満足」「どちらかという満足」と回答した人



■問 12 で「不満」「どちらかという不満」と回答した人

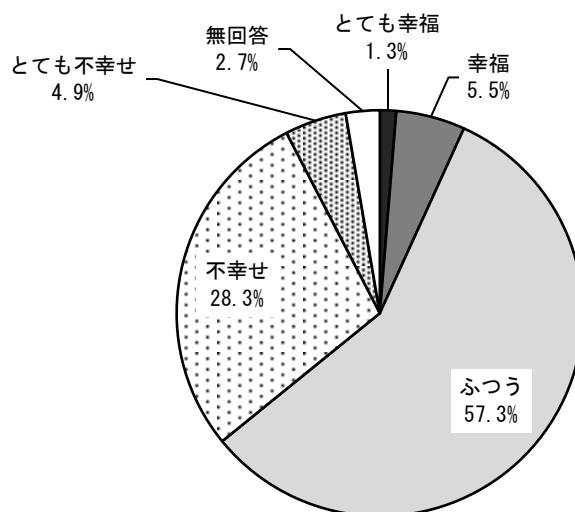


問 13 あなたの現在の幸福度は5段階でどの程度ですか。(SA)

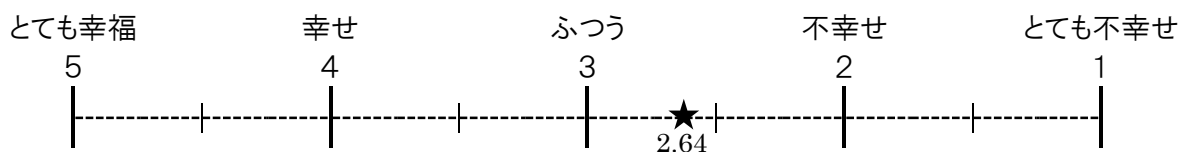
「ふつう」が57.3%で突出しています。「不幸せ」が28.3%、「幸福」が5.5%が続いています。

また、幸福度の平均は全体で 2.64 となっています。男女別で見ると、男性の平均が 2.78、女性の平均が 2.51 となっています。年代別にみると、40 歳未満の平均が 2.54、40～64 歳の平均が 2.75、65 歳以上の平均が 2.61 となっています。

(SA) N=474



■幸福度の平均（全体）



■幸福度の平均（男女別・年代別）

性別	年代別	平均
男性	40 歳未満	2.78
女性	40～64 歳	2.51
	65 歳以上	2.61
	全体	2.64

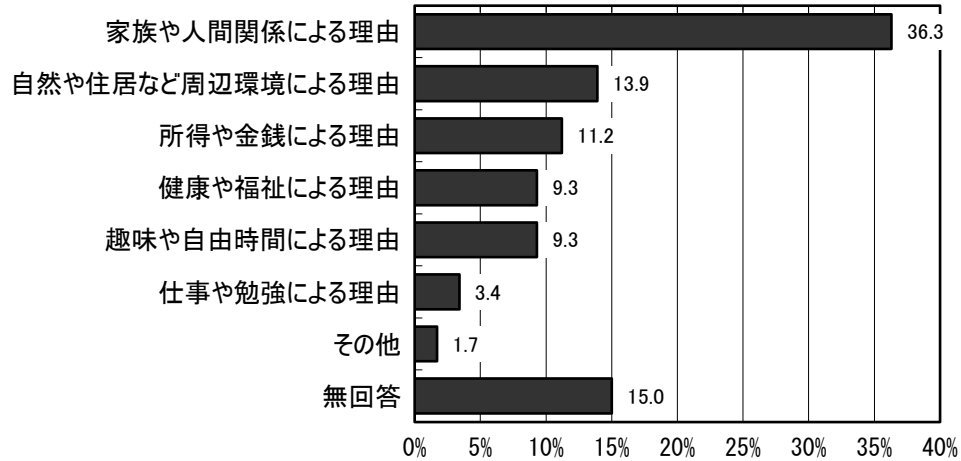
■幸福度の平均の算出法

$$\text{幸福度} = \frac{(\text{とても幸福}) \times 5 + (\text{幸福}) \times 4 + (\text{ふつう}) \times 3 + (\text{不幸せ}) \times 2 + (\text{とても不幸せ}) \times 1}{(\text{有効回収数}) - (\text{無回答})}$$

問 13-1 その一番の理由は何ですか。(SA)

「家族や人間関係による理由」が 36.3%で突出しています。「自然や住居など周辺環境による理由」が 13.9%、「所得や金銭による理由」が 11.2%が続いています。

(SA) N=474



その他回答	幸福度
暖冬とコビット 19	不幸せ
可もなく不可もなく	ふつう
縦割り行政の解消	ふつう
仕事に就けるか不安	ふつう
わからない	ふつう
長男が独身の為	幸せ

【幸福度 × 理由】

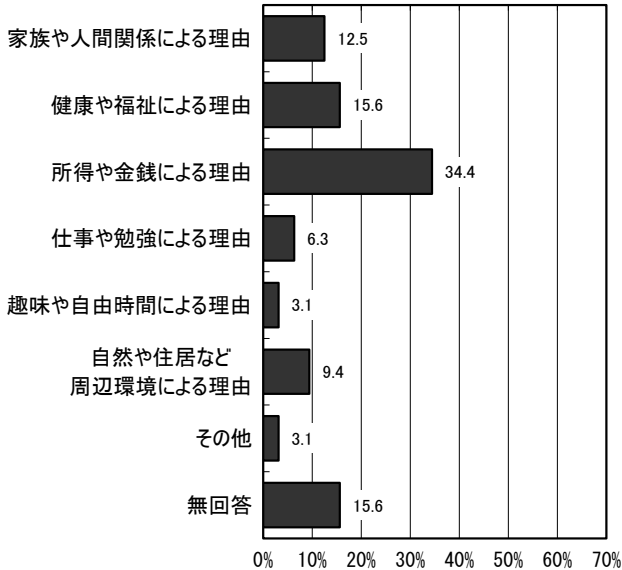
「とても幸福」「幸せ」と感じている人では「所得や金銭による理由」が34.4%で突出しており、「健康や福祉による理由」が15.6%、「家族や人間関係による理由」が12.5%で続いています。

「不幸せ」「とても不幸せ」と感じている人では「家族や人間関係による理由」が59.2%で突出しており、「自然や住居など周辺環境による理由」が10.2%、「趣味や自由時間による理由」が8.3%で続いています。

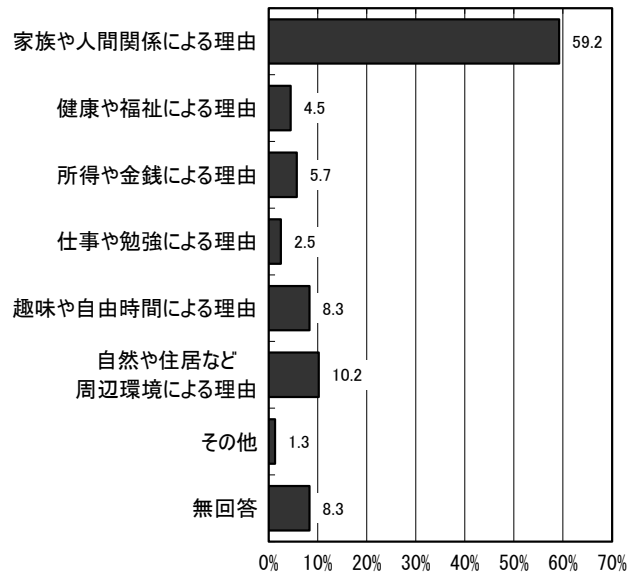
【「とても幸福」「幸せ」と感じている人】

【「不幸せ」「とても不幸せ」と感じている人】

(SA) N=32



(SA) N=157



①家族や人間関係による理由の具体的内容

幸福度	具体的内容	類似回答数
とても幸福	家族が健康で元気に暮らしている	4
	ひ孫や孫、子と住んでいること	1
	毎日友達に会える	1
	地域の皆さんが気にかけてくれて子育てがしやすい	1
	長男がそばに住み、地元の付き合いを大切にしてくれる	1
幸せ	家族が健康で元気に暮らしている	10
	生活できている、食べていける	4
	住み慣れた環境で、愛着があり、住みやすい	2
	家族の仲が良い	2
	心配ごとや不安がない	2
	地域への関わり方で受け入れてくれる地域性	1
	地域が子どもを大切にしている	1
	人混みがなく、自然ばかりなので	1
	若い世代の人たちが町を盛り上げてくれている	1
	豊平に働き場所がないこと以外	1

幸福度	具体的内容	類似回答数
ふつう	家族が元気である	5
	困りごと・心配ごとがなく、毎日平凡に暮らせている	3
	地域でふれあう機会、つながりが広がる	3
	家族が遠方にいる、遠方に就労している	2
	皆さんや家族の協力がある	1
	普通に生活できている	1
	子ども・孫たちが成長している	1
	お互いに言いたいことを言わない	1
	職場でのコミュニケーション良好	1
	友人がいる	1
	幸せと不幸せどちらも感じているので普通	1
	同居、親との関係	1
不幸せ	他人との人間関係に苦労、特に地域性での人間関係	1

②家族や人間関係による理由の具体的内容

幸福度	具体的内容	類似回答数
とても幸福	病院、リハビリ施設の充実	1
幸せ	病弱であったが、夫の里に帰省して生活することによって健康になった	1
	一日一日元気で何とか過ごせている	1
ふつう	健康面に不安がある	2
	治療に通う設備の整った病院が遠い	2
	医療が一部の地域を除いて充実しておらず、将来が不安	1
不幸せ	老々介護の負担	1
とても不幸せ	町としての高齢者福祉の不備、さらに高度医療機関は町外にあり、通院などの交通機関の利便性がない	1

③所得や金銭による理由

幸福度	具体的内容	類似回答数
幸せ	将来設計を立て、見通しを持って生活をしている	1
	パートにも行っているし、野菜作りで頑張っている	1
ふつう	自由に暮らせている	1
	市内に住んでいたが、北広島町は環境が良く、良い所である	1
	家賃、水道代が市内と比較し高い	1
	年金のみで生活。夫の介護施設の費用は本人の年金を全額使用。家計を圧迫し、余裕がなくがづらい	1
	田舎の商業施設の老朽化による設備投資に対して補助が十分で無いため、耐震問題による倒壊リスク及び古い設備による利用者の不満、また利便性の悪さから利用料金を引き上げられず、投資額の確保不能、従業員人件費削減に負われ、町から消滅せざるほかない	1
	大手関連であれば良いが、町の特性を生かした事業としては目立つものもなく、利便性も低い為、お金を町内で回すことが難しい	1

幸福度	具体的内容	類似回答数
	今後は仕事や安定した収入がどうなるかわからない	1
	アルバイトが極端に少ない	1
	田舎住まいはお金がかかる	1
	残業が減り所得が減った	1
	年金暮らしなので厳しい	1
	定年後の将来が不安	1
不幸せ	安い	1
	年金生活はとても苦しい	1
	近くに高額稼げるところがない。大手などが、ほぼない	1
とても不幸せ	納税率が少し高い	1
選択なし	今は元気で働いているが、将来は国民年金なので不安に思う	1

④仕事や勉強による理由

幸福度	具体的内容	類似回答数
とても幸福	勉強が楽しい	1
幸せ	黒ニンニク、キク芋の出荷。西本寺の通信講座受講中	1
ふつう	特に問題もなく学校で勉強できているから	1

⑤趣味や自由時間による理由

幸福度	具体的内容	類似回答数
幸せ	グラウンドゴルフが楽しい	1
	時間をしっかりとって楽しめているから	1
	趣味の釣りがとても充実しているが、買い物をするところが少ない	1
ふつう	自分の好きなことができる、他人の手を借りず生活できる	2
	ストレスをあまり感じないこと	1
	どこに住んでも自分次第だと思う	1
	趣味を持ち健康に暮らせている	1
	農業を仕事として、自然環境の中、作物の様子を見ながら日程や、時間の配分を考えて趣味も活かし生活する	1
	仕事後などに行けるサークルがあればいい。例えばヨガ、キックボクシングなどストレス発散できるもの	1
	インターネット料金が高いのに遅い	1
不幸せ	電車がないのは辛い。バスだけでは不便	1
	自然や普通に暮らす分には困らないが、楽しいまちではない。飲み屋や夜でも楽しめる施設がないと若者には住みづらい	1
	仕事場がないのも住みづらい原因の一つだと思う	1
	きたひろネットの回線が弱い	1

⑥自然や住居など周辺環境による理由

幸福度	具体的内容	類似回答数
とても幸福	普段から自然にふれているとわからない時もあるが、常に気持ちなどをリセットしてくれる存在があると幸福度が増進される	1
幸せ	住み慣れている	1
	ゆったりとした時間が過ごせる	1
	自然に癒され、ある程度の距離を持った近所の付き合いがある為	1
	引っ越して来たばかりだが、保健課の方のおかげで安心して子育てができる	1
	近隣の方々と楽しく元気体操に行き、体操したりおしゃべりしたりして日々暮らしている	1
ふつう	山、道路など非常に良い(歩道は悪い)	1
	活動原点である住居が持ち家なので安心して行動できる	1
	団地内の太陽光パネル設置(居住宅を除く)の規制がない。パネル設置周辺の草刈りなど、住民の負担が大きい(業者の雑草防止対策が不十分)	1
	上下水道。水が出ない。何回も水道課に行って相談したが、良い回答なし。温水器が2回壊れて何万円もかかった	1
	通信環境が悪い	1
	交通の利便性がないので、この先、車の運転が出来なくなったら日常生活が不安になる	1
	田舎特有の付き合いが面倒くさい	1
不幸せ	医療環境の不満	1
	住環境が整っていない。賃貸住宅は単身向けが多く、家族向けの広い間取りがない	1

⑦その他の理由

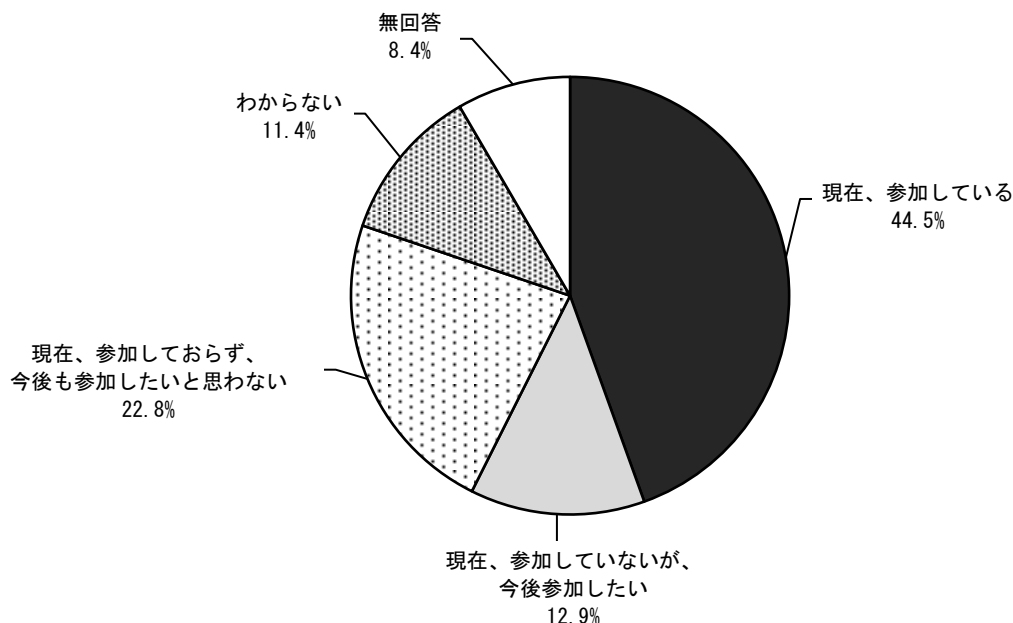
幸福度	具体的内容	類似回答数
幸せ	出会いの機会がなく、あっという間に年月が過ぎてしまった	1
	住み慣れた里で心穏やかに過ごすことができる	1
ふつう	横の連携を図り住民ニーズに応えるべき	1
不幸せ	家業の継承が難しい	1

4 まちづくりについて

問 14 あなたは地域活動に参加したことがありますか。(SA)

「現在、参加している」が 44.5%で最も高く、次いで「現在、参加しておらず、今後も参加したいと思わない」が 22.8%、「現在、参加していないが、今後参加したい」が 12.9%で続いています。

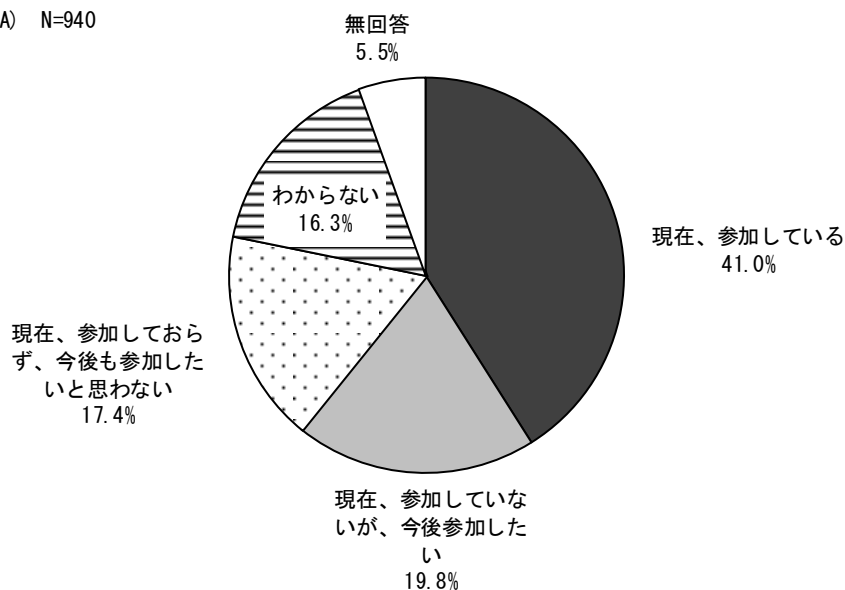
(SA) N=474



【参考】 前回結果比較（平成 28 年 3 月実施分）

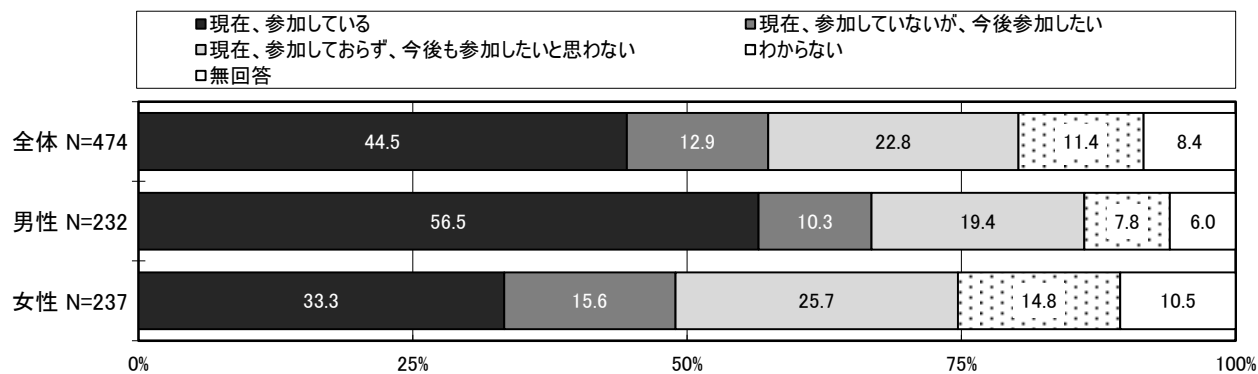
今回は前回に比べて「現在、参加している」「現在、参加しておらず、今後も参加したいと思わない」が共に増加しています。

(SA) N=940



【男女別×問 14】

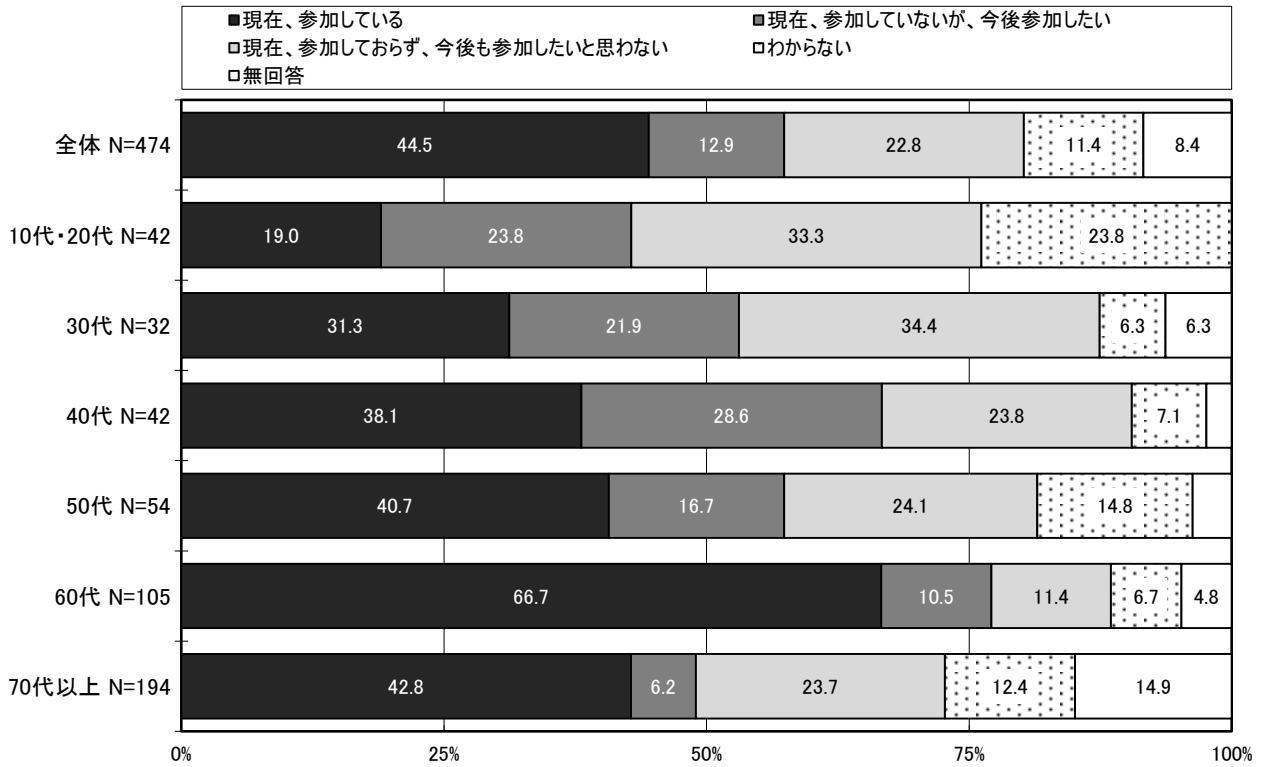
男性は女性に比べて「現在、参加している」と回答した割合が高く、女性は男性に比べて「現在、参加しておらず、今後も参加したいと思わない」「わからない」と回答した割合が高くなっています。



【年代別×問 14】

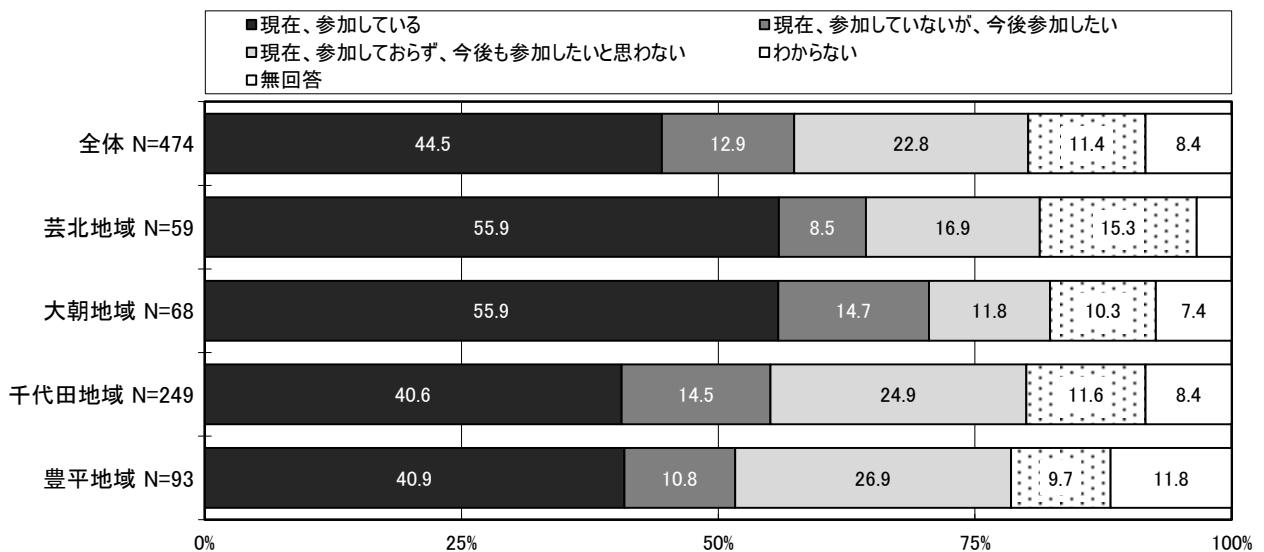
60代では「現在、参加している」の割合が他の年代と比べて高くなっており、また年代が上がるにつれて参加している割合は高くなる傾向がみられます。

10代・20代と30代では「現在、参加しておらず、今後も参加したいと思わない」の割合が他の年代と比べて高くなっています。



【地域別×問 14】

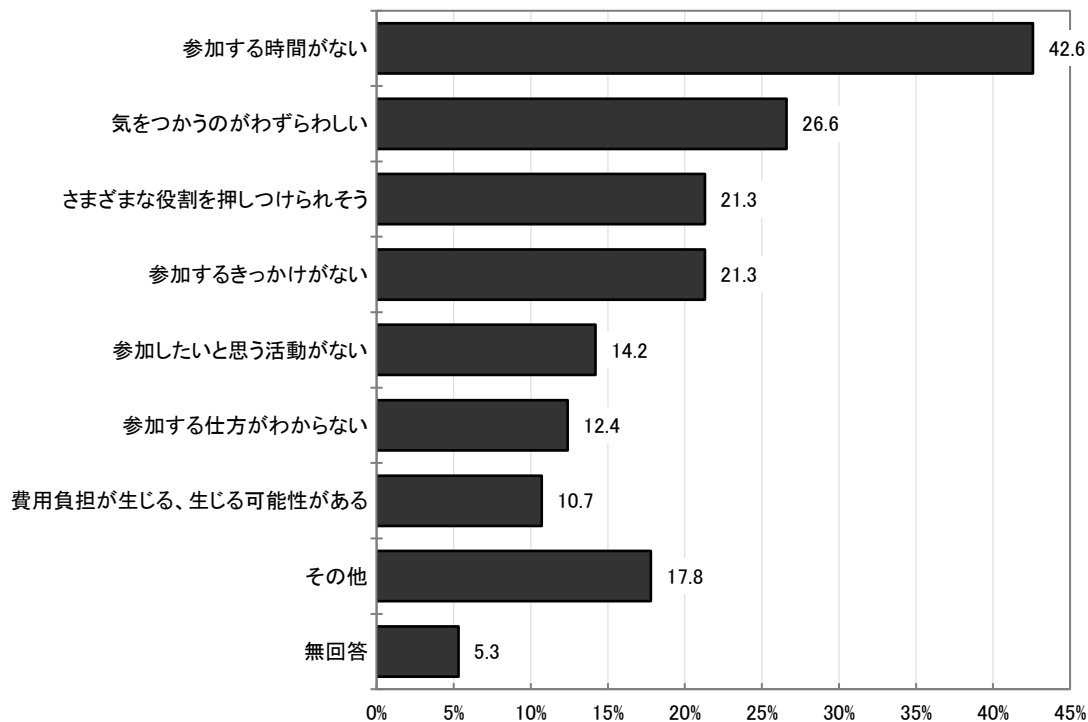
芸北地域と大朝地域では、半数以上の人地域活動に参加しています。



問 14-1 現在、参加していない理由は何ですか。(MA)

「参加する時間がない」が 42.6%で最も高くなっています。次いで「気をつかうのがわずらわしい」が 26.6%、「さまざまな役割を押しつけられそう」「参加するきっかけがない」が 21.3%で続いています。

(MA) N=169



その他回答	類似回答数
高齢で体力がない	13
身体的理由(不自由・健康面・体力)	9
子どもがいる	2
よそ者意識がある、コミュニケーションがとれない	2
地元だけで盛り上がっている、町外の人を受け入れる雰囲気を感じない	1
新型コロナのため	1
面倒	1
運転ができない	1
できない	1
どんな活動か理解していない	1
したくない	1

【男女別×問 14-1】

女性は男性に比べて「参加するきっかけがない」「参加する仕方がわからない」の割合が高くなっています。

	全体 N=169	男性 N=69	女性 N=98
参加する時間がない	42.6	43.5	40.8
参加したいと思う活動がない	14.2	14.5	14.3
気をつかうのがわずらわしい	26.6	27.5	25.5
さまざまな役割を押しつけられそう	21.3	23.2	20.4
費用負担が生じる、生じる可能性がある	10.7	14.5	8.2
参加するきっかけがない	21.3	17.4	24.5
参加する仕方がわからない	12.4	5.8	17.3
その他	17.8	15.9	18.4
無回答	5.3	4.3	6.1

【年代別×問 14-1】

50代と60代では「気をつかうのがわずらわしい」「さまざまな役割を押しつけられそう」の割合が、40代と60代では「参加するきっかけがない」の割合が、それぞれ他の年代と比べて高くなっています。

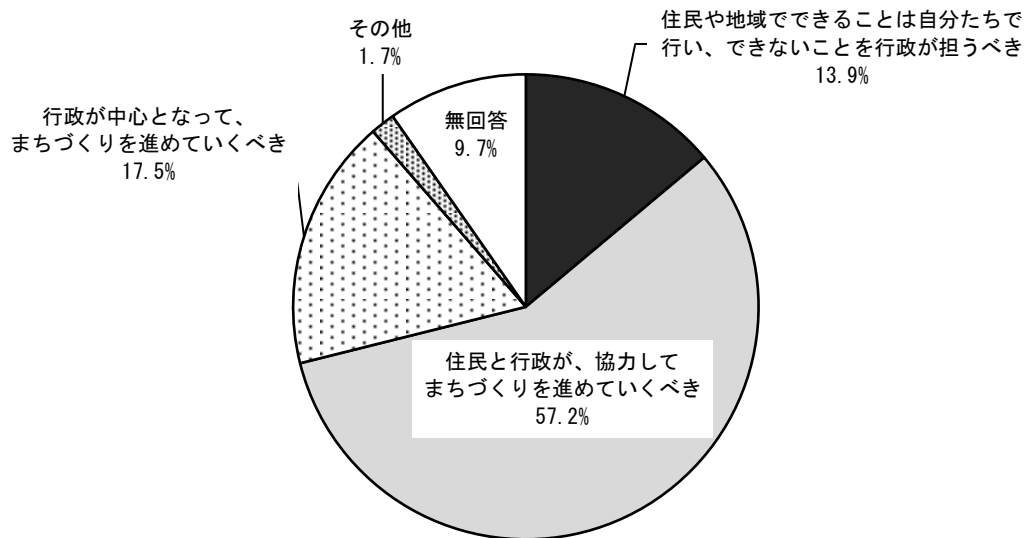
年代が低くなるほど「参加する仕方がわからない」の割合が高くなる傾向にあります。

	全体 N=169	10代・20代 N=24	30代 N=18	40代 N=22	50代 N=22	60代 N=23	70代以上 N=58
参加する時間がない	42.6	62.5	66.7	54.5	54.5	60.9	8.6
参加したいと思う活動がない	14.2	25.0	11.1	22.7	13.6	21.7	5.2
気をつかうのがわずらわしい	26.6	16.7	22.2	18.2	36.4	39.1	25.9
さまざまな役割を押しつけられそう	21.3	16.7	22.2	13.6	31.8	39.1	15.5
費用負担が生じる、生じる可能性がある	10.7	8.3	22.2	4.5	4.5	13.0	12.1
参加するきっかけがない	21.3	12.5	27.8	36.4	22.7	43.5	8.6
参加する仕方がわからない	12.4	20.8	16.7	18.2	13.6	13.0	5.2
その他	17.8	20.8	11.1	4.5	4.5	-	34.5
無回答	5.3	-	-	4.5	-	-	13.8

問 15 あなたは、これからの北広島町のまちづくりのあり方はどうあるべきだと思いますか。
(SA)

「住民と行政が、協力してまちづくりを進めていくべき」が 57.2%を占めています。

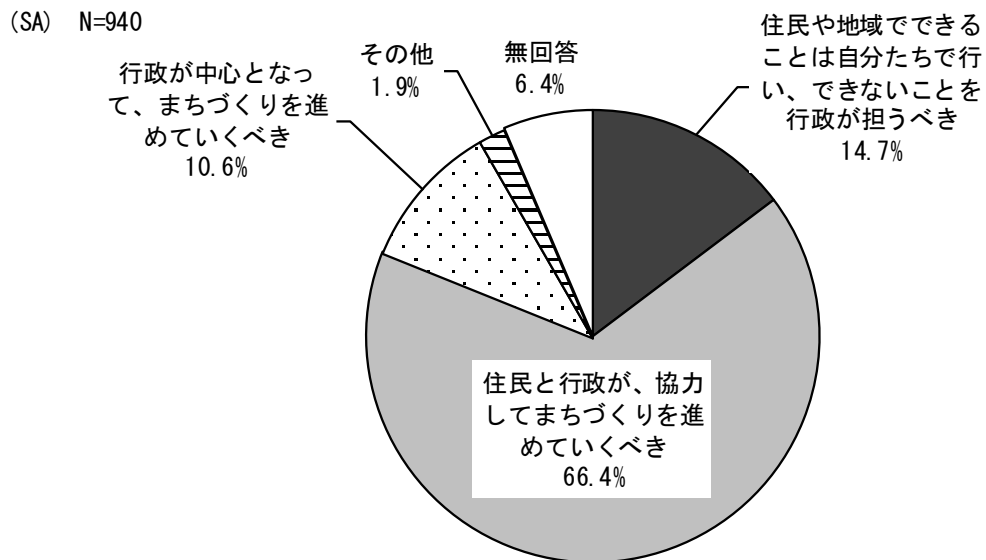
(SA) N=474



その他回答	類似回答数
人口が増えること、減少を止めること	2
千代田地区中心をやめる	2
わからない	2
全国の実情を参考にする	1
住民と行政が互いのポジションを尊重し、取り組む範囲を理解して進めるべき	1
子どもの誕生にお祝い金を増やす	1
帰って来た方のために住宅(一戸建て)などを増やす	1
住民の声をしっかり聞く	1

【参考】 前回結果比較（平成 28 年 3 月実施分）

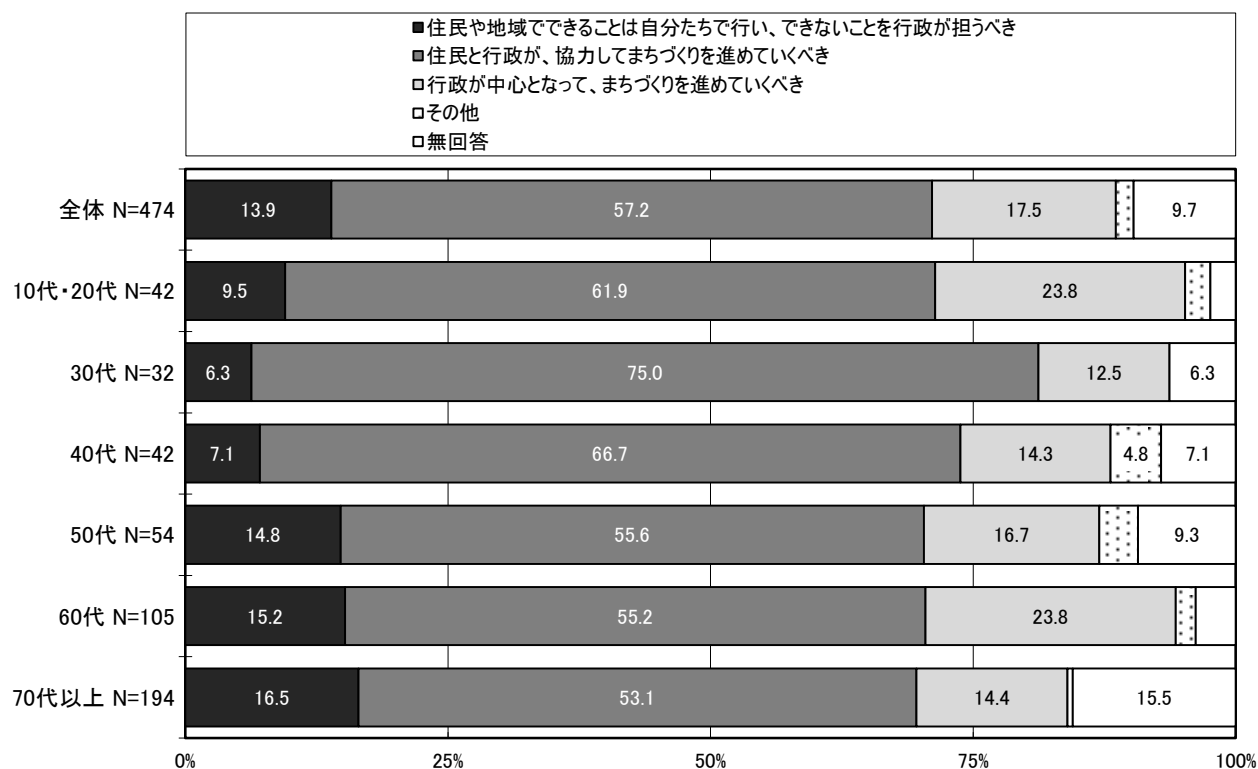
今回は前回に比べて「住民と行政が、協力してまちづくりを進めていくべき」が減少し、「行政が中心となってまちづくりを進めていくべき」が増加しています。



【年代別×問15】

10代・20代と60代では「行政が中心となって、まちづくりを進めていくべき」の割合が、他の年代と比べて高くなっています。

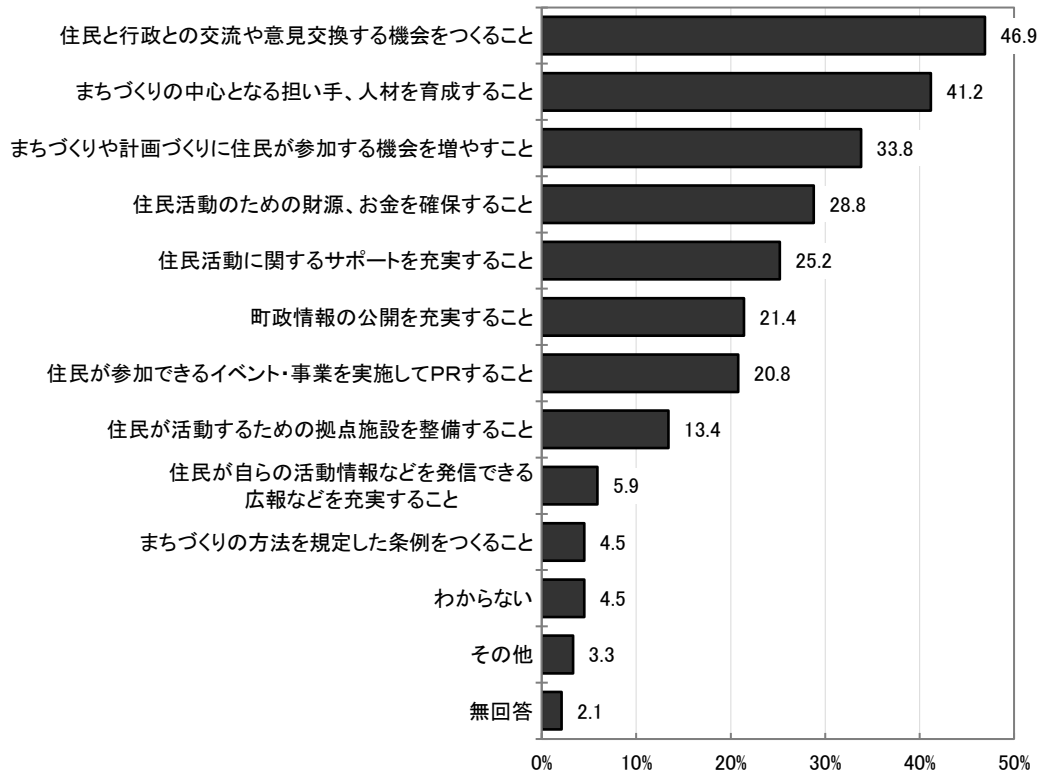
年代が上がるにつれて「住民や地域でできることは自分たちで行い、できないことを行政が担うべき」の割合が高くなる傾向にあります。



問 15-1 住民と行政が協働してまちづくりを行ううえで、あなたが必要だと思うのはどのようなことですか。(MA)

「住民と行政との交流や意見交換する機会をつくること」が 46.9%で最も高くなっています。次いで「まちづくりの中心となる担い手、人材を育成すること」が 41.2%、「まちづくりや計画づくりに住民が参加する機会を増やすこと」が 33.8%で続いています。

(MA) N=337

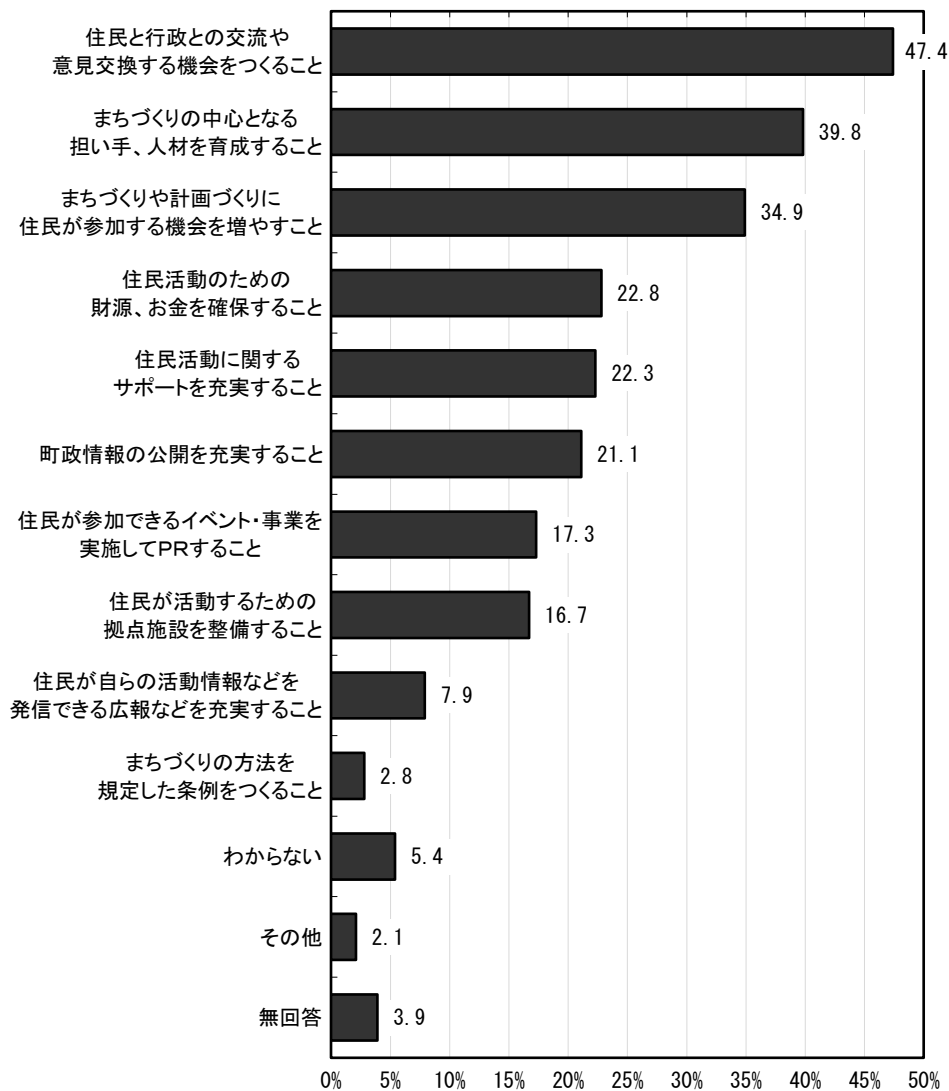


その他回答	類似回答数
若い方の意見交換の場を作り、参加できる機会を増やす	3
地元以外の人を受け入れる心	1
行政は市民と団体をつなぐために HP で案内して参加を促すべき	1
会議などに参加しにくい高齢者など住民の思いも受け止める工夫	1
気が付いたことは自分でやることだと思う	1
焦点がない。名所がない	1
まちづくりセンターは税金の無駄遣い。住民は望んでいない	1
寺原沖集会所のところの橋にひびが入っている。見に来て直してほしい	1
該当なし	1

【参考】 前回結果比較（平成 28 年 3 月実施分）

今回は前回に比べて「住民活動のための財源、お金を確保すること」が特に増加しています。

(MA) N=762



【年代別×問 15-1】

10代・20代では「住民活動に関するサポートを充実すること」の割合が、40代では「住民が参加できるイベント・事業を実施してPRすること」の割合が、60代と70代以上では「まちづくりの中心となる担い手、人材を育成すること」の割合が、それぞれ他の年代と比べて高くなっています。

	全体 N=337	10代・20代 N=30	30代 N=26	40代 N=31	50代 N=38	60代 N=74	70代以上 N=135
住民と行政との交流や 意見交換する機会をつくること	46.9	53.3	38.5	58.1	39.5	51.4	44.4
町政情報の公開を充実すること	21.4	10.0	30.8	12.9	23.7	18.9	25.2
まちづくりや計画づくりに 住民が参加する機会を増やすこと	33.8	30.0	26.9	29.0	36.8	39.2	33.3
住民が自らの活動情報などを 発信できる広報などを充実すること	5.9	-	7.7	9.7	13.2	6.8	3.7
住民が参加できるイベント・事業を 実施してPRすること	20.8	23.3	23.1	45.2	26.3	16.2	15.6
住民が活動するための 拠点施設を整備すること	13.4	16.7	7.7	12.9	15.8	17.6	11.1
まちづくりの方法を規定した条例をつくること	4.5	3.3	-	3.2	2.6	5.4	5.9
まちづくりの中心となる 担い手、人材を育成すること	41.2	23.3	23.1	38.7	34.2	54.1	44.4
住民活動のための財源、お金を確保すること	28.8	40.0	23.1	29.0	42.1	32.4	20.7
住民活動に関するサポートを充実すること	25.2	36.7	23.1	16.1	23.7	25.7	25.2
わからない	4.5	3.3	3.8	-	5.3	-	7.4
その他	3.3	3.3	11.5	-	-	2.7	3.0
無回答	2.1	-	-	-	-	-	5.2

【地域別×問 15-1】

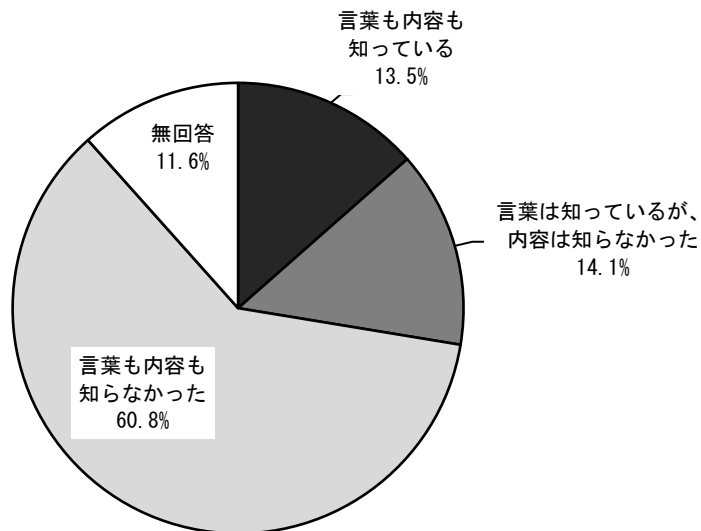
芸北地域では「町政情報の公開を充実すること」大朝地域では「住民活動に関するサポートを充実すること」、豊平地域では「住民活動のための財源、お金を確保すること」の割合が、それぞれ他の地域と比べて高くなっています。

	全体 N=337	芸北地域 N=41	大朝地域 N=49	千代田地域 N=178	豊平地域 N=66
住民と行政との交流や 意見交換する機会をつくること	46.9	39.0	38.8	48.9	53.0
町政情報の公開を充実すること	21.4	31.7	22.4	20.2	18.2
まちづくりや計画づくりに 住民が参加する機会を増やすこと	33.8	39.0	30.6	34.8	30.3
住民が自らの活動情報などを 発信できる広報などを充実すること	5.9	-	10.2	6.7	4.5
住民が参加できるイベント・事業を 実施してPRすること	20.8	14.6	20.4	24.7	15.2
住民が活動するための 拠点施設を整備すること	13.4	14.6	12.2	12.9	15.2
まちづくりの方法を規定した条例をつくること	4.5	4.9	6.1	3.4	6.1
まちづくりの中心となる 担い手、人材を育成すること	41.2	39.0	44.9	40.4	42.4
住民活動のための財源、お金を確保すること	28.8	22.0	22.4	29.2	34.8
住民活動に関するサポートを充実すること	25.2	22.0	32.7	25.8	19.7
わからない	4.5	4.9	2.0	2.8	9.1
その他	3.3	7.3	2.0	3.4	-
無回答	2.1	2.4	6.1	0.6	3.0

問 16 SDGsという言葉を知っていますか？ (SA)

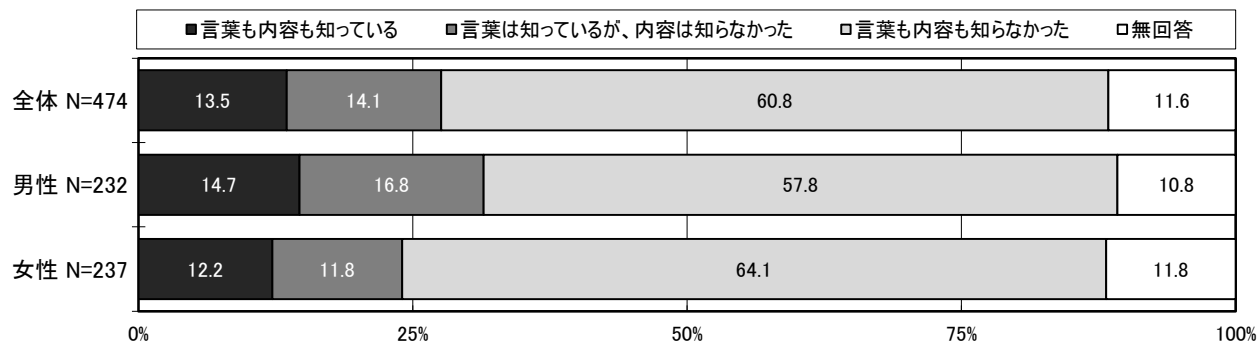
「言葉も内容も知らなかった」が 60.8%を占めています。

(SA) N=474



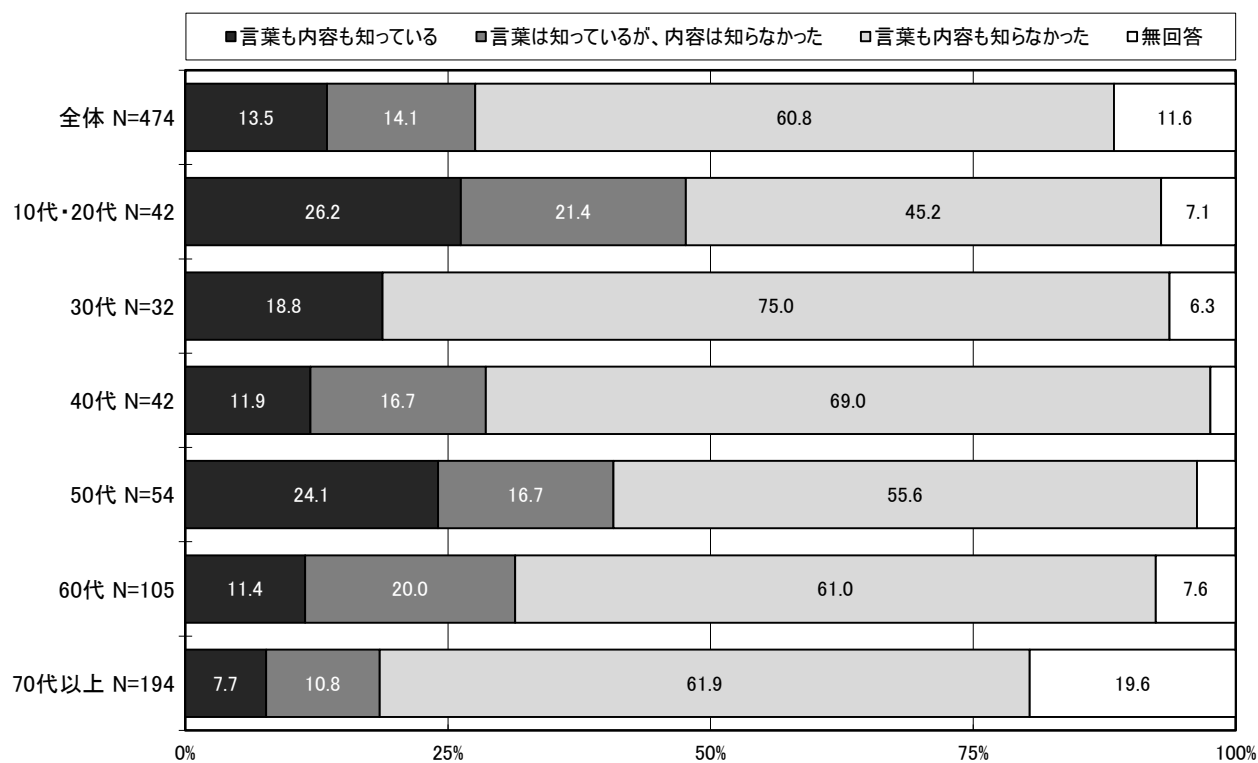
【男女別×問 16】

女性は男性と比べて「言葉も内容も知らなかった」の割合が高くなっています。



【年代別 × 問 16】

10代・20代と50代では「言葉も内容も知っている」の割合が他の年代と比べて高くなっています。

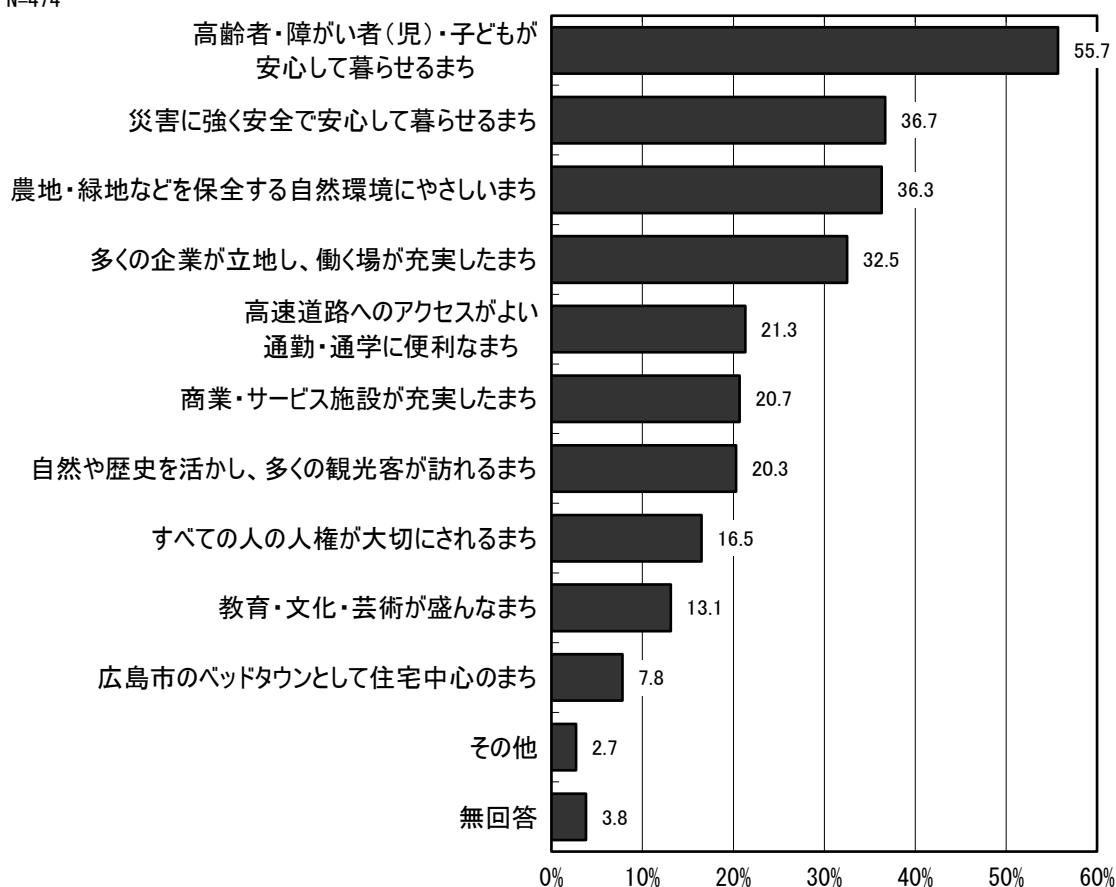


5 めざしたいまちの姿について

問 17 あなたは、北広島町の土地利用などを含めた将来のまちの姿について、どのようになつてほしいとお考えですか。(MA)

「高齢者・障がい者(児)・子どもが安心して暮らせるまち」が 55.7%で最も高くなっています。次いで「災害に強く安全で安心して暮らせるまち」が 36.7%、「農地・緑地などを保全する自然環境にやさしいまち」が 36.3%で続いています。

(MA) N=474

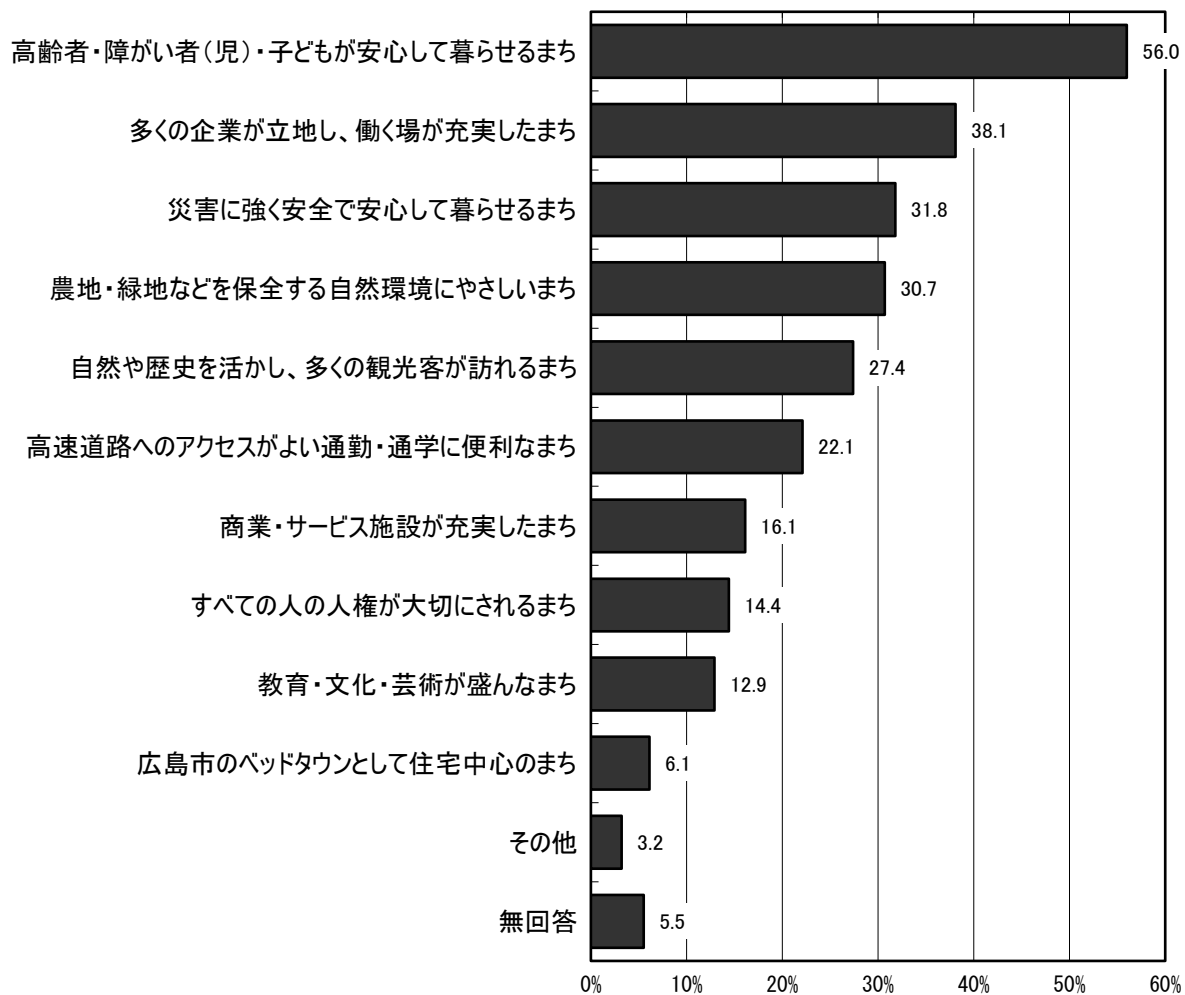


その他回答	類似回答数
周辺部の人口増。工業団地など、旧4町になるべく振り分けるべき	2
少子化なので、若い方の定住したいと思える生活環境作り	2
交通の便(電車)、生活交通の充実	2
生まれてからずっと住み続けたいと思える町	1
農地の利用、働き手	1
福祉、医療が充実していること	1
若者が帰って来て働くところがあること	1
自給率(食料、エネルギー)が高い町	1
わからない	1
該当なし	1

【参考】 前回結果比較（平成 28 年 3 月実施分）

今回は前回に比べて「多くの企業が立地し、働く場が充実したまち」が増加しています。

(MA) N=940



【男女別×問17】

女性は男性に比べて「高齢者・障がい者(児)・子どもが安心して暮らせるまち」の割合が高くなっています。

	全体 N=474	男性 N=232	女性 N=237
広島市のベッドタウンとして住宅中心のまち	7.8	11.6	4.2
高速道路へのアクセスがよい通勤・通学に便利なまち	21.3	23.3	19.4
自然や歴史を活かし、多くの観光客が訪れるまち	20.3	22.4	18.1
多くの企業が立地し、働く場が充実したまち	32.5	34.1	31.2
商業・サービス施設が充実したまち	20.7	24.1	17.3
高齢者・障がい者(児)・子どもが安心して暮らせるまち	55.7	48.7	62.0
すべての人の人権が大切にされるまち	16.5	13.8	19.0
教育・文化・芸術が盛んなまち	13.1	14.7	11.4
農地・緑地などを保全する自然環境にやさしいまち	36.3	37.1	35.4
災害に強く安全で安心して暮らせるまち	36.7	37.1	37.1
その他	2.7	1.7	3.8
無回答	3.8	0.9	6.8

【年代別×問17】

30代では「広島市のベッドタウンとして住宅中心のまち」の割合が、他の年代と比べて高くなっています。

年代が上がるにつれて「高齢者・障がい者(児)子どもが安心して暮らせるまち」「農地・緑地などを保全する自然環境にやさしいまち」の割合は高くなり、「高速道路へのアクセスがよい通勤・通学に便利なまち」「教育・文化・芸術が盛んなまち」「商業・サービス施設が充実したまち」の割合は低くなる傾向がみられます。

	全体 N=474	10代・20代 N=42	30代 N=32	40代 N=42	50代 N=54	60代 N=105	70代以上 N=194
広島市のベッドタウンとして住宅中心のまち	7.8	9.5	18.8	9.5	3.7	7.6	6.7
高速道路へのアクセスがよい通勤・通学に便利なまち	21.3	31.0	31.3	40.5	14.8	23.8	14.4
自然や歴史を活かし、多くの観光客が訪れるまち	20.3	33.3	21.9	14.3	18.5	22.9	17.5
多くの企業が立地し、働く場が充実したまち	32.5	14.3	43.8	28.6	37.0	34.3	33.5
商業・サービス施設が充実したまち	20.7	47.6	37.5	26.2	20.4	18.1	11.9
高齢者・障がい者(児)・子どもが安心して暮らせるまち	55.7	35.7	37.5	57.1	50.0	60.0	61.9
すべての人の人権が大切にされるまち	16.5	11.9	28.1	21.4	16.7	10.5	17.0
教育・文化・芸術が盛んなまち	13.1	28.6	12.5	19.0	16.7	12.4	7.7
農地・緑地などを保全する自然環境にやさしいまち	36.3	14.3	31.3	38.1	33.3	41.9	39.2
災害に強く安全で安心して暮らせるまち	36.7	31.0	18.8	28.6	44.4	36.2	41.2
その他	2.7	4.8	-	-	5.6	3.8	2.1
無回答	3.8	-	-	2.4	1.9	1.9	7.2

【地域別×問17】

芸北地域は「自然や歴史を活かし、多くの観光客が訪れるまち」「農地・緑地などを保全する自然環境にやさしいまち」、大朝地域は「教育・文化・芸術が盛んなまち」の割合が、それぞれ他の地域と比べて高くなっています。

	全体 N=474	芸北地域 N=59	大朝地域 N=68	千代田地域 N=249	豊平地域 N=93
広島市のベッドタウンとして住宅中心のまち	7.8	5.1	5.9	8.4	9.7
高速道路へのアクセスがよい通勤・通学に便利なまち	21.3	10.2	22.1	23.3	22.6
自然や歴史を活かし、多くの観光客が訪れるまち	20.3	30.5	23.5	18.5	16.1
多くの企業が立地し、働く場が充実したまち	32.5	32.2	30.9	32.1	34.4
商業・サービス施設が充実したまち	20.7	8.5	14.7	24.9	20.4
高齢者・障がい者(児)・子どもが安心して暮らせるまち	55.7	54.2	48.5	56.6	59.1
すべての人の人権が大切にされるまち	16.5	22.0	23.5	14.5	12.9
教育・文化・芸術が盛んなまち	13.1	10.2	20.6	14.1	6.5
農地・緑地などを保全する自然環境にやさしいまち	36.3	50.8	44.1	30.5	36.6
災害に強く安全で安心して暮らせるまち	36.7	30.5	33.8	40.2	35.5
その他	2.7	8.5	4.4	1.6	1.1
無回答	3.8	1.7	-	4.0	7.5

問18 10年後の北広島町を、どんなまちにしたいと思いますか。また、そのまちを実現するためにあなたにできること、地域にできること、行政にできることは何だと思いませんか。そのほか、北広島町のまちづくりについてご意見等がありましたらご自由にお書きください。(自由回答)

回答内容	類似回答数
企業誘致、働く場が必要	30
人口増加、若者・子どもの増加、移住者を受け入れる心	26
町内外の交通の充実、道路整備	19
住民、若者の意見を集約、議論の場	17
農地整備、農業後継者育成	16
医療・福祉の充実、医療費補助、新型コロナ対策	15
高齢者・障害者が安心して暮らせる	15
文化・芸術、観光客	13
千代田中心でなく均等なまちづくり、地域のつながり	13
地域・行政、みんなで作り上げる活気のあるまち	12
災害に強く、里山・林道・河川の整備、再生エネルギー	10
町について情報発信、SNS活用、イベント告知	10
自然を守り生かす	9
スポーツ・娯楽施設の充実	9
空き家活用、定住、住宅補助	7
生活の機能が揃う場所、商業施設、飲食店	7
行政は住民の視線で、職員の対応力	6
子育て支援	6
教育環境、町内で通学	6
鳥獣被害対策、ジビエ	5

回答内容	類似回答数
インターネット環境の改善	5
施設の老朽化対策、上下水道整備	3
通院・買い物を支援するシステム	3
今できることをやる、一歩ずつ整理する	3
外国人は馴染める人だけ入れる	2
財政確保	2
税金が高い	1
AI・ITを活用した体制	1
工業地帯にする	1
花を育てる文化	1
金婚式・銀婚式の夫婦に褒賞	1
将来が不安ばかり	1